臺灣日日新報 夕刊
六月十八日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 [illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社

月美人 イキ 發賣元 [illegible]

# 北支問題で英米動く

## 米國務省を訪問

## 英大使が重要會談

### 日本の說明を求むる件に付

### 英大使が發議權を取つたか

【ワシントン十七日發電通】北支の事態に關し英米兩國が共同行動を執るであらうとの說が盛んに傳へられてゐる折柄駐米イギリス大使リンゼイ氏は十七日國務省を訪問し各方面の注目を惹いた、國務省の會談內容は極秘に附されて居るがリンゼイ氏は「東洋の時局に付き討議した」とのみで多くを語らず又國務省當局はリンゼイ英大使の訪問に就き說明することを拒否し單に國務省はイギリス、日本、支那各方面より支那の事態に付きその事實に關する報告を受けたと述べたのみであるが會談の內容が北支問題にあることは明白で確實なる方面より聞知し得た所に依ればリンゼイ英大使は日本に對して北支に軍隊を派遣せる目的に付き說明を求める件に關しイニシアテイヴを取つたものであると

# 排日言論

## 運動を嚴禁

### 行政院から

【南京十七日發聯合】北支問題發生以來支那側は報道を一切禁止してゐたが事件漸く解決を見んとし最近都市取引人心安定を缺きつつある爲、行政院は遂に發して國民政府命令に基づき各省、市政府當局に對して排日言論[illegible]一切の[illegible]嚴禁命令を發した

# 支那に於ける日本の行動を檢討

## 日支關係調查決議案を

## キング氏が米上院に提出

【ワシントン十七日發電通】アメリカ上院民主黨議員キング氏は十七日上院へ日支關係調查決議案を提出し支那における日本の行動を檢討し、それが果してケロッグ・ブリアン不戰條約及び九國條約に抵觸するものなりや否やを調查するため上院外交委員會へ特別權限を付與すべきを提案し右調查結果をアメリカの態度決定の基礎とすることを强調した

### 決議案の內容

【ワシントン十七日發電通】日支關係調查を慫慂せるキング決議案は先づ前文に於いて

一、不戰條約調印國は國際紛爭解決の手段として戰爭に訴へざることを誓つた

一、九國條約調印國は支那の主權及び領土の保全を尊重することに同意した

旨を記述し次で本文に於いて

一、日本の滿洲に於ける政策は滿洲國政府の創設、石油專賣の開始、滿洲國を承認する國以外に對する門戶開放拒否等を包含し然してこれらは總て條約違反であると主張されてゐる

一、最近日本は長城線以南の支那本部諸省內に入り支那に要求を提出したが、若しこれを强行すれば主權侵害を構成すると主張されてゐる

等を列擧し上院外交委員會が速かに事實の檢討を遂げ對策の基礎確立を期することが急務である旨を切言したものである

# 北支問題で

# 英外相が聲明

### 支那經濟情勢に言及

【ロンドン十七日發電通】英新外相サミュエル・ホーア氏は十七日下院において外相としての處女演說をなし北支問題に關し左の如く聲明した

イギリス政府は二、三週間前から北支の不穩なる情勢に關し日本政府と接觸を續けてゐる、北支に關する各種情報は詳細な點において矛盾することも多く而も事態は急轉することも屢々であるが今回の事件は要するに日本の在支軍事當局が停戰地域に近き場所において反日的行動を取つたと稱する人物の團體に關し抗議したといふのが問題の核心の如くである、支那の地方當局は日本の抗議に應ずる處置をとつたが最後の點は未だ解決せず局部的交涉を要するものと認められる

同外相は支那の經濟情勢に關する一議員の質問に答へ左の如く述べた

支那の經濟情勢は最近幾多の結果困難にして且つ複雜化してゐる、然し南京政府の共匪軍討伐の成功と國內安定の增進とに依つて最近數ヶ月政治的情勢は不良ではない

## 日本の要求は新聞程大袈裟でない

### 駐日大使の報告

【ロンドン十七日發電通】イギリス外務省は十七日東京の大使館より日本は察哈爾の支那官吏の任命に對する容喙權を要求せずとの日本當局の確言を傳達せる報告を受領したと發表する、駐日英大使は同日本政府當局に對しても右と同樣の保障を與へ且つ日本の對支要求に關し左の如く說明したと傳へられてゐる

日本の對支要求は中央政府の提出せるものにあらずして現地における日本軍司令官の提出せるものである、而してその要求は新聞に傳へられたる如き大袈裟なものでない

# 排日教育を

## 一切撤廢

### 北平の三大學

【北平十七日發聯合】蔣北平師範大學校長、國立北京大學校長、北平清華大學校長等は過般南京に赴き黨部撤去後北支那に於ける教育問題につき教育部當局と協議の結果排日教材を全部[illegible]一切撤廢するに決定した

# 根本方策を決定

## 「關東軍幕僚會議で」

【新京十八日發】酒井、松井、磯谷の現地三參謀は十七日午後九時半より參謀副長官邸において關東軍全參謀を交へ北支及び察哈爾問題善後措置、對支根本方策に就き協議し左の如く意見一致を見て午後十一時四十分散會十八日も會議續行の筈

一、何應欽南下後の北支の責任問題、我方としては何應欽が去つた事は寧ろ望む所で今後の北支最重大問題は治安の確保にあり

一、新政權問題、我方としては內政不干涉主義の下に支那民衆の要望を荷つて發生する新政權の樹立を待望す

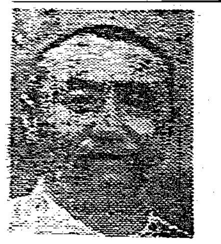
一、宋哲元問題

（イ）第二張北事件の責任と謝罪の要求を貫徹す

（ロ）獨石口不法越境及び非擊事件に對し直接責任者團長の處罰及び宋哲元自身の陳謝を要求す

（ハ）宋哲元は恭順の意を表明し陳謝の誠意を披瀝すべし、然して宋軍は自發的に滿洲國國境より後退し同時に對日戰備を有するものに對しては即時撤廢せしむべし

一、南京政府及び蔣介石の對日二重政策是正



# 北支政權樹立に

# 閻錫山氏が乘出か

### 大城戶中佐が意向を聽取

【北平十八日發電通聯合】陸軍省派遣大城戶中佐は十七日夜山西省太原に向ひ閻錫山氏と會見北支政權樹立に關する閻錫山氏の意向を聽取することとなつた（寫眞は閻錫山氏）

## 西田高校教授

### 廿二日上京

[illegible]

# 察哈爾問題は

# 切離して急速解決

## 我が要求條項決る

### 松井中佐が愈よ宋に直談判

【新京十八日發至急報】十七日の參謀副長官邸における北支駐屯軍と關東軍參謀との會議は十八日午前二時に及び兩者の意見一致を見たがその結果察哈爾問題は北支問題と切離し急速解決を期することとなり松井中佐はこれを齎し張家口に宋哲元を問ひ直接談判することとなつた、解決要求條項左の如し

一、第二張北事件及び獨石口事件の責任者處罰

一、熱河省境における戰備の即時撤廢

一、張北、張家口、宣化方面における宋軍主力の一定地域外への撤退

一、排日運動の根本的禁止

# 今後の交涉は

# 外務當局に一任

### 軍は本來の使命に還る

【新京十八日發至急報】北支察哈爾問題解決は最早時期の問題となつた從つて今後の交涉は外務當局に一任し軍は專ら北支の治安維持竝に支那側の反日的行動の監視といふ本來の使命に立ち還ることとなつた

# 現地の情勢を

# 南司令官に報告

### 酒井大佐松井中佐から

【新京十七日發】天津北支駐屯軍參謀長酒井大佐及び察哈爾特務機關長松井中佐は十七日入京、直ちに軍部に到つて南軍司令官を官邸に訪問し

一、北支問題の經過竝に今後の見透

二、第二張北事件及び獨石口事件に關する宋哲元軍の態度竝に察哈爾省問題

に關し現地における情勢を具に報告した、[illegible]

支那駐屯軍の執るべき今後の方針に就き重要なる意見を開陳した

# 定例閣議

【東京十八日發】十八日の定例閣議は午前十時十五分より首相官邸に開會、岡田首相以下各閣僚（廣田外相缺）出席先づ松田文相より實業教育五十周年を以て實業教育制度を[illegible]文部省以外の民間學識經驗者を網羅し實業教育の振興を圖る爲實業教育振興委員會を設置する件を付議し、次で帝國美術院の改組に關するその後の經過を詳細に報告し、次で內田鐵相より[illegible]の經過は順調で國際通運との關係も大した問題もなく終了する豫定であると述べて午前十一時散會

## 人事

▲中川健藏氏 十七日高雄より大和丸に乘船二十日神戶着上京する

▲品川[illegible]氏（[illegible]理事）十九日吉野丸にて上京

▲藤田永吉氏（臺灣合同電氣會社長）▲高崎[illegible]氏（同專務取締役）十八日南部へ

▲濱口富三郎氏（濱口合名會社長）十八日南部へ

▲山本[illegible]氏（臺北帝大教授）十九日內地へ

▲吉田宗二郎氏（三井物產會社重役）十九日內地へ

▲武藤[illegible]氏（明治製糖會社取締役）十八日來北[illegible]十九日上京

▲早良三氏（日本勸業[illegible]）十七日來臺[illegible]

▲林重四郎氏（日本紙[illegible]會社重役）十七日來臺 鐵道ホテル

▲スメリー氏（ライジングサン[illegible]）十九日內地へ

▲[illegible]氏（日本國[illegible]）十九日內地へ

## 無絃琴

[illegible]植民地の人事更迭に就き人に問はれ[illegible]曰く『植民地官吏の身になつて見給へ、東京に居る連中から見て家庭的にもどれ程不自由をして居ることか、それを一寸くらゐの落度があるからと言つて辭めたり退職したりするのはこくたい、寧ろ長い目で見てその終りを完うさせる必要がある▲僕なんか還つて宰相になつたのだが僕の在任中は安心して仕事をして貰ふつもりだ』とシンミリしたといふ▲植民地の官吏に取つては此の思ひやりが必要で之が無いと全く植民地の官吏は立ちゆかない、殊に露骨などは政黨色などといふことは疾うに解消して居る筈だしさういふ點からの赴任後異動といふことも想像が出來ないとすれば、眞面目に仕事をして居て成績の上がつて居る向きの今度の異動說などは先づ以てデマに止まると見ても好からう—と或る方面では觀察してゐる

# 牧野內府が

## 園公と會見

【興津十八日發】牧野內府は十八日午前九時三十分坐漁莊に西園寺公を訪問し最近の政界の情勢に對する意見その他に就き懇談して辭去した

# 萩原管理局長

## けふ東部へ

來臺中の拓務省管理局長萩原彥三氏は坂本拓務課長、山田屬等を隨へ十八日午前八時四十六分臺北驛發で東部視察の途に着いたが同日花蓮港着[illegible]二十日[illegible]の豫定であるが東部[illegible]のため或は一日臺北に引返すかも知れずと

# 內審の特別委員決定

【東京十八日發】十八日內閣審議會に先立ち內閣審議會特別委員の銓衡に付き岡田首相、[illegible]各委員左の如く決定し十八日中に岡田首相より指名することになつた

安達謙藏、町田忠治、水野錬太郎、秋田清、川崎卓吉

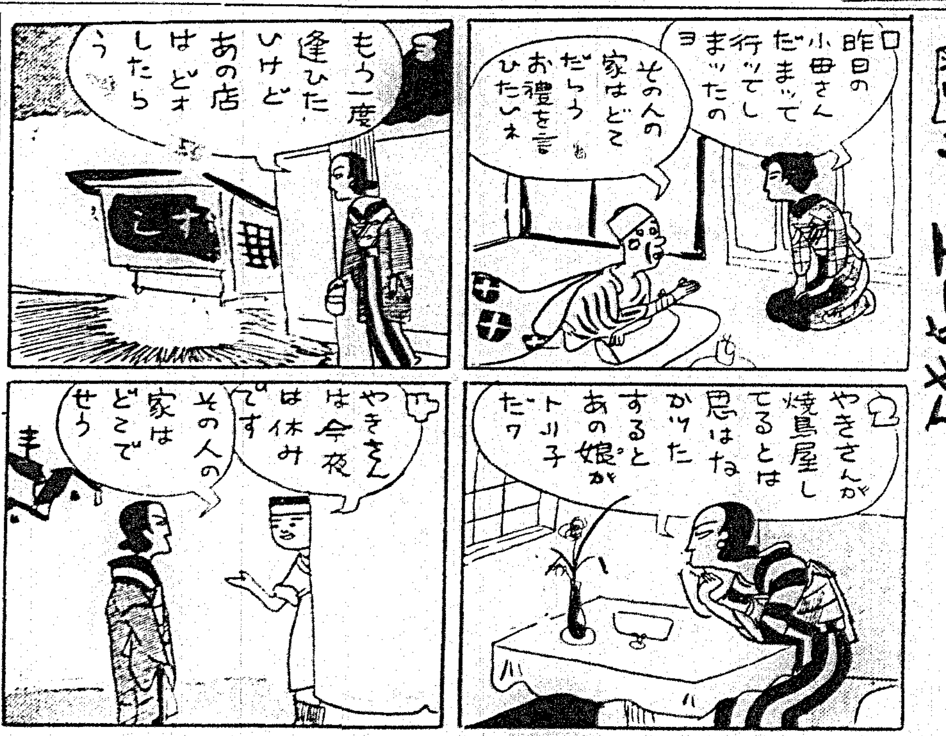
尚第一回特別委員會は今週中に開き[illegible]決定の筈

## その日その日

○北支問題に英米がそろそろ動き出した、ただ文字の一言反對の[illegible]

○[illegible]

○[illegible]



昨日の小田さんだまつて行つてしまつたのヨ
その人の家はどこだらう お禮を言ひたいネ
もう一度逢ひたいけど あの店はどオしたらう
やきさんが燒鳥屋してるとは思はなかつた するとあの娘がトリ子だワ
やきさんは今夜はお休みです
その人の家はどこでせう

連載漫画 やきとり屋のトリちやん (46) 松下井知夫

# 朗らかな人生

(72) 光明靜夫作 田中比左良畫

## 愛は朗らか（十一）

「姉さん！これ揃んなでお上りなさいつて……お母さんが——」

妹さんの靖子さんが肉團子を皿に盛つて、この室に入つてきた。

「有難う。これ上げますからお母様の方へでも行つて遊んでゐらつしやい。ねえ。好い子だから……」

櫻さんの突出したチョコレートを持つて、お客様にペコンと頭を下げて靖子さんは部屋を出て行つた。

「まあ！可愛い妹さん、おいくつ？」

「七ツよ」

「私の家へも大阪から此間姪が來たのよ、とつても、おきやんきやんなの」

「あら、さう……」

「たつた七ツの癖で、とつても私なんか顏負けしちやうわよ—」

「矢張り、これも風俗、習慣の時代相の影響で、環境の影響といふヤツでしやうね」

栗山君はバットの煙を口から吐き出し乍ら、寄閑として言つた。

「さうなの、大阪ッ子でせう。だから人になんか敗けてなんか居ないのよ。昨夜だつたわ、私お庭の金魚を見てゐたの、するとチビ子が〈オバちやん、この金魚ねい、どつちがお男か女か知つてる？〉と言ふぢやないの。私參つちやつたわ、學校でなんか習ひやしないし、私知らないとは言はれんし、〈大きいのが男で、小さいのがお女〉とまあ誤魔化したのよ、するとチビ子が[illegible]

「まあ！まあ！お若い者同志のお話は、話題があつて好いですわねい。こんな老人でも若い人達同志のお話を聽いてゐますと、いつの間にか、この白髮頭も忘れて處女の昔に返りますよホホホホホ」

「まあ！お母様つてば、處女の昔だつて……お可笑しわねい……」

「ヘヘヘ……」

「ハハハ……」

「でも私だつて、昔これでも寫眞かした時だつてありますよ」

「今だつてお小母さん寫眞かしてゐらつしやるんでせう」

「ホホホ……もうこんな婆さんになつては、寫どころか、鳶だつて鳴きませんよ、まあ、まあ茶さんの方が人生の花ですよ」

「僕の學校の總長も言ひましたよ青年は人生に於ける花であると」

「左樣、左樣、花もしかし、サッパと[illegible]を見つけて、早く實のらせるやうにしたいといけませんで[illegible]

[illegible]

「ハハハハハハ」

「ハハハ……」

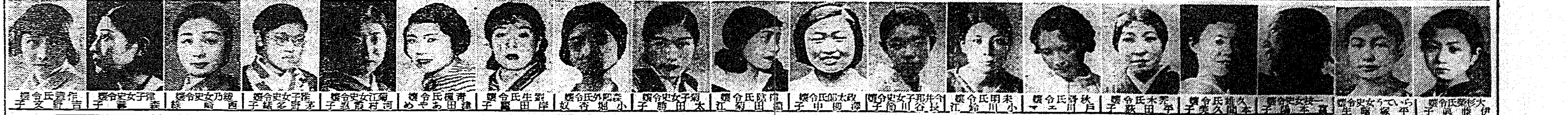
「フウトゥなモンねい」

「チャッカリ出來てるぢやないの」

栗山君はどつと笑つてみたが、實際は冴如が頭るく、何となく自分が嘲笑の渦中にある如く思はれて、眞赤にならざるを得なかつた。

明子さんはただ無邪氣に、無心相懷に云つたまでだが、櫻さんの光る眼からは、するいそれでゐて揶揄の言葉のあるのを知つて、圖に乘行つ栗山君に一寸照れた。

[illegible]



大杉榮氏令孃 伊藤魔子
らいてう女史令孃 奥村曙生
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
秋江氏令孃 [illegible]
未明氏令孃 小川鈴江
[illegible]令孃 [illegible]
政太郎氏令孃 澤柳[illegible]子
[illegible]氏令孃 [illegible]
菊子女史令孃 太田[illegible]子
森鷗外氏令孃 小堀杏奴
劉生氏令孃 岸田麗子
青楓氏令孃 津田あやめ
菊江女史令孃 河村[illegible]子
雅子女史令孃 [illegible]多野緒子
綾乃女史令孃 西崎綾
[illegible]子女史令孃 森[illegible]子
作造氏令孃 吉野文子

萌え出づる女性

婦人公論 七月號

[illegible]若き女性群が顏を揃へての總出動、婦人公論ならでは見られぬこの壯觀！その他ガラリと趣の變つた記事のやうにぴちぴちとした七月號を是非御覧下さい。

新時代の女性を世におくる言葉
嶋中雄作

婦人公論の創刊當時からかけて世に出た女性で今なほ大いに活躍してゐる人は夥しい。が、それらの人々の娘に、その頃は影も形もなかつたやうな芽生がいつの間にか育つて來て、今では一本立の立派な形になつてゐるのもある。でないまでも萌え出でようとする若い時代の方は既に確定的である。單にお母さんと娘の相違ではなくて、轉換した時代の姿が、そこに色々な希望と突進と悲哀と問題を織り交ぜてゐる。解決への鍵にはならないかも知れないが、時代の示唆は此中に含まれてゐると思ふのである。

七月號は社よりの傑作揃ひ、是非一度手にとつてこの言葉のやうなすがすがしさに觸れられんことを！

東京・丸ビル 中央公論社發行
振替・東京三二四番（定價五十錢）

近日發賣

頭痛
船車暈
二日醉

オフナール

アルピー
Ⓟ
疲勞恢復藥

醫學博士 瀧野勇氏創製
醫學博士 木下東作氏實驗

主治效能
內體的、精神的一般疲勞、精力減退、睡眠不足、其他過勞に因る頭重、頭痛、スポーツ時の心悸亢進、息切れ
船車暈、山暈、二日醉

包裝・定價
拾錠入 金參拾錢
貳拾錠入 金五拾錢
五拾錠入 金九拾錢
百錠入 金壹圓六拾錢
五百錠入 金六圓三拾錢

製造發賣元
本店 大阪市道修町
大日本製藥株式會社
支店 東京市本町
出張所 臺北市榮町

全國知名藥店ニアリ

# 林陸相暗殺陰謀の
# 滿人二名逮捕さる
## 大連憲兵分隊が活動

【大連十七日發】大連憲兵分隊では林陸相渡滿の頃から陸相暗殺團が横行しつつあるとの情報に依り活動中、十六日深更に至り大連小崗子露店市場一丁目蔡某(?)市內能登町六十一王陸木(?)の滿洲人二名を逮捕、家宅搜索の結果六十餘個の英國製ダイナマイトを發見するに至つたので俄然重大犯人と看做し目下嚴重取調べ中である

---

# 博覽會開會式に
# 豪壯な祝賀飛行
## 內臺連絡機が飛んで來て
## 希望があれば旅客も輸送

[illegible]一氏等の盡力に依つて內臺飛行を博覽會から實施したいとの全島民の要望が遂に實現されることになつたことは既報の如くで、當分は郵便物のみを取扱ふと云ふのが立て前ではあるが、希望があれば旅客も便乘の便宜を計ることになつてゐる。なほ、第一回は十月八日にフォッカー3Mが飛來する事になつてゐるが、右は博覽會の開會式に祝賀飛行を行ふためわざ／＼やつて來るので、その際をもつて臺北飛行場の落成式內臺定期飛行の開通式なども盛大に舉行される筈で、始政四十年の文化を誇示するには相應しく、十月には島都上空を巨大なるフォッカー3Mが亂舞して壯麗なる光景を呈するであらう、又復航を那覇一泊としたのは一日の中に太刀洗まで飛んでも翌日の大阪行き定期を待つことになるので郵便物の運搬には何等影響ないわけである

---

# ダグラス機の
# 操縱練習
## 陸軍當局の援助を得て

內臺飛行使用機たるダグラス機は早くて一月、おそくても來年度始めには機體の總合その他を終りいよ／＼その雄姿を內臺航空路上に現はすことになつてゐるが、日本[illegible]り當局所有のダグラス機によつて近く臺灣では內臺飛行關係操縱士に新鋭ダグラスの操縱法を訓練することとなり[illegible]陸軍當局の援助を得ることとな[illegible]いよ／＼操縱練習を近く開始する由である

---

# 演藝館と映畫館
# 速急に著工
## 協贊會の各部實行豫算
## 廿日理事會で決定

博覽會協贊會理事會は每週火曜午後一時半より表町同會事務所で開かれてゐるが、十八日の定例理事會は都合により二十日(木)に繰下げられ同日午後一時より開會することになつた、同協會の各部實行豫算は既に夫々編成され總務部に提出中で目下[illegible]總務部長の手許にて查定中であり、廿日の理事會に於て決定を見るべく其上にて第二會場の演藝館、映畫館等の建築に速急に著手する筈であると

---

# 全島鄉軍大會
# 廿二日開く
## ゆうべ緊急評議會

[illegible]桑木軍參謀長今次の聲明に依り[illegible]の理由たる[illegible]の言動に關する事項は全然[illegible]たりしことが臺灣總督府、軍、司法の首腦會議の結果判明し[illegible]が、鄉軍の本質に顧みる時は[illegible]行は今後も戒愼すべく、かくてスパイ行爲の確證の有無に拘らず其の行爲は實に帝國を輕視し國防軍[illegible]するものであり、又之に對し[illegible]の完璧を期し[illegible]べし殊に一般民衆の國防思想は[illegible]分ならず、從[illegible]國民の中堅たり且つ國防の重責を有する鄉軍の使命は愈々益々重大である。臺北市聯合分會に於て其の本分の遂行に遺憾なき樣努力しつつあるが、特に事件の經過に鑑み十七日夜乃木館に緊急評議會を招集、桑木軍參謀長の聲明並に聯合支部長福田中將の訓示を中心に鄉軍としての今後の活動につき各自熱議に討議せる結果、[illegible]關係外國人に對する鄉軍の實行[illegible]に過般の役員大會の決議事項たる全島鄉軍大會を急速に實行する事に決定したが、大會は二十二日午後二時から臺北市內(會場未定)に[illegible]既に全島十數[illegible]七十八分會の大多數は之に呼應參加することとなつた。臺北市及州下各分會は全員參集

---

# 陳情團出府
## 新竹地方法院
## 設置等に付き

【新竹電話】新竹地方法院設置及び[illegible]に關する陳情委員[illegible]、吉田竹東街長、[illegible]家庄長の五氏は十八日午前十時半新竹市尹同道し內海知事を訪問[illegible]の實現方を陳情し更に二十日打揃つて出府總督、長官に陳情することとなつたが、內海知事は州としては極力これが實現に努力する、諸氏も陳情運動に當つては明朗に熱と力をもつて堂々と意氣よく當れと激勵した。尚一行は內海知事に對し中等學校の增設問題に就ても陳情したが、知事は實現を期す旨答へた

---

# 淡水中學に
# 案の定、內紛
## 卒業生總會を開き
## 陳教師辭職反對を決議

[illegible]外に種々複雜な事情が伏在せるやに傳へられて居たが、去る四日[illegible]會の決議を以て[illegible]ため之れを動機に再び內紛が[illegible]されるのでは無いかと憂せられて居たが、案の通りこの由を傳へ聞いた卒業生は[illegible]十七日午後四時より[illegible]卒業生總會を開催し、[illegible]外十六名(委任狀八十一通)出席し、陳[illegible]先生辭職[illegible]反對を決議し委員を選びその旨を學校當局及[illegible]に陳情する事になつた

---

# 犯人奪還の
# 一味に判決
## 殆ど求刑通り

本島無賴漢特有の[illegible]の血みどろの[illegible]犯人押送の巡査を襲擊し味方の犯人を奪還した基隆郡九份[illegible]以下十名に係る公務執行妨害、[illegible]事件は十八日午前十時臺北[illegible]から次の如く判決を言渡された ▲首魁[illegible]、王[illegible]、簡[illegible]生は懲役二年(求刑同)▲何水龍は懲役一年六ケ月(求刑一年六ケ月)▲林文[illegible]は懲役一年(求刑同)▲黃加添、[illegible]は懲役十ケ月(求刑同)▲吳[illegible]文、游[illegible]は懲役六ケ月(求刑同)▲黃[illegible]は懲役六ケ月(求刑同)

---

# 漂流中の船
# 姿が見えず
## 暴風雨で流されたか

【新竹電話】十七日午前十一時頃[illegible]に機械に故障を生じ[illegible]丸[illegible]救助を乞ふと基隆より[illegible]報あり、[illegible]取調べの結果[illegible]約一萬斤を積載し[illegible]出帆[illegible]に向け航行中機械に故障を[illegible]漂流中十六日朝[illegible]航行中の[illegible]船に發見され[illegible]救助を求め[illegible]たものであると[illegible]は直ちに搜查を開始したが[illegible]十六日來の暴風雨で何れかに流したものではないかと[illegible]各港に搜査を依賴した

---

# 節婦として
# 表彰された
# 內田康哉伯の令妹
## 子女の教育と夫君の遺業を繼ぎ
## 大溪街で三十年も努力

【新竹電話】始政四十周年記念に表彰された節婦中の節婦として特に眼を惹いたのは大溪郡大溪街新南四九に三十年間も住んでゐる[illegible]である、同女史はその昔外交官或は大臣として華めいた內田康哉伯の[illegible]で[illegible][illegible]

---

# 海賊の首領は學士
## 鷺江號を襲つた時の收穫は
## 案外少くて一同失望

【廈門本社特電】[illegible]海賊事件の海賊の中、[illegible]宗師、[illegible]の三名は廈門水[illegible]の手によつて逮捕された、右の中[illegible]宗師は[illegible]であつて、此の事件は彼の[illegible]する[illegible]に於て計畫されたものであると自供し、彼等三人の自白せる所を綜合すれば、此の海賊事件に於ける彼等の首領は、北方支那に於ける[illegible]京大學出の高等學と稱する若いインテリであつて、その組織及び計畫は普通海賊の烏合と異なり、非常に秩序立つたものであると云つて居る、最初は鷺江號に少くとも百四十萬元の白銀がある積りでかかつた所が、案と相違して僅かに四十萬元にして而も白銀のみではなく紙幣も混つて居たので、頭株に渡つた分配額は僅かに四萬元に過ぎなかつた、首領高春學及び其の外の者は現今南日島一帶に潛つて居ると云ふので、廈門水警隊では討伐計畫を立てて居ると[illegible]此の方面に詳しい者の言に依れば、南日島に入り込んで終へば、逮捕に極めて困難ないと云はれて居る、同首領高春學の海賊の仲間入りの動機は、長い失業者と社會の壓迫の怨めであると云はれて居る

---

## チエツコ全勝

【プラーグ十七日發本社特電】デ杯戰歐洲ゾーン準決勝チエツコスロヴアキア對南阿第三日目シングルス二試合は左の如きスコアでチエツコ勝ち結局チエツコは全勝した

ザスカ(チエツコ) 六―四 六―二 六―〇 ファーカスソン(南阿)

メルシエツク(チエツコ) 六―一 三―六 六―三 六―二 バートラム(南阿)

---

# 娘に會つた
# 父親の喜び
## 人の情に感謝の淚
## 興行主も同情の處置

[illegible]

---

# 淡水築港の陳情
## けさ野口知事を訪問

淡水築港期成會淡水街長[illegible]氏外六名が十八日午前九時臺北州知事に陳情を行つた、淡水の築港は[illegible]現在の儘では川尻が淺く容易に船舶の出入が困難であるから之が[illegible]を行ひ基隆の補助港として淡水の發展を計り度い[illegible]ので、知事は逐一事情を聽取して之が對策を攻究する旨を述べたが、[illegible]淡水港の築港は基隆の補助港として必要なるものとの意見で、基本的調査にもとづき[illegible]を講ずるものと見られてゐる

---

# 此のお天氣は
# 當分は續かう
## 臺北觀測所の打診

[illegible]

---

# 內臺電話に
# 豫約制
## 暇な時は料金も半額に

國際電話內臺線は歐米線の成績方しからざる中に蘭印線と共に極めて優秀なる成績を擧げてをり、最近では[illegible]以上に多忙を極めてゐる、而して內臺電話の[illegible]數は最大限一日八十とされてゐるにもかかはらず八十以下の日は日曜以外に殆どなく、大抵百二十から三十と云ふ好況を[illegible][illegible]

---

## 朝顏大會終る

臺北新公園で開催された三日間に亙る朝顏大會の成績[illegible]であるが[illegible]授賞式は十八日朝九時から同會場內で松岡市尹、[illegible]が擧行された

[illegible]

---

## [illegible]究の自殺(未遂)

臺北市榮町一丁目[illegible]

---

## CB對專賣戰
## は明日に延期

CB對專賣野球戰は十八日中止となり十九日午後一時から圓山で行ふ豫定

---

## メガホン塔

[illegible]

---

## あすの天氣

(臺北測候所發表)

臺北地方　東の和風雨後曇

一區(北部)　東の和風雨後曇

二區(東部)　東の和風雨曇

三區(西部)　北の和風曇後雨

四區(南部)　南西の和風曇時々雨

天況(十八日)　七六〇粍の高氣壓は小笠原島の東方洋上にあり[illegible]

各地氣溫(六月十八日午前十時)

[illegible]

生徒募集

晝間　七月一日
夜間　每月十日開始

活動寫眞應用　設備內容全島一

臺北市蓬萊町參貳壹番地

公認 東洋自動車講習所

臺日案內

書籍　常用語辭典　臺北市榮町一丁目 新高堂書店

料理屋　生そば 辨金京町店

內地土産　パイナップル 桐田商會

醫院　肛門科新設 桑原醫院

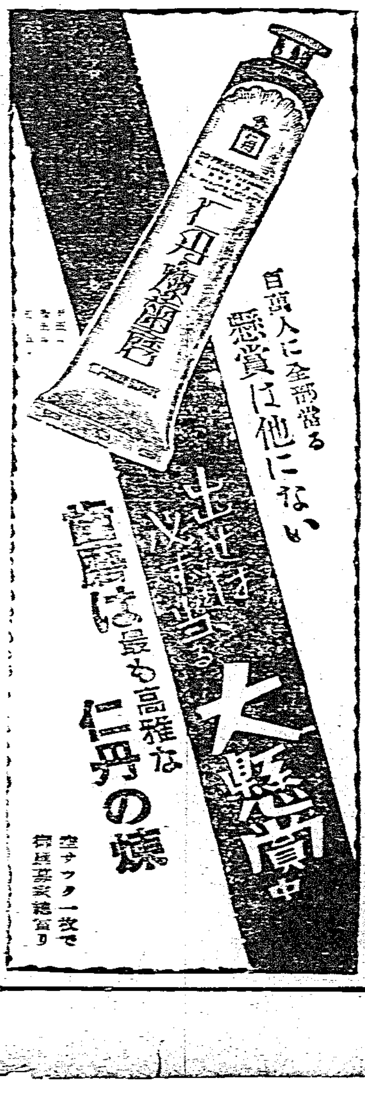
寫眞　寫眞機と材料

樂器　新カメラ 特賣　山葉オルガン特賣中

世帶道具　經濟カマド

旅館　山一旅館

雜件　シテ紐　家財道具　消火器は足立商會　釣道具卸は淡路屋　バイオリン尺八　寫眞



百萬人に全部當る
懸賞は他にない
大懸賞中
齒磨中で最も高雅な
仁丹の齒磨
空サック一枚で

特許專賣

脚氣と榮養に
アベリー

全國著名藥店に販賣す
詳細說明書進呈

粉末アベリー
液狀アベリー
錠劑アベリー
注射用アベリー

第一製藥株式會社

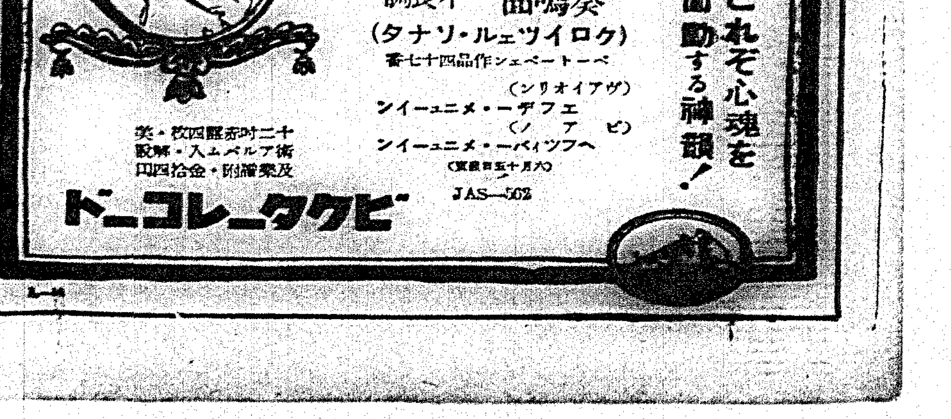
病体へ旺んな活力！を
見ん事附與する類のない病人食物の粉末テルニ

凡て病氣に、[illegible]作用の異常によつて、[illegible]から起るものだ。從つて活力の[illegible]して其の機能を旺盛にするなら[illegible]ば病氣は脫が[illegible]でも治る。[illegible]全な榮養素と十分の[illegible]とを併せて補充することは口に易く行ふに難かつた。[illegible]い。然るに漢方研究家森田醫學博士發見の榮養食物テルニは重病人も平々食用される立派な食物であり而も完全な榮養素と[illegible]とを十二分補充して細胞に偉大な活力を與へ、[illegible]遺作なく服せしめる全く類の無い榮養食物である。この優れた食物の出現により[illegible]牛乳その他の榮養劑はその存在價値を失つた。試食品說明書送呈す 藥店食料品店に有り

專賣特許
強力殺蟲液
芳香無比
人畜無害
カモヰの
キリメツ
蠅・蚊・蚤・南京虫・油虫
虱・家ダニ・毛虫・蟆・羽虫等
其他の害虫一キフ殺滅
發賣元 株式會社 大谷商店
大阪博勞町

はれやか
で七難かくす

アイシ
全國百貨店 藥粧店にア
アイシ本舖



Kreutzer Sonata

奏鳴曲一イ長調
(クロイツェル・ソナタ)
ベートーヴェン作品四十七番
(ヴァイオリン)
エフ・ザーデー・メニューイン
(ピアノ)
ヘフツィバー・メニューイン

これぞ心魂を衝動する神韻！

十二吋赤盤四枚・美術アルバム入・解說及樂譜附・金拾四圓

JAS—562

ビクターレコード

# 親鸞聖人 (241)

（上映禁）

**吉川英治作**
**山村耕花畫**

## 女人篇

### 門へ（三）

吉水の丘はちやうど花頂山の麓下にあたつてゐる。ひと頃の黒谷の庵室はあまりに手狭なのでいつの年かここに移つて来られたかその當時のまま世間では黒谷の上人といつてゐる。そこに法然はもう三十年以上も住んでゐた。既に出たり他に幾月かの起臥しを過ごしたことはその間には勿論あつても西山の黒谷に遁世して名を法然房と称へたのは實に彼が十八歳の時であつたから、その機縁からいへば上人のこの黒谷や吉水附近の土地とは、すくなくとも四十數年来——短かい人の一生涯程も宿世を經て來てゐるのである。

（縁——）

悠々と、範宴は、それを今、轎の中で感じる。

聖光院も、青蓮院も、この吉水とは壁の隣といつてもよいほど近いのだ。そして、自分が、青蓮院の門を手をひかれて行つて、髪を下ろした九歳の頃には、もう黒谷の上人は、西山の廣谷から吉水へ移つて、淨土の門をひらき、稱名念佛をとなへてゐた。

それから、二十年ものあひだ、百歩の近くに住みながら、どうして、お親話を得る折がなかつたのか。

念佛の聲はしきりと吉水の樹の間からもれてきて耳に入つてゐながら、今までは顧みなかつたかと思ふ。

（御縁である）

ふかく——それだけに範宴は今日の日を——不可思議な奇會であると考へて、この通る道、ここを踏みゆく轍の音にも、掌をあはせて謝したいやうな感謝にくるまれるのであつた。

簾をこらした小八葉の車に、さうして、道程にすれば實に短い——時間にすれば萬々何千里にも値する歳月の遠けさをとほつて、吉水禪房の前に着いた。

門の近くを曲つて、十間ほどてまへで駕を下りた。

範宴が、内へ訪れると、

「上人も、お待ち申しあげてをられます」

と、玄關へ出て迎へた弟子僧の面々が云ふ。

（はてな？）

範宴は、性善と眼を見あはせて、いつのまに今日の訪問をあらかじめ師が通しておいたのかと不審つた。

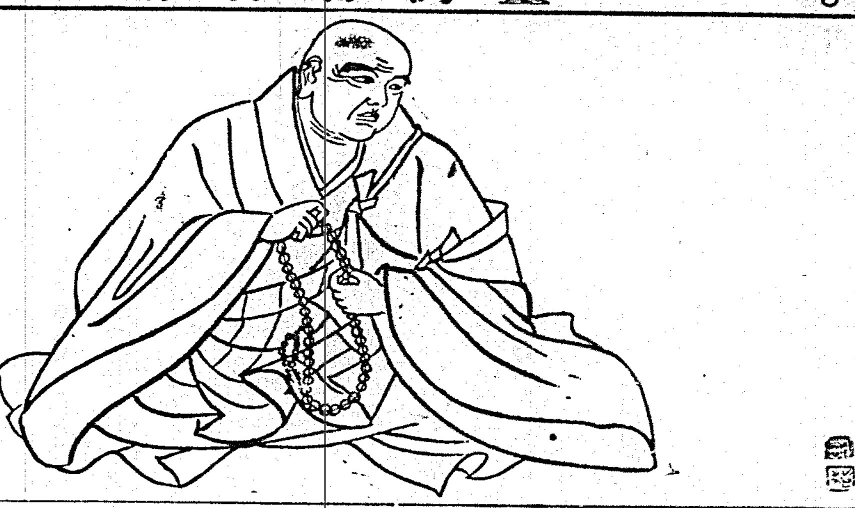
白綾の袈裟がわけて背をたかく見せてゐる範宴のすがたが、式臺する吉水門の人々に身を低めつつ師に奥へとほつた。さすがに貴公子らしいと後にただよふほのかな人格のかほりを禪房の人々はゆかしく思ひあふのであつたが、誰も、その人と同じ人間が先頃から幾月のうち道場の聴法の莚に俗衆のうちに交つてゐたとは気のつく者はなかつた。

茶を煮て、柳折のうへに、伏菟餅と椀とをのせて奥へ運んでゆくと、

「呼ぶまでは、誰も参るな」

といふ上人の聲がする。

緣のつま戸はかたく閉められて近づく者はなかつた。



## 俚謠

選者、句數無制限、何人も投稿し得、筆名は本欄係

△浮世さためぬ浮草稼業何處の露で咲けるやら　臺北　三昇一

△様が濟然の苦勞を思や妓の生活も氣にならぬ　臺東　矢寸島

△戻りや主が迎へる様になつて仕事に精が出る　臺社　山男

△顔や姿は望みはせぬが田舎上手な嫁欲しい　裡布　臨臨

△花の吹雪を出て見る暇もなくて五月の雨をきく　臺北　無常

△逢へば文書く五分の一も云はぬ先から夜が明ける　臺北　八起

△内輪揉めして居る若三郎の腕が冴えずに踊る梅雨　臺北　無常

△思案する身を置いてけぼりに宿やさつさと拝遊　臺中　拝月

## 雜誌紹介

▲國際知識（六月號）　歐州不和機構の變遷と其將來（松田道一）國際平和と科學との交渉（田川大吉郎）世界貿易の現狀に就て（川島信太郎）獨逸と歐洲政局（永井松三）フランスの危機（岡田忠松）將校は獨裁者ではない（松本忠雄）其他（定價四十錢東京市丸の内二ノ十一日本國際協會）

▲映畫教育（六月號）　新しい領域（阿部慎之助）最近に現れた歴史的映畫に就て（上野一郎）教育者のための映畫教育講座（板垣鷹穂）映畫私見（田沢楼一）其他（定價十錢大阪市北區堂島上二丁目三十六番地大阪毎日新聞社）

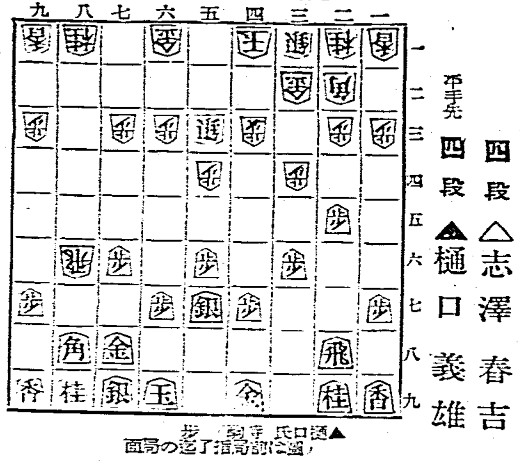
▲陸上競技（六月號）　陸聯組織の改組　伊藤寛　満洲陸上競技界を謳歌し日本陸聯の反省を促す（林田學）香川の陸上界を語る　岩永実　澄浮かぶまま（川崎秀二）早慶對抗陸上競技會を觀て　井沼清七　關東選手權大會雑記（大津周吉）陸上競技練習法（大野錦夫外五名）其他陸上競技會報グラフ等（定價二十錢東京市芝區二本榎西町三番地　一成社）

## 名家敗退將棋（其三）

（志澤氏二回勝三回目）

四段　△志澤春吉
平手先　四段　▲樋口義雄

△志澤氏（持駒）歩



▲樋口氏（持駒）歩
圖は前局指了迄の局面

▲八七歩△八二飛▲二四歩△同歩▲同飛△二三歩▲二八飛△七四歩▲四六銀△六四銀▲三五歩

▲樋口四段曰く　八七歩は二二角成同銀七五角と打つ手を考へたが八九飛成で飛を脅かすだけに殘らず指過となりさうで自重した二四歩は敵に飛先の歩を切らるれば私も歩を持つて二八に引くが本筋と思ひました

△志澤四段曰く　七四歩は九四歩と模様を見る手もあつたが此方が六四銀の時によい味がありませう

▲樋口四段曰く　四六銀は五八金と締れば穏やかではあるが模様によつて飛を五八に廻る考へです

△志澤四段曰く　六四銀は四四歩と辛抱する手もあつていづれが本手でありませうか相當考へたが自信が付かなかつた

◇大崎八段評　樋口君の八七歩は穏やかな受けで普通二二角と交換し五二に用ゐる指方は寧ろ割に不利とせられてゐるが此形では飛が防備に利いてゐるので志澤君の六四銀は恐くて見るに事があるが最近の研究では四四歩と辛抱し三五歩と仕掛けられれば四五歩同銀四二飛廻りで有利となるので敵は三五歩と突く一手で四二と四三に二つ目で後手には付くのである

---

最も信頼のできる姙娠豫防具
ノーマン
ゴムに代つた天然スキンの妙味と自然の快感を倍加する新構造に成功
女性用　男性用
有名藥店にあり

GLYCO
グリコ
榮養菓子

一粒三百メートル
グリコには榮養素八種が含まれてゐますから、お子様のおやつにはこれが一番です。

●頭痛にノーシン●

淋病藥選定問題

淋病患者は如何なる藥劑を優良とすべきか

それは内務大臣を會長とし、醫藥學界の最高權威者十六名を委員とし、愼重審議の上その品位を定め、日本藥局方に收載し且内務省衛生試驗所に於て檢査封緘せる藥劑が、我醫藥界の基準となつてゐるのである

我商會の淋病藥は政府指定、醫藥學界の最高權威者が選定の日本藥局方收載、尚内務省衛生試驗所封緘の治淋劑六種を主藥とし何等副作用なき樣配劑せる公認治淋劑なるを以て

良いから效く、効くから賣れる

で非常な好成績をなしたのである病患者は種々の廣告に迷はず有田ドラッグ專賣所にて御買取あれ

淋病藥
特製　八日分　四円
別製　八日分　八円
（普通用十六日分）　十五円

梅毒

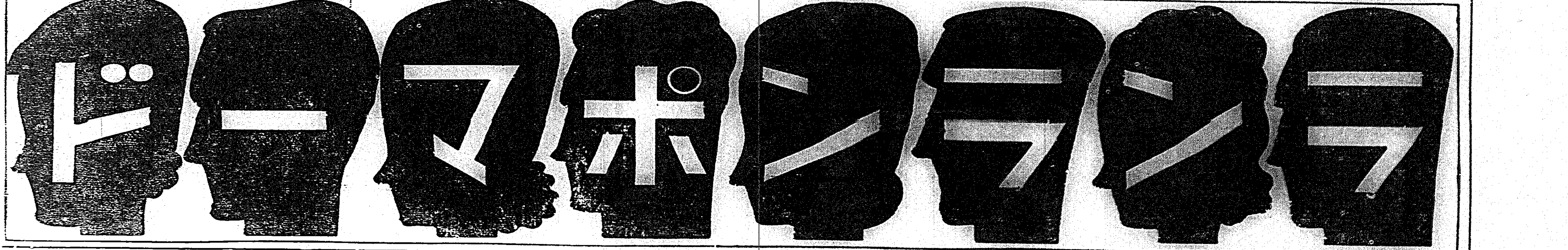
商會の梅毒藥は政府指定日本藥局方醫藥品三種と是認梅毒藥數種を主藥とし副作用の絶無を期したる出願許可済の公認梅毒劑にして初期のカンソ、ヨコネの治療は勿論、第二期全身梅毒、潜伏梅毒、遺傳梅毒、梅毒性ロイマチス等も本劑の内服によつて直に排毒作用を行ひ、梅毒から來る不快症状や局部並に全身症状が漸次薄らいで治病の目的を達し得るのである恐るべき梅毒を子孫に遺傳せざる様、一日も早く商會の梅毒劑を服用され治療の目的を達せられよ

梅毒藥
特製（十七日分）　六円
別製（十七日分）　八円
普通用（日十日分）　十八円

左記有田ドラッグ專賣所にてお買取あれ

台北　本町二
新起町
大龍峒
基隆　義重町
宜蘭　街南門
新竹　東門市場通
台中　栄町四
嘉義　駅前
台南　錦町一
高雄　山下町

にせ藥をウルサギ師あり
藥箱に大阪内本町有田音松鑑製の文字あるものをお買取あれ



新強力殺虫液
キンチョール
特許
專賣
衛生掃除必需品
金鳥かとり線香

驚くべき新特許殺虫劑出現!!!
蠅、南京虫、油虫、家ダニ蚤、蚊其の他の害虫は一瞬に斃死します。
他に比類なき新製品スグ御試み下さい！
本舗　大阪西區土佐堀三丁目
大日本除蟲菊株式會社

# 蓬萊米內地米俱昂
# 內地當限集米困難
## 臺灣產地天候繼續不良

六月一日現在內地在米無多。內地米買氣熾烈。重以去十二日入梅以來。全梅無雨。強氣者買進。期米昂騰。大阪先限。十七日起至二十九圓八十錢臺。十八朝更貴。五節二十九圓九十錢。當限貸米。有蒐集難之慨。大阪強氣出買。有料必至三十圓三五十錢者。然內地全梅雨皆中。去十七日驟雨已來。買者相當警戒。正米市場蓬萊米買賣極多。三期逐千餘車。移出商因產地現米缺貨。契約米買入難。乃向市場買入。而賣派三人組。自南部大舉出賣。中限張至九圓四十七八錢。先限九圓三十四五錢。日來各地降雨。中南部尤豪。十八朝北部又驟降。此天候於稻熱病殊惡影響。今後米價。全恐天候支配。賣派不獨不買填。且再追賣。米界波瀾。當漸擴大也。

# 大甲溪水張人道橋破壞
# 大安庄堤防危險
## 人道橋破處設吊橋

大甲溪張水。大甲溪人道橋。及鐵道鐵橋破壞。十七日始政紀念日祝賀會。列席之日下臺中州知事。接到報告。與慶谷警務部長協議後。午後一時半。驅自動車。急到現場。聽取諸富大甲郡守。報告被害情況。四時歸廳。而現場有諸富郡守。以下警察官。壯丁團。線路工夫等二百餘名。努力復舊工作。然因溪流滔々。水勢不退。不知何時。得以復舊。爲應急處置。先對人道橋破壞之處。約四十米。架設吊橋。得以徒步。候水退後。興工復舊。此須要十數日間。該損害額。人道橋六萬圓。鐵橋二萬圓。計八萬圓。又該橋左岸大甲街之堤防蛇籠。一部分崩落。現興工急造蛇籠中。而大甲溪以西之大安庄附近。堤防亦瀕于危險。對此防水隊。忙于警戒中也。

# 搭乘合車
## 自後里驛連絡

大甲溪鐵橋落壞。南北交通杜絕。爲是欲到北部之人。可乘山線至后里驛。由同處轉乘民營乘合車。到大甲驛。再乘汽車上北。

# 高雄州下豪雨未歇
# 楠梓仙溪漲水丈餘
## 恒春東港潮州被害不明

高雄州下豪雨。至十七日未歇。是日午後一時。州警務部。接到被害第二報如左。又恒春。東港。潮州各郡之被害。因隘寮溪漲水。溪畔之警察專用電話線。電柱流失。不能連絡。現急于復舊也。旗山郡下。甲仙道路東阿里關管內埋沒十二處。楠梓仙溪漲水一丈二尺五寸。本島人被洪流。捲去二名。生死未明。旗尾鐵線橋之脚。傾斜五六十度。同右岸支柱流失。交通杜絕。外橋梁流失二處。屏東郡下。老濃溪漲水七尺。高樹舊港寮堤防上流田流失三甲。堤防未穩續崩潰中。今後若崩至五十間。則溪水汎濫。舊寮一部。及菜寮部落（約八十甲）瀕于危險。該部落民各忙于準備避難。而當局則警察官。壯丁團員等總出警戒中云。

# 新竹市店員
# 勤續表彰
## 知事等述祝

既報新竹商工會議所主催新竹市商店員勤續表彰式。去十七日午後二時。在市公會堂舉行。是日內海知事。藤村內務部長。青木市尹。吉田署長。其他來賓。多數列席。刻到清水會頭。述開式辭。次對百六十一名勤續店員。表彰授與。見內海知事。青木市尹。大江臺銀新竹支店長諸氏。朗讀祝辭。秦生堂店員中村氏爲店員總代述答辭。午後二時五十五分式畢散去。

# 大甲溪鐵橋
# 徒步連絡
## 距離二百米

鐵道部。對海岸線大甲溪鐵橋傾斜運轉不能之處。派係員調查徒步連絡之處。去十七日夜。急行車起。實施徒步連絡。距離約二百米處。一般貨物不爲受理。僅受理乘客之小荷物手荷物。隨身貨物。而一件連搬料（徒步間運搬料）五錢。此外爲公益上之必要品。得本部諒解。特計其便宜云。

# 始政記念日
# 大溪行事

大溪郡大溪街。始政四十年紀念日。午前五時大溪青年團。少年團。學校兒童。及官民。千餘名。於大溪公園。神社前。揭揚國旗。合唱國歌。對伊勢大廟。及皇居遙拜祈願。參拜神社。八時三十分。在大溪公學校舉祝賀式。佐久間校長。奉讀勅語。及述式辭。十時。官民三百餘名。同赴公會堂。開祝賀會。並對保甲役員。勤續二十年以上之表彰式。有保正。吳煥文。江序抱二氏。及甲長。十餘名。受總督賜木杯。各由應田郡守。授與。式畢。開宴。酒數巡。吉田街長。述祝。終則應田郡守。舉杯。三呼皇國萬歲。十一時。盛況裡散會。

# 阿里山鐵道
## 十八日復舊

阿里山鐵道。因豪雨。第三十八號隧道（在奮起湖驛下方）崩潰。十七日朝不通。現復舊工事中。按十八日復舊。

# 感電斃一名

十六日午後六時。南投街小半山竹藪。觸及高壓線。對此許請爾。年三十二。及林樹林。年二十三。兩名。欲開自宅之開閉器。感電即死。

# 始政記念日
## 淡水街祝賀

始政記念日。淡水街于是日午前十一時半。假同地公會堂。開官民合同祝賀會。島井街長開會詞。次朗讀官吉文。最後田中郡守發聲。三唱天皇陛下萬歲。繼由島井街長發聲。三唱臺灣總督府萬歲。乃行閉會。又街役場職員午前七時。參拜淡水神社。同八時。于同役場。舉行始政記念拜賀式。

# 總督監督權句削除
# 鳳梨合同會社前途
## 深憂慮被資本家獨占

臺灣合同鳳梨株式會社。過去二年間。經幾多波瀾。始得開創立總會。然而定款中。因表明受臺灣總督監督之字句。完全削除。於合社將來。頗有關係。即同社。有如前報。因注目該事業有望。大小工場多數濫立。動缺統制。致健實發展之該事業。受其阻碍。乃痛感要爲打開。將既設工場。適宜廢止。謀內容。準備擴充。增大製造能力。與改良製造方法。期品質向上統一。促進臺灣新興產業開發。一面總督府。爲努力於本邦輸出貿易。及貢獻國富增進。親自出頭。慫慂大合同。因資本主義社會。往々陷于獨占企業。故欲使無是弊。於定款二十四條取締役及監查役。於株主總會行一名。應必要時。可得選任常務取締役若干名。監查役。依互選。可得選任常任監查役一名。或爲各項役員之選任。要受臺灣總督府承認。然依株之引受。會社實權。爲一部資本家所掌握。右第二十四條中。要受臺灣總督之承認者。完全削除。唯第二十五條中「前各項役員」。監查役之選任。要受臺灣總督承認。總督府。對于鳳梨工場大合同。依經營大資本家麾下合同之新會社。如何展開。於臺灣產業上。實爲一大問題也云。

# 調查員常駐海外
# 調查米之海外販路
## 政府所有米謀輸出

東京十八日電。朝鮮臺灣產米增殖計畫進展。內地臺鮮產米。今已生產過剩。如昨年度。政府不得不大量買上一千萬石。如放置時。則年年剩生產將多。必惹起重大問題。然以現狀。生產不能制限。農林省積極的謀消費增進。以事需給調節。研究米之新規用途。一方開拓海外販路。於輸出方面。發見活路。海外且派遣調查員。調查市場。而該調查員。常駐倫敦。近欲派遣米穀局。伊藤事務官。政府擁有九百萬石大量之米。政府自身。必積極的輸出所有米。輸出計畫若實現。則植民地產米增殖之壓迫內地。定必多少緩和也。

# 派遣軍費
## 若滿洲負擔
## 則我軍如傭兵

東京十八日電。明年度豫算編成期。有關大軍事豫算問題。惹各方面注目。十七日內閣審議會第二回總會。頼母木委員質問。如滿洲國軍事費。本來滿洲國自身應負擔。此際我政府。豈不使滿洲國直接發行公債保留公債以償軍事費乎。高橋藏相答曰。其案若實現。則在滿洲之我皇軍。恰如傭兵。於國威發揚上不[illegible]。滿洲國內軍事費。分爲治安維持兵力及國境兵力。就中治安維持之經費。因匪賊討伐進行。乃漸減少。要在國境保全。不增加軍事費。[illegible]藉外交工作。日本無侵略之意若明瞭斯可矣。藏相勿論希望軍事費勿增加。然關於滿洲關係軍事費。今後多少膨脹。固不得已。滿洲事件費。不能如平年也云。

# 現地事情
## 報告司令官
## 開陳今後方針

新京十七日電。梅津北華駐屯軍司令官。鑒於北華及察哈爾問題重大性。乃與關東軍重要協商。急派參謀長酒井大佐及張家口特務機關長松井中佐到新京。同時山海關特務機關長儀我大佐。亦接軍司令部召電。與之同行。十七日午後頃入京。相率訪問南軍司令官於官邸。

一、北華問題之經過並今後豫想。

二、第二張北事件及獨石口事件。所謂宋哲元軍之態度。並察哈爾省問題。將現地情勢具細報告後。酒井參謀長。松井中佐。就北華駐屯軍今後方針。開陳重要意見。

# 北華善後策具體案
# 唐次長呈磯谷武官
## 武官說黃郛氏不可復活

上海十七日電。外交部次長唐有壬氏。十七日朝自南京來滬。午後二時。訪問磯谷武官。十六日在南京與汪精衛。黃郛。何應欽三首領協議。示以中國之北華善後策具體案。求其諒解。右具體案內容如左。

一、河北省政府首腦。目下於國民政府監督中。依然鞏固實現出焉。

一、河北省軍隊撤去後。以保安隊維持治安。保安隊由省首席之下。[illegible]任總司令。

對此磯谷武官。請

一、北華實權者。希任用有廣範圍之權限。能解決北華諸懸案人物充任。個人意見。黃郛享其適任者也。

一、保安隊之設置。希勿拘泥將來。要在中國誠意如何。

# 撤退終了
## 平漢線各軍

北平十七日電。平漢線保定一帶。因撤退南下之中央軍。于學忠軍。並北上之商震軍。鐵道輸送頗錯綜。一時感情不安空氣充滿。[illegible]成北平兵亂導火線。幸未演[illegible]事。第二十五師於昨夜中。由保定開下。又于學忠之第五十一軍司令部。十八日南下終了。撤退告一段落。

# 滙水續落

紐育十七日電。十七日美日滙水。續落六仙。爲二十九弗二仙。

# 始政四十年祝賀會
# 東京臺灣俱樂部
## 拓相及諸緣故者出席

十七日東京本社特電。臺灣俱樂部。臺灣始政四十年祝賀會。是日正午。開于丸之內會館。來賓兒玉拓相。櫻井。入江兩次官。其他督府一遞之岡田局長。暨官員出席者高木老。計八十餘名。而領臺當時之緣故者。亦多數參列。首由高木年長者幹事致禮。次兒玉拓相。簡單祝詞。略謂改隸四十年之今日。而衝于此致詞。爲余最光榮。對臺灣始政記念祝賀會。經派遣代理森岡局長。此時態開盛大祝賀會。懷古思今。感慨無量也云々。次開懇談。時有領臺當時之書記官後藤松吉郎氏及大久保利武候之挨拶。最後岡田局長之謝詞。及櫻井政務次官之挨拶所感。對臺灣震災。臺灣俱樂部之同情義捐金謝詞。並關來臺灣博。希望光臨。由是閉宴。宴後于別室歡談。二時半散會。

# 七十日間十四萬圓
# 泗濃號碇泊費用
## 完納罰金後出高雄港

震動全島民耳目之幽靈泗濃號。十五日控訴審判決同時。歸于自由。依[illegible]讓人之手。對當局。種々手續。完納罰金五百圓。受許可出港。十七日午後四時。乃得南出高雄港。直開向新嘉坡。該船自去四月九日以來。至離港日。計七十日間。費用。船員給料。及金利一萬三千八百三十二圓六十錢。停泊料九萬五千二百圓。（一萬一千三百六十圓）。岸壁及浮標使用料八百六十六圓八十八錢。搜索費用約三萬圓。（舊船主之罰金。除外）等合計十三萬九千八百八十九圓五十錢云。

# 七星郡警察課
## 制度講習會

七星郡警察課。爲改正臺灣州制市制街庄制及同施行令之件。自十八日至十九日兩日間。召集全郡內各派出所巡查。在郡役所樓上開講習會云。

# 田端局長
## 巡視東部

田端專賣局長。十八日午前八時四十六分。由臺北驛發列車。赴花蓮港。十九日出席花蓮港煙草試驗所落成式。次按一週間。視察煙草乾燥狀況。豫定于二十四夜。歸抵臺北驛云。

# 督府出張所
## 開祝賀會

東京十七日本社特電。總督府東京出張所。岡田局長。中島課長以下所員一同。于午後三時。會集于一室。開始政四十周年。開祝賀會。

# 社子壯丁團
## 龍舟競渡

七星郡士林街社子壯丁團員。爲祝始政四十周年紀念。月十七日下午四時。在淡水河。集龍舟競渡。河中裝飾船。有音樂團五陣。鼓樂喧天。[illegible]至四時五十分解散。觀者無慮二千餘人云。

# 東遊紀略

其十

（四）

## 三週間之回顧

此行東上。合航路。往返遙三星期間。親睹火後復興之大東京。街衢秩然如畫。樓屋視前加美。建築視前加固。人口視前加密。六十邦里之大東京市。人口約略與全臺灣之人口等。戴四角帽之官公私立大學生數。足與全臺北市人口匹敵。於戲何其盛也。彼三都賦之鋪張揚厲。實不足以及其百分之一。若然則我臺灣之震害。其復興可望如是之速乎。曰臺灣使震害爲全北市。容或較易。郡部不然。寒村僻邑加難。何則大東京有各種之機關在。人所必需。國家爲施發復興債券。及依各種方法。傾注全力爲之。臺灣郡部寒村僻邑之難於復興。有如內地農村之疲弊。容易不能更生者也。雖然亦必不可因是而要罹災地自力更生外。府州郡各當局。及諸金融機關者。宜妥爲設法助成。又如工事上不可缺之材木磚瓦紅毛泥灰石砂利等。依賴買組合方式。大量購入。仰上手商人同情。特別減價廉價供給。其他罹害地及附近人民。行[illegible]。廉價提供。或交換勞力。同可視爲一種非常時之特別訓練。要之臺灣震害地復興遲速如何。是以窺知臺灣官民能力程度。關之重輕。此行奈齋先生。恆告余以觀日本內地。山岳重疊。平野無多。土質亦非肥沃。農家探集約的耕法。工業駸々發展。無郡市農村。皆因利乘便。兼營耕種。信乎瘠土之民才也。余深服于其言。曰。臺灣而貽沃土之民不才之誚。儻勿爲充與熱之天惠所誤。又余觀大東京及其他都市。人口稠密。而秩序整然。是出於教育普及之賜。學校之多。學齡之衆。爲構成大東京人口要素。而臺灣自初等教育之公學校。即容收容力不足。其他上級學校之入學難。尤愈深刻。當局恆託言財源。迄無從。有是理耶。中等學校卒業生無職之人。盡可廉價採用。不必拘於訓導名義。及六割之加俸。均衡上問題。校舍取質朴堅牢者斯可。惟程度不可低。年數不可短耳。姑息的之國語講習所。致力幾何。內地寧多私立學校。臺灣不然。條件至酷。故至今容易不許設立。又臺灣人留學生。至今多趨於法文醫商等。法文醫商固可。外宜更留意於各種簡易工業。及農業加工。應不偏于一隅。臺灣輓近人口驟增。有論再三十年後。且度越千萬人以上。南華南洋之發展。策及移民。是其必要。若然則漢文力。須豫爲涵養。目下學校畢業生。有志於滿洲國者。恒以不解漢文及語言故見黜。若臺灣此後之漢文種子絕滅。則是自絕海外發展之途。此後人口彌增。島內同胞競爭。彌演劇烈慘劇。不難預想像者也（完）。

# 宜蘭郡下
## 表彰詳誌

宜蘭四十周年記念日表彰式。以去十七日午前十時起。開於宜蘭公學校講堂。出席者梅谷郡守。並郡下各官衙長職員。街庄協議會員。街庄區委員。甲長等。計百六十餘名。刻至由梅谷郡守。對表彰者。授與表彰狀。並銀杯。木杯。四十周年功勞者。即宜蘭街佐藤德市。小島仁三郎。櫻川以智三氏。四十年渡臺在住者。二宮氏外十餘名。二十周年勤續奏任官待遇。樋口街長。久保田宜蘭公學校長。藤崎宜蘭神社社司。淺野頭圍公學校長。二十周年勤續判任官。關郡視以外七名。街協議會員二十年勤續。行木氏外四名。節婦二名。即宜蘭街林張氏王女。同金六結陳氏兒兩氏。保正甲長二十周年。勤續百餘名。至十一時頃閉式。後在宜蘭街公會堂。開祝賀會。參加者四百餘名。定刻岩田助役。述開會辭。次樋口街長祝辭朗讀。後宴開酒酣。梅谷郡守起立。三唱臺灣始政四十周年記念萬歲。然後閉會。

# 理髮總會

宜蘭理髮組合總會。並該組合創立二十周年祝賀會。去十六日午後一時半。開於宜蘭街公會堂。出席者組合員。並從業員計七十餘名。來賓有鎌倉警務主任。外警官十餘名。當日審議事項。爲昭和九年度收支決算報告。組合員異動報告。後監督官。鎌倉警務主任訓示。最後松本組合長。對從業員二十年勤續者。授與表彰狀。即吳三才。林萬子。陳春德。林坤生。蕭金枝。張阿傳。陳朝水等。續對組合役員。贈與感謝狀。並金牌。即松本外四名。閉後組合員表彰受賞者代表樹木答辭。閉會後。續開祝賀會。盡歡至七時半始散。

# 臺北州農會二十日
# 主開滿洲茶鑑定會
## 招待關係者四十名

臺北州農會。訂來二十日午後一時起。假臺北茶商公會樓上。主催滿洲茶鑑定會。故開懇談會。招待茶業關係者約四十名。開會動機。乃因大岡臺北州技師。前頃所出滿洲國。調查農產物販路。而于同國。蒐集見本茶十五種。以此爲中心。而開鑑定會。以資當業者。對滿洲茶製造研究。又鑑定會終了後。更就滿洲用茶之發達。續開懇談會云。

# 苗郡苑裡庄
# 建築組合
## 創立發起人會

苗栗郡下苑裡庄。去四月之激震。家屋店舖倒壞而外。人命亦死傷不少。庄當局一面提倡市區改正。一面極力鼓舞改善從來之土角厝。去十五日。招集庄中有力者三十餘名。到庄役場。開建築組合創立發起人會。是日有郡商工課主事薛技氏臨席。庄長陳貢氏。就議長席後。宣告開會。次請岡助役。報告組合旨趣移入定款審議。結局雖有一二項之修正。原案通過。一、事業計畫案通過。一、組合員數八十名。一、出資口數四百口（一口五十圓）一、總出資金二萬圓。一、建築資低利資金借入金十四萬圓。一、建築費。各目支出金七萬圓。總計二十三萬圓。最後選舉役員。理事陳貢氏陳南輝氏陳源氏楊添火氏周悟泰氏郭南枝氏。專務理事岡末知勝男氏。監事藏實炬氏陳炳金氏。常任監事鄭象氏。即時欲提出申請。假事務所。置庄役場。現已募集二百餘口。會議席上。復興氣分橫溢。會至四時而散。

# 保線工夫
## 雨中行線路邊
# 被車撞斃

月十六日午後一時四十六分。有大山腳驛發北上列車。至去固驛約百米之地點。會新竹保線區工夫。桃原幸珍。年二十八。在線路邊。步行中。爲豪雨故。不知列車發至。被撞倒即死。

# 宜蘭

## 陸上競技

宜蘭小學校陸上競技運動會。去十六日午前八時半起。開于該校運動場。競技及遊戲。同數三十一回。至正午零時二十分作終。是日天氣晴朗。各界人士多數往觀。極呈盛況。

# 蘭陽三郡野球爭霸
# 昭和實業兩團優勝

蘭陽三郡下夏季野球爭霸戰。去十六。十七兩日間。開於宜蘭街設北門口運動場。決勝圈。A組則羅東昭和製糖團。並宜蘭鐵道部團。B組。宜蘭實業團並宜蘭白英團。第一日午前九時起。至正午。昭和製糖團與鐵道團。比試結果。六點對三點。第二日自午前十時起。至同午後一時。實業團與白英團比試。八點對二點。兩日優勝。被昭和。與實業兩團所獲。後在該運動場。由赤永野球協會長。授與優勝旗。並銀杯一組。午後二時頃告終。兩日觀衆不下數千人。極呈盛況。

# 大溪

## 表彰納稅

大溪街阿姆坪。區總代林開泉氏。納稅成績優良。此番始政四十年記念日。受新竹州知事表彰。賞銀杯一組。

## 警官更迭

大溪郡警察課。外勤巡查。牛島氏。轉出臺北州。同木村氏。出八結。島人刑事楊基鈞氏。轉[illegible]。後任刑事。以楊添德氏[illegible]。

## 吟社例會

大溪吟社吟會例會。去十六日開于怡園。出席會員二十餘名。題拈東坡用大。七絕徵詩。得詩數十首。評閱後。左右十五名由值東。分與贈品。至午後七時。盡歡而散。

## 會事

▲大溪製茶工場。本年度之作業於四月杪告終。成績甚佳。該工場定來二十一朔。開原料委員會。並招待各界。參預其盛。

▲新竹郡香山庄長陳雲如氏。月十九日庄長滿期。氏昨年十月計畫同庄教育實施二十五週年記念展覽會。訂本年六月中旬開會。奈因本年州下震災。無期延期。故訂來二十日午後一時。于其別莊。開庄長前任及披露會。招待官民關係者。百餘名云。

▲竹州吟社納涼會。去十六日下午一時。開於龍雲寺。詩題[illegible]。七律真韻。次唱涼味。七絕灰韻。發榜後在培文書閣開宴。席間紹介新入社員黃笑園郭茂松謝長成三氏。互相叙舊。盡醉至九時過散會。

## 人事

▲市內太平町開業醫林水樹氏令慈陳太夫人葬儀。訂十九日午前正九時。在稻江會館舉行。而後出殯於海山郡土城庄內公墓。

▲臺中吳子瑜氏來北。寓高義閣。

▲基隆顏欽賢氏。十七日上京。

---

# 商況（十八日）

## 米況

### 正米市況前場

▲二期蓬萊米

當限　九、九〇　八八　九〇　九一　九二　九三　九四　九三　四一車

中限　九、七八　四六　四五　四三　四五　四六　四五　四六　四七　四九　五〇　四八　八三車

先限　九、三三　三二　三三　三三　三三　三三　三三　三三　三八車

### 大阪期米前場

| 節 | 當 | 中 | 先 |
|---|---|---|---|
| 一 | 三〇二七 | 三〇一三 | 二九八五 |
| 二 | 三〇二〇 | 三〇一六 | 二九八八 |
| 三 | 三〇二九 | 三〇一七 | 二九八九 |
| 四 | 三〇二九 | 三〇一九 | 二九九〇 |
| 五 | 三〇二九 | 三〇一九 | 二九九〇 |
| 六 | 三〇二〇 | 三〇一九 | 二九九〇 |
| 七 | 三〇〇〇 | 三〇一九 | 二九九〇 |
| 八 | 三〇〇〇 | 三〇二一 | 二九九〇 |
| 九 | 三〇〇〇 | 三〇二五 | 二九九四 |
| 十 | 三〇三二 | 三〇二八 | 二九九八 |

### 東京期米前場

| | 寄 | 引 | 高 | 安 |
|---|---|---|---|---|
| 當 | 二九六一 | 二九七〇 | 二九七〇 | 二九六一 |
| 中 | 二九七八 | 二九九三 | 二九九三 | 二九七八 |
| 先 | 二九五七 | 二九七一 | 二九七一 | 二九五七 |

### 神戶期米前場

| | 寄 | 引 | 高 | 安 |
|---|---|---|---|---|
| 當 | 二八八二 | 二八九〇 | 二八九〇 | 二八八〇 |
| 中 | 二八八八 | 二八九八 | 二八九八 | 二八八八 |
| 先 | 二八六五 | 二八七九 | 二八七九 | 二八六五 |

## 株式

### 大阪短期前場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 商船 | 四六、九〇 | 四七、〇〇 |
| 日魯 | 六四、〇〇 | 六四、一〇 |
| 日蓄 | 七六、七〇 | 七六、三〇 |
| 日立 | 八八、九〇 | 八八、七〇 |
| 日窒 | 八八、七〇 | 八八、七〇 |
| 鐘新 | 九二、七〇 | 九〇、七〇 |
| 日產 | 七五、三〇 | 七四、七〇 |
| 倉紡新 | 八五、八〇 | 八五、七〇 |
| 倉人 | 一〇〇、一〇 | 一〇九、八〇 |
| 帝人新 | 六九、九〇 | 六九、九〇 |
| 帝人 | 一一八、四〇 | 一一七、七〇 |
| 東新 | [illegible] | 一一三、七〇 |
| 東洋新 | 一三四、二〇 | 一三六、二〇 |
| 淺野新 | [illegible] | 二〇、九〇 |
| 滿鐵 | 六一、七〇 | [illegible] |
| 京阪 | 四六、〇〇 | [illegible] |
| 大同 | [illegible] | [illegible] |
| 日石 | 一〇二、六〇 | 一〇二、七〇 |
| 東レ新 | 六四、八〇 | 六六、四〇 |
| 日紡 | 六五、六〇 | 六四、八〇 |
| 鐘紡 | 一三〇、五〇 | 一三〇、八〇 |
| 鐘新 | 一一八、〇〇 | 一一八、〇〇 |
| 東洋紡 | [illegible] | 一〇七、一〇 |
| 日糖 | 一〇三、三〇 | 一〇二、二〇 |
| 大株 | 八九、七〇 | 八九、六〇 |
| 大新 | 八四、四〇 | 八四、二〇 |

### 大阪長期前場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 大株 | 九〇、八〇 | 九一、〇〇 |
| 大新 | 八五、四〇 | 八五、一〇 |
| 東新 | 一三五、七〇 | 一三五、四〇 |
| 鐘紡 | 一二二、九〇 | 一二三、三〇 |
| 鐘新 | 一一五、八〇 | 一一六、〇〇 |
| 日紡 | 七七、一〇 | 七七、二〇 |
| 日新 | 五七、六〇 | [illegible] |
| 同新 | [illegible] | [illegible] |
| 日窒 | 四五、九〇 | 四五、九〇 |
| 新日窒 | 一一、三〇 | 一一、三〇 |
| 商船 | [illegible] | 四六、四〇 |
| 同新 | [illegible] | [illegible] |

### 東京短期前場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 東新 | 一三四、〇〇 | 一三四、一〇 |
| 大新 | 八四、四〇 | 八四、四〇 |
| 鐘紡 | 二三〇、一〇 | 二二九、七〇 |
| 鐘新 | 一一八、〇〇 | 一一八、二〇 |
| 帝人新 | 六九、九〇 | 七〇、四〇 |
| 東レ新 | 六四、五〇 | 六四、八〇 |
| 日魯 | 六四、二〇 | 六三、三〇 |
| 日鐵新 | 五九、四〇 | 五九、七〇 |
| 北炭 | 三九、九〇 | 三九、八〇 |
| 日石新 | 一〇八、三〇 | 一〇八、〇〇 |
| 三菱 | [illegible] | 三九、九〇 |
| 日石 | 七三、一〇 | 七四、六〇 |
| 日產 | 九一、九〇 | 九一、一〇 |
| 鋼管 | [illegible] | [illegible] |
| 人肥 | 四三、六〇 | 四三、七〇 |
| 東電 | 三四、六〇 | [illegible] |
| 日電 | 六一、七〇 | 六一、六〇 |
| 滿鐵 | 二三、八〇 | 二二、八〇 |
| 同新 | 三七、〇〇 | 三六、八〇 |
| 日蓄新 | [illegible] | 一〇四、七〇 |
| 三井 | [illegible] | [illegible] |
| 麥酒新 | 三八、〇〇 | 三七、九〇 |
| 淺野新 | 二〇、八〇 | [illegible] |

### 東京長期前場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 鐘新 | 一二二、一〇 | 一二二、七〇 |
| 片倉 | 一八、三〇 | [illegible] |
| 寺人 | 一二七、八〇 | 一二七、〇〇 |
| 倉絹 | 二二、二〇 | [illegible] |
| 洋モス | 四四、三〇 | [illegible] |
| 日糖 | 七七、二〇 | [illegible] |

### 東京銀行實株

| | 寄 | | 引 |
|---|---|---|---|
| 日鐵 | 一〇二、八〇 | 日產 | 六八、五〇 |
| 日石新 | 一三、八〇 | 北石新 | 一二、〇〇 |
| 東株 | 二二八、〇〇 | 東新 | 一三四、二〇 |
| 郵船新 | 一五、三〇 | 同 | 四一、〇〇 |
| 鐘紡新 | 一二六、三〇 | 石川島 | 五一、四〇 |
| 新鐘 | 六七、四〇 | 日立 | 七九、五〇 |
| 北炭 | 五九、四〇 | 同新 | 二九、四〇 |
| 九炭 | 一〇〇、〇〇 | 同新 | 三五、五〇 |
| 三菱 | 一〇八、〇〇 | 鋼新 | 三〇、八〇 |
| 鐘紡 | 八八、三〇 | 同鐘新 | 七六、五〇 |
| 關新 | 三三、六〇 | | |
| 淺野 | 三九、四〇 | 同新 | 一九、一〇 |
| 人肥 | 四二、〇〇 | 同新 | 二〇、四〇 |
| 電化 | 四四、六〇 | | |
| 滿鐵 | 六一、七〇 | 地下鐵 | 一五、九〇 |
| 地下新 | 一一、五〇 | 東拓 | 二四、〇〇 |
| 秩木 | 五四、〇〇 | 東邦 | 五六、七〇 |
| 大同 | 三九、三〇 | 同新 | 七九、七〇 |
| 王子新 | 八四、一〇 | 火鐵 | 一三、六〇 |
| 合油 | 五八、四〇 | 白鐵 | 三九、五〇 |
| 群馬新 | 三〇、六〇 | 麥酒 | 一六、六〇 |
| 日魯 | 六三、九〇 | 同新 | 二八、六〇 |
| 松竹 | 三八、〇〇 | 同新 | 二一、五〇 |

### 經育株式

日鐵　五〇、三〇　同新　三六、五〇

正金　二〇三、五〇

鐘紡　七七、〇〇　同新　一八、四〇

臺銀　七六、三〇　同新　五三、四〇

勸銀　八九、六〇　同新　二三、二〇

スチール株　三三弗八分一

アナコンダ株　一四弗八分七

## 公債

### 東京國債

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 甲號五分利 | 一〇四、一五 | 一〇四、一〇 |
| 特別五分利 | 一〇〇、五〇 | 一〇〇、五〇 |
| 第一五分利 | 一〇三、九五 | [illegible] |
| 第二五分利 | 一〇四、二〇 | 一〇四、一〇 |
| 第三五分利 | 一〇〇、一〇 | 一〇〇、〇〇 |
| 第一四分利 | 九八、七〇 | 一 |
| 第二四分利 | 九八、七〇 | 一 |
| 二二年五分利 | 一〇〇、一〇 | 一〇〇、〇五 |
| 二八年五分利 | 一〇四、一五 | 一〇四、〇五 |
| 佛貨四分利 | 一八六、七〇 | 一八六、七〇 |
| 米貨六分利 | 一 | 一三九、四〇 |
| 同 五分利 | 三五七、三〇 | 三五七、三〇 |
| 國債出來高 | 三〇八、四五〇〇〇 | |

## 爲替

### 外國爲替相場

米日當替　二九弗二仙

米英ノワス　四弗九三仙八分三

英日當替　一志二片八分一

### 神戶對外爲替

對米期近　（二九弗八分一賣）

先物　（二八弗一六分一賣）

對英期近　（一志二片三分一賣）

先物　（一志二片八分一賣）

## 穀肥

### シカゴ小麥

七月限　八〇仙四分一

九月限　八〇仙八分五

十二月限　八三仙

### 神戶豆粕

▲前場　一節

## 砂糖

### 大阪現物

三品（OB）　一五圓六五錢

分蜜（ザ）　一六圓〇錢

耕地（壓）　二二圓五〇錢

同（綿）　二二圓六〇錢

同（日）　二二圓五五錢

耕地白糖（A及）　二二圓二〇錢

### 大阪清算

▲前場　一節

十限　一一九二　二〇四　十一限　一二〇〇

### 爪哇

直物　五盾九二仙二分一

六月　五盾九、仙二分一

七月　五盾九二仙二分一

八月　五盾九二仙二分一

九月　五盾九二仙二分一

### 玖馬

實物　二仙四五

## 銀塊

倫敦現物　三二片八分五

同　先物　三二片八分七

紐育現物　七二仙八分一

## 絲況

### 大阪綿絲

米棉　四四錢安

印棉　不變

▲前場　寄　引

六月限　二〇八、〇〇　二〇七、六〇

十二月限　二〇一、六〇　二〇一、七〇

### 大阪棉花

六月限　一九二　一九一

### 大阪人絹

▲前場

六月限　六一、六〇　六一、七五

### 橫濱生絲

▲前場

六月限　六〇、二〇　六〇、二〇

十一月限　三三六、〇〇　三三九、〇〇

臺灣日日新報

本日夕刊共十六頁
編輯兼發行人 河野若[illegible]
發行所 臺北市榮町一
臺灣日日新報社
廣告料 普通 一行 八十錢 / 特別 一行 一圓二十錢 / 記事 一行 一圓五十錢

最新最高の建築大叢書

未曾有の好評裡に全巻刊行を完了せし本叢書は、茲に申込の機會を逸した諸彥の要望に依り今回再び刊行、此機を逸せずお申込を乞ふ

佐野利器 監修

高等 建築學

全二十六巻

第二回豫約募集

1 日本建築樣式 日大講師 大岡實
2 西洋東洋建築樣式 日大講師 大岡實
3 建築材料 工學士 田中[illegible]
4 材料の力學的性質 / 材の力學・土の力學 / 複式汎論 [illegible] 吉田[illegible] / 工學博士 [illegible] / 日大教授 小野薫
5 トラス / 矩形ラーメン及アーチ 日大教授 小野薫 / 工學博士 [illegible]
6 地震學 / 構造物震動論 理學博士 今村明恒 / 日大教授 河野[illegible]
7 一般構造 / 耐火構造 工學士 [illegible] / 工學博士 [illegible]
8 煉瓦及石構造 / 木構造 / 社寺建築 工學士 [illegible] / 內務技師 角南隆
9 鐵筋コンクリート構造 工學博士 [illegible]
10 鐵骨構造 工學士 [illegible]
11 契約仕樣積算 / 施工計畫施工設備 東大講師 山下壽郎 / 清水組技師 久[illegible]
12 建築設備 東京市技師 中西[illegible]
13 計畫原論 日大教授 [illegible]
14 住宅アパート / 庭園 清水一 / 內務技師 北村徳太郎
15 ホテル / 病院 / サナトリウム 鐵道技師 [illegible] / 工學士 高松政雄 / 小倉強
16 商店百貨店 / 事務所 / 銀行 工學士 [illegible] / 工學士 中山元晴
17 工場 / 市場 / 火力發電所 工學士 高橋貞太郎 / 小野二郎 / 鐵道技師 高橋豐太郎
18 倉庫 / サイロ / 冷藏庫格納庫 / 自動車庫 [illegible] / 工大助教授 谷口吉郎 / 工學士 山越邦彥 / 工學士 日下部[illegible]
19 遞信省の建築 / 旅客驛 / 刑務所 遞信技師 [illegible] / 鐵道技師 [illegible] / [illegible]
20 學校 / 圖書館 東京市技師 [illegible] / 日大助教授 江崎[illegible]
21 美術館 / 博物館商品陳列館 工學士 小林政一 / 下元連
22 劇場映畫館 / カフェーレストラン / ダンスホール 遞信技師 木村堅二郎 / 內務技師 小林[illegible] / 日大教授 小野[illegible]
23 倶樂部 / 運動場體育館演武場 / 浴場 日大講師 [illegible] / 工學博士 小林政一 / 井上一之
24 溫室 / 葬祭施設 / 屠畜場 / 塵芥處理場 工學士 增田八郎 / 工學士 島田[illegible] / 小野二[illegible] / 東京市技師 [illegible]
25 建築法規 / 都市計畫 / 住宅經營 內務技師 [illegible] / 內務技師 [illegible] / 內務技師 中村寛
26 家屋耐震耐風構造 工學博士 佐野利器 / 工學博士 武藤清

第一回配本 工場・市場・火力發電所

本書の執筆者 工學士 高橋貞太郎 / 東京市建築課長 小野二郎 / 鐵道技師 高橋豐太郎

（第一回配本六月中旬完成申込乞ふ）

刊行規定
體裁 各巻菊判約六百頁總紙上製函入
刊行期日 本年六月より毎月一册づつ刊行
會費 申込金不要 毎月拂二圓五十錢 一時拂六十圓
申込締切 本年七月三十日限

內容見本進呈
東京市小石川區諏訪町
常磐書房
振替東京七一七二五八 電話大塚(86)二三二六

物語日本文學

古典文學は吾等の祖先が成したる最大最高の業績であり同時に吾等國民に對する祖先の至大至要なる遺産である。吾等は之に依つて祖先の面影を知ると共に我が國民本具の性質を知り更にその間に久しきに亘つて蔽はれた吾等自身の本質をさへも知ることが出來る。而も此等の古典文學は從來全く專門少數の學者の專有物視せられ徒らに篋底深く藏せられて一般國民の前には絕えて提供せられなかつた。物語日本文學一度出でて古典文學は玆に新裝を凝して一般國民の前に蘇生した。宜なるかな今や物語日本文學絕讃の嵐の如き聲を聞くに至つたのは。

編輯顧問
文學博士 坪內逍遙
文學博士 上田萬年
文學博士 藤村作

東帝大教授 藤村作
東帝大講師 志田義秀
文學博士 武田祐吉 共
東帝大講師 島津久基
文學博士 久松潜一
東帝大助教授 池田龜鑑 譯
東文理大講師 能勢朝次
大阪女專校長 平林治德

第一巻 古事記
第二巻 萬葉集
第三巻 竹取物語
第四巻 伊勢物語
第五巻 源氏物語（上）
第六巻 源氏物語（下）
第七巻 枕草子
第八巻 蜻蛉日記
第九巻 更級日記
第十巻 大鏡
第十一巻 堤中納言物語
第十二巻 平家物語
第十三巻 太平記
第十四巻 增鏡
第十五巻 徒然草
第十六巻 義經記
第十七巻 曾我物語
第十八巻 西鶴名作集
第十九巻 近松世話物語
第二十巻 西鶴一代物語
第二十一巻 一茶一代物語
第二十二巻 雨月物語
第二十三巻 假名手本忠臣藏
第二十四巻 椿說弓張月

本叢書の特色

◎日本文學中の重要作品を悉く網羅す
◎嚴密なる學問的見地に立ち其の作品本來の面目を發揮せんことを期す
◎平明なる現代語を以て興味深き物語體に書改め古典を現代に再生せしむ
◎最も健全なる學校、家庭の讀物たらしむ
◎日本文學の眞髓を傳へると共に日本精神の正しき姿への認識を強調

愈第二回配本開始

堤中納言物語

これは世界最古の短篇小說とも、いはるべき作品十篇から成つて居ります。その題材といひ構想といひ技巧といひ頗る近代的色彩を帶び極めて藝術味の豐かなものであります。そして原作に忠實な平易なる現代語に改めてあります。[illegible]

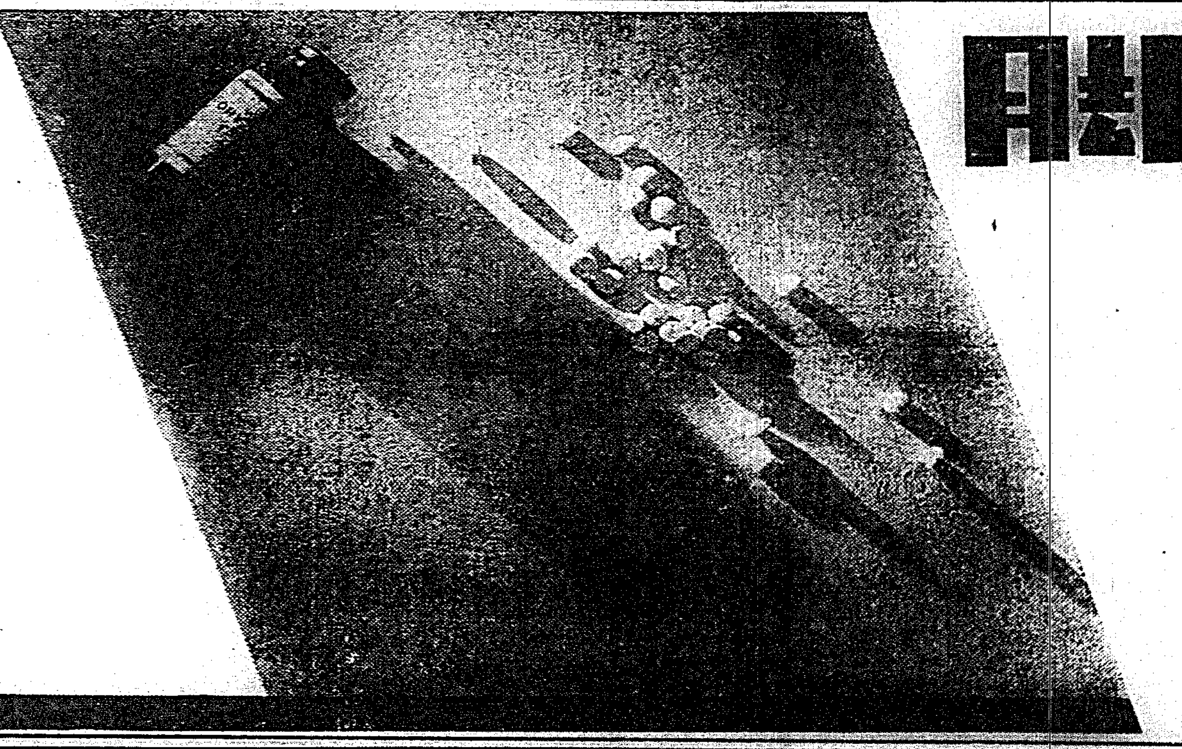
西鶴名作集

西鶴の名作は元祿時代の花であります。由來西鶴物は難解を以て稱せられて居ります。[illegible]

第一回配本濟 古事記・一茶一代物語

申込規定
刊行期日 昭和十年五月より毎月一册づつ刊行して昭和十一年四月全二十四册完結。但し編輯の都合により必ずしも巻數の順を逐つて發行致しません。
體裁 四六判九ポイント一段組總ルビ附（內容見本の通り）紙數每巻約三百五十頁。函入。
申込方法 申込金不要。第一回分より御申込の方に限り特に[illegible]
會費 每月拂金貳圓 [illegible]

內容見本進呈
東京市牛込區揚場町二七
振替東京二九五〇七番
至文堂



三 SANKYO 共

脚氣に——

オリザニン

脚氣にオリザニンを用ふれば速かに治に就かしめ得るは多數實驗諸家の報告に照して疑ふの餘地なきところなり……

オリザニンは又、脚氣の外、人體必須の副榮養素として種々の場合に賞用せらる……

(1) 熱性病者の榮養保持に、食慾不振に (2) 妊婦便祕、妊娠嘔吐に、妊産婦脚氣に (3) 泌乳不全に (4) 虚弱兒の健康並に發育增進に (5) スポーツマンの心臟力保持に、疲勞恢復に……

（說明書進呈）
液、エキス、錠、末、注射液各種

東京・室町
三共株式會社

三共の藥品の定價と簡單なる說明とを載せたる冊子「三共の藥品」あり御入用の方は此新聞名御記入御申越下さい進呈致します

✓美味
✓滋養
✓芳香

此の一杯
衰弱が恢復する
疲勞が癒る
病弱を蹴飛ばす
體力を充實する
活動力を旺盛にする
精神を爽快にする

何故

「どりこ」の主成分は、人體エネルギーの根源となる蔗糖、果糖と葡萄糖の外に消化促進に不可缺のアミノ酸があります。これ等の成分はこれ以上消化を要しない狀態にありますから、衰弱した胃腸にも容易に吸收され、血を增し、肉を肥やし、全部が身體の榮養分となるのであります。しかも、味は芳醇、香りは高雅、無類の滋養料として、御家庭のお飲物として、これこそ新時代の理想的飲料品です。

次の樣な方は是非ご愛飲を

▲胃腸病、呼吸器病の人
▲病中病後、産前産後の人
▲病弱、虚弱、老衰の人
▲榮養不良、發育不良の兒
▲離乳兒、虚弱乳兒等に

醫藥は禁物です。朝夕一杯宛今からご愛飲下さい。最も平易な健康の近道です。

六、七倍に薄めて召上り下さい

「どりこ」は普通六七倍の水か湯に薄めて用ゐますから、誠に經濟的な飲料です。

專賣特許の美味滋養料

得 力 根

どりこの

臺灣全島大景品附大賣出し
愈々物凄い盛況！

愛飲家皆樣に急告！

どりこのは今がお求めの絕好期です、一本お買上げ毎に左の素晴らしい景品の抽籤券を差上げます（期間七月三十一日迄）

一等 十八金側腕時計
二等 新型旅行鞄
三等 特製絹張洋傘
四等 どりこの一本
（當選總數百七十四本）

今スグー
どりこのお求めの上素晴しい福運をお當て下さい！

發賣元 東京小石川 大日本雄辯會講談社商事部
臺灣總代理店 臺北市壽町 藤田商店

# 天然ガス研究所と其重要性
## 其の官制の發布近づく

一

始政第四十周年記念日を迎へた今日振り返つて本島產業進展の跡を見るに、各方面共に當局の指導誘掖と當業者の努力とに依り極めて異常なる躍進を遂げつゝあることは人の知る通りであるが、唯だ此の間に在つて他產業に比し割合に其進展の遲々たるの觀あるのは獨り石油產業である。之に關しては明治四十二年以來國庫補助額已に百萬圓を突破し、又た經營會社側の投資額も莫大であつて嘗ては人事を盡くして奮鬪したのであつたが、如何せん本島油層は地下深い所に在つて容易に豐富なる油脈に掘り當てず、營々としてボーリングは進りながらもひたすら天命を待つの姿に在つた結果に外ならないのである。

二

併し今月迄に於ては出礦坑油田に於ては一時は日產三百石の原油を湧出したこともあり、之を累算すれば相當分量に達して居るであらう、又た錦水油田に於ては莫大の瓦斯を噴出し已に今月迄の總量七百五十億立方呎に達し、之を臺北現在の石炭ガス市價一立方米九錢を單位として此の七百五十億立方呎に換算すれば實に五億圓の巨額に達する、然るに此天然ガスよりは揮發油とカーボン・ブラックを採取した外、工業用及び家庭用燃料として其少量を利用して居るのに價額を積算するも僅かに數百萬圓に過ぎないことは、全く天物暴殄の譏りを免れる事が出來ないのである、いま此のガスに就き專門家の調査した所に依れば、メタン・ガスがその九五乃至九七％を占め之に少量の炭酸ガス、酸素、重炭化水素を含有するが、其の發熱量に至つてはその一立方呎が一千B・T・U以上で、實に一般に使用されて居る石炭ガス發熱量の二倍に相當して居るといふ。

三

而も此の天然ガスが誠に都合好く出來て居るといふ點は、之より揮發油分を抽出してもガス量が之が爲めに僅かに一％內外しか減じないことに在る、揮發油分抽出のあとの所謂殘ガスは炭酸ガスに於て少量を增し重炭化水素とメタンを少しく減ずるのみで、其の發熱量は依然として石炭ガスの二倍を維持して居るので、動力用燃料として大なる價値を有する、然るに現在としてはこの殘ガスより少量のカーボン・ブラックを採取するのみで、後に殘つて居る莫大の發熱量即ち幾多大工業の動力に利用し得るものを徒らに空中に放散して居ることは誠に勿體なきことであり、又た不合理と言はねばならないのである。

四

揮發油抽出後のガスには何ほ九十幾％といふメタン・ガスを含むが、之を主體とする化學工業としてはカーボン・ブラックの外、ベンゼン、アセチレン、シントール、パラフイン、メタノール其の他の軍需品、藥劑、香料、染料等の製出原料たるべく、又た熱源として製鐵業や硝子工業に之を利用することも極めて適切であり、更に之を發電用に利用しアルミニユームやマグネシユームの製造にも極めて有利とせられて居る、併し從來は斯く利用價値の頗る高くして而も本島に於て豐富に噴出する天然ガスに就ての專門研究機關が無かつたのであるが、幸ひにして當局多年の努力が報いられ天然ガス研究所設置七ヶ年繼續事業として、先づ本年度に約十五萬圓が計上せられ、之に關する官制も近く發布の運びとなるやである、言ふ迄もなく帝國版圖の內天然ガスの極めて豐富に噴出するのは臺灣の外になく、從つて之が研究機關の設置されるのも我が國に於ては之を以て嚆矢とするところであるから、今回の研究所の設置に就ては內外共に多大の注目を拂ふところであらうし、其の創立に當つても周到綿密なる考慮を以て事業の開始せられんことが望ましい。

五

アメリカの加州政府に於ては昭和四年末に於てガス保存法を制定し石油業者が大量のガスを放散することを禁止し、又たガス利用上最も不經濟なるカーボン・ブラック採取を著しく制限するの方針に出で、極力ガスの價値高き利用を爲さしむるやう努力しつゝあり、本島に於ても將來或は斯くの如き法律を必要とする時期の到來することも無しとしないが、現在としては時局にも鑑み、之を化學工業、熱源及び電力等に活用するの生きた研究を爲し、着々之を實行に移して行くといふ使命を帶びて生れ出づる新機關の重要性を十二分に認識し、その前途に多大の期待を置かんとするものである。

---

# チヤハル問題は急轉直下解決す
## 土肥原少將が―
## 宋軍代表と會見して

【天津十八日發聯合至急報】十八日午後土肥原奉天特務機關長は宋哲元軍代表と會見、チヤハル問題につき協議した結果、兩者の意見完全に一致し、ここにチヤハル問題は急轉直下解決した

【天津十八日發聯合至急報】察哈爾問題は土肥原奉天特務機關長と宋哲元代表との會見に於て圓滿解決したが、之れは右會見席上宋哲元側が本事件の關係師團たる第百三十二師の省外移駐を認めた爲で、中央政治會議の宋哲元免職と相俟つて斯く急速に解決となつたものである、尚細目交涉については天津に於て土肥原少將と秦德純氏との間に行はれる筈である

# 反中央系の將僚が華北軍同盟會を結成
## 表面國防、事實は反蔣運動
## 太原に參集極祕裡に協議

【天津十八日發聯合】北支の新情勢に伴ひ反中央系將僚の間には漸次大同團結の機運が擡頭するに至つたが、太原來電に依れば山西省の閻錫山を中心に華北軍同盟會の結成運動が愈々具體化するに至つたと傳へられてゐる、右同盟會の結成に參加してゐる將領は傅作義、徐永昌、馬鴻逵等で以上各將領の代表は目下太原に參集、極祕裡に協議を進めてゐると言はれてゐる、而して右同盟會は表面北國防を標榜將領の大同團結を表看板としてゐるが事實は反蔣運動と解せられる、而して右同盟會今後の推移は時節柄各方面より大いに注目されてゐる

# 北平政務整理委員長に王克敏氏を任命
## 昨日の行政院會議で

【南京十八日發聯合】國民政府は十八日午前行政院會議を開催、行政院長汪精衞氏司會の下に北支の時局善後策を審議した、席上汪院長より北支の情勢に就き詳細報告し急速に時局解決の必要ある旨を力說し、次いで宋哲元の察哈爾省政府主席罷免並に北平政務整理委員長代理の任命等重要人事を決定した、同決定事項は次の通りである

一、北平政務整理委員會委員長黃郛は病氣の爲王克敏を代理委員長とし事務を代行せしむ

一、天津警備司令商震に天津市長兼任を命ず

一、現察哈爾省政府委員兼民政廳長秦德純を省政府主席に任ず

## 中央軍の省外撤退未了
### 我飛機引續き監視

【北平十八日發電通】支那軍の河北省撤退監視の爲め我が軍用機は十八日午前十時保定方面より北平上空を通過したが、于學忠軍第五十一軍は省外に撤退を完了したが、中央軍第二師、第二十五師は保定、長辛店に駐留して省外撤退に未だ移らぬので引續き空中監視をなす筈

# 宋哲元を罷免
## 主席代理に秦德純氏

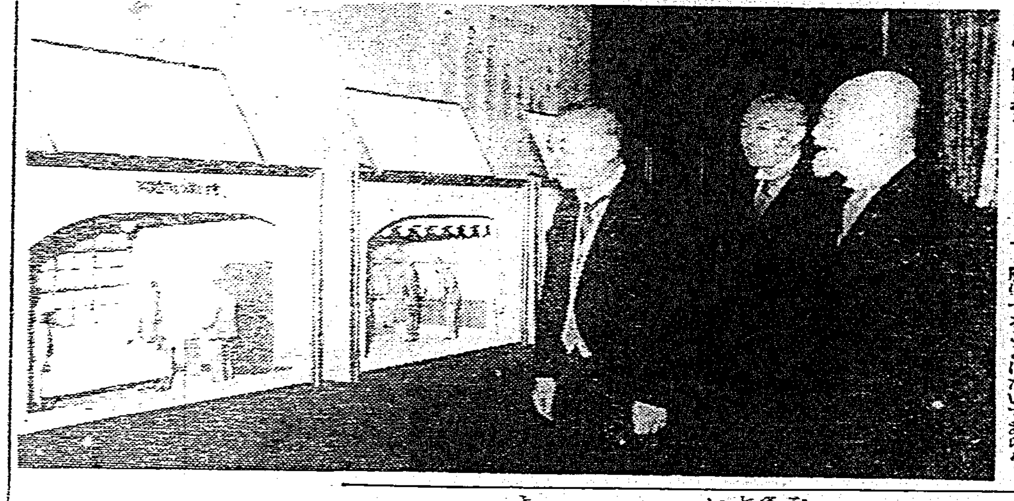
【南京十八日發電通至急報】國民政府は十八日の行政院會議で察哈爾省政府主席宋哲元を罷免し秦德純を主席代理に任命するに決定發令した

## 王委員長は近く北上

【上海十八日發聯合】北平政務整理委員會委員長に正式任命された王克敏氏は愈々近く北上、北支時局收拾に當るものと觀られてゐる

## 蔣氏飛行機で南京へ
### 學良を同行し

【漢口十七日發聯合】北支時局の重大化に伴ひ[illegible]の第一報に接して[illegible]蔣介石氏は愈々十六日午後[illegible]途に就いた蔣氏は漢口到着後張學良と會見北支時局の推移を聽取し十八日午前張學良と相携へて飛行機で南京に急行、國民政府首腦部並に黃郛氏と重要協議を遂げ北支問題の全面的協議を遂げ解決を計るものと觀られる



（右より高橋藏相、林市藏氏、岡田首相）

## ハル國務長官の演說
### 直接侵略を受けた際にのみ戰ふ

【アン・アーバー（ミシガン州）十七日發電通】ハル國務長官は十七日ミシガン大學において國際問題に付き講演をなし

今や列國の軍備競爭は全く自殺と同樣の激しさを以て開始されてゐる、我國は決して戰を欲するものでなくアメリカは直接侵略を受け之を防衞せんがために已むを得ず戰ふ時以外には敢て戰爭することはないであらう

と決意を語つた

# 關東軍との打合を終る
## 酒井參謀長新京發

【新京十八日發】支那駐屯軍酒井參謀長は關東軍との重要打合せを完了したので十八日午後十時新京發列車で急遽天津に向け歸任することとなつた、打合會議の結果は

一、關東軍及び北支駐屯軍は一體となつて軍事協定範圍における北支問題及び察哈爾問題善後策の萬全を期し今後支那側の態度を嚴重監視する

一、軍は外務省とともに支那中央政府の排日イデオロギーの根本的是正に邁進し、外務省と南京政府間に確乎たる政治協定を必要とする、之等の問題は外務省の交涉に讓り、軍は本來の使命に立ち歸るが今後と雖も苟くも支那側にして反日滿的若しくは侮日的行動をなしたる場合は斷乎として膺懲し一步も假借するところなし

との方針を堅持して酒井參謀長は天津に歸り、同地にて天津、北平、上海其他の駐在武官會議を開き、南京軍部の意嚮を以てその目的達成に努めることとなつた、歸京に際し酒井參謀長は

要するに問題の解決は支那中央政府の排日イデオロギーの根本的是正にある、然し今後の問題は外務省と南京政府の交涉において解決すべきで、軍は軍としての使命に向つて邁進するのみである

と決意を語つた

## 北支の情勢充分に注視
### フイリツプス氏語る

【ワシントン十七日發聯合】リンゼー英大使と會見後國務長官代理フイリツプス氏は次の如く語つた

北支の情勢については國務省も充分成行きを注視してゐる、北平のジョンソン、東京のグルー兩大使から情報を接受してゐるのは勿論ワシントン駐劄日、英、支三國大使からも夫々逐一經過報告を受けてゐる

## 松平武者小路兩大使歸朝
### 八月二日橫濱著

【東京十八日發】松平駐英大使は過般歐洲各地を巡歷し親しく各國の政治經濟情勢を視察の後パリにおいて全歐大使會議を開催、各大使より本省に進言すべき材料を蒐集したので駐獨大使の武者小路大使同道來る七月四日ロンドンを出發し歸朝することに決定した、兩大使はカナダを經由し八月二日橫濱入港の平安丸で歸京し廣田外相にドイツの再軍備宣言以後の歐洲の新情勢及び軍縮に對する各國の態度を報告し軍縮對策及び對歐外交方針を協議する豫定である

## 天津駐屯軍各隊母國指して凱旋
### 歡呼の聲に送られ

【天津十八日發電通】一ヶ年の任期を終へた天津駐屯軍各隊は十八日午前六時半駐屯軍兵營を出發沿道を埋める居留民の歡呼の聲に送られつつ天津出發、同夜は塘沽の船中に一泊して十九日午後三時出帆一路祖國に凱旋する、尚第一第七兩師團も十九日塘沽に集合二十日出帆凱旋する筈

# 英獨海軍協定正式調印を了す
## ◇……きのふ公表

【ロンドン十八日發電通】英獨海軍會議は十八日午前十一時十五分より英國外務省において開かれ同五十五分散會したが散會後英獨海軍協定が正式に成立し調印を了した旨公表された

# 臺灣自治協會創立委員の打合會
## 二十日午前十時長官公室で
### 委員の顏觸―民間側は六氏

臺灣自治協會の創設については其後內務局地方課に於て準備進行中であつたが、二十日午前十時より總督府長官公室に於て創立委員の打合會を開催することになり委員の顏觸れは

△民間側　河村、荒木、木村、[illegible]、安保、顏國年の六氏

△官廳側　小濱、石垣、深川の三局長と野口知事等である

# 滿洲國の負擔に藏相は反對意見
## 傭兵の觀を呈するとて

**滿洲國內軍事費**

【東京十八日發】明年度豫算編成を控へて膨大なる軍事豫算問題は各方面の注目を惹いてゐるが、十七日の內閣審議會第二回總會において[illegible]委員より滿洲國內の軍事費の如きは本來滿洲國自身で負擔すべきであるが、この際政府として滿洲國が直接擔保附公債でも發行してその軍事費を賄ふやうにする意向は有してゐないかと質したるに對し高橋藏相はその案を實現するとせば滿洲國に在る我が皇軍は恰も傭兵の如き觀を呈し國威の發揚上面白からざることとなる、滿洲國內の軍事費は治安維持の兵力と國防兵力とに二分されるがこの內治安維持の經費は匪賊討伐の進行と共に減少して行くものであり、要は國境保全のため軍事費を增加せぬやうにすればよい、それが爲には外交工作に依り日本が侵略の意思なきを明瞭にすればよい譯である

と答へるところあつた、斯くして藏相としては軍事費を增加させることは勿論希望するも滿洲國の軍事費に關する限り今後多少の[illegible]する趨勢は止むを得ずと認め滿洲事件費半年化の不可能を明かにした點は注目されてゐる

## 昭和九年度の歲入超過
### 三千九百萬圓に達す
### 財界好轉の反映から

【東京十七日發】大藏省では十七日の[illegible]昭和九年度の歲入歲出豫算決算を發表したが之に依ると

歲入總額　十九億千百六十六萬二千圓

歲出總額　十八億七千二百十五萬六千圓

差引歲入超過　三千九百五十一萬五千圓

となつて居り經濟界の好轉を反映し著しく自然增收の向上を現はしてゐる即ち經常歲入の內租稅の如きは前年同期に比し五千三百七十萬七千圓、印紙收入は四百廿萬五千圓、專賣納付金は五百九十四萬二千圓と夫々增收を示してゐる、從つて七月末の國庫締切においては租稅印紙收入を合せて優に七千萬圓程度の自然增收を期待し得るものとなしこの最高記錄たる昭和二年度の實績に近づくことは疑ひないところであらうと見られてゐる

## 貧しき人々の姿をジオラマで見る首、藏相

[illegible]

## ソ聯參事官、外務省を訪問

【東京十八日發】[illegible]

---

# 日滿經濟委員會設置の條約案
## 樞府御諮詢を奏請

【東京十八日發】日滿經濟共同委員會設置に關する條約案並に附屬諒解事項は十八日の閣議に正式提出、廣田外相から說明して各閣僚の諒解を求め異議なくこれを可決、即日樞府御諮詢を奏請した、一方滿洲國政府に於ても同樣手續きを進行されてゐるので日滿經濟共同委員會設置に關する條約は大體六月下旬新京に於て調印の運びに至るものと觀られる

## 謝駐日大使けふ特任式

【新京十八日發】滿洲國政府は豫て日本外務省にアグレマンを求めつつあつた駐日初代大使謝介石氏に對して日本側より同意の回答ありたるを以て十八日左の通り發令あり十九日宮中において特任式を舉行されることとなつた

參議府參議　謝介石

特任駐劄日本國特命全權大使

## 關稅附加稅徵收延期を正式布告
### 上海海關から

【上海十八日發電通】來る六月卅日を以て滿期となるべき關稅附加稅の五分徵收を一ヶ年延期する件に付き上海海關は十七日付を以て左の如く正式布告をなした

政府の命令に依り現在徵收の關稅附加稅五分は之を千九百三十六年六月三十日まで延期す

## 部局長會議

總督府では十八日午前九時より總督官邸に於て中川總督主宰の下に部局長會議を開催し、始政四十周年を迎へ今後十ヶ年間に於ける施政の諸方面に建てらる可き方策を研究しそれぞれ各部局にて具體案を練ることになつた

## 臺北ロータリー俱樂部の週例會

臺北ロータリー俱樂部にては十八日午[illegible]時半より鐵道ホテルに於て第一百八回週例午餐會を催し出席者三十二名、幹事報告後辻本、[illegible]兩氏より提議あり之を議して後左記兩氏の五分演說あつて午後一時半散會した

チヨプラン島[illegible]　木村泰治

猶太人のドイツより排斥さるる理由　三宅久雄

## 督府辭令（十八日附）

臺北帝國大學附屬農林專門部教授　安達島次

東京、京都、新潟の各府縣へ出張を命す

府技師　下斗米政行

東京、大阪の兩府へ出張を命す

## 米日爲替續落

【ニユーヨーク十七日發電通】十七日の米日爲替は六仙方續落の二十九弗二[illegible]と軟調に引けた

## 人事

▲[illegible]

所十八日歸北

## シナチク

一時齋藤の空氣を可なり緊張させた例のジユノウ號事件も、各方面首腦者の斡旋や理解で十六日頃參謀長の聲明となり之で兎に角納まり、一夜あけて十七日の始政四十年祝賀當日となつた、當日後に臺北の祝賀會や總督官邸の園遊會など殊の外賑かであつた▲今度の事件では隨分まづい感情や空氣も流れたが、之に依つて臺灣の住民が國際スパイ戰に對し警戒しようといふ氣分や注意をも喚起し、その方面の認識上には貢獻するところがあつた、然しこの機會に更に一段と此方面の知識を深め警備を固めなくてはとの主張もある▲それは兎に角として今回の事件を何とかして速かに解消させたいとの希望は、文と武と民間との區別なく一樣に熱望してゐた、ト言ふのは、臺灣人大衆の前で互ひに睨み合つたり揉み合ふのは情に於て忍びないといふ一事で、此點では期せずして各方面の意見が一致してゐたやうだ、臺灣の果てでこんな問題が度々起る事も無からうが特殊地域だけに自戒したいものである。

本日夕刊共　十六頁

株式名義書換停止廣告
自昭和十年七月一日至定時株主總會終了日迄株式名義書換停止ス
昭和十年六月十九日
株式會社臺灣商工銀行

臺灣銀行券發行準備高
自昭和十年六月九日至昭和十年六月十五日
銀行券發行高　[illegible]
內制限外發行　[illegible]
準備　[illegible]
保證　[illegible]
昭和十年六月十八日
臺灣銀行

大阪商船　臺灣出帆
◎基隆出帆（六月）
神戶門司行　蓬萊丸　瑞穗丸　[illegible]
福州上海行　長沙丸　[illegible]
廈門・香港・汕頭行　[illegible]
福州廈門行　[illegible]
大連天津行　大華丸　[illegible]
鹿兒島・長崎・博多・北鮮行　江蘇丸　[illegible]
沖繩行　[illegible]
比律賓行　がんぢす丸　[illegible]
南洋行　かなだ丸　[illegible]
西貢行　すらばや丸　[illegible]
◎高雄出帆
馬公行　26共同丸　[illegible]
廈門、汕頭、香港、廣東行　福建丸　[illegible]
東京直行　[illegible]
其他貨物船多數アリ　臺北電話二八五〇

近海郵船　基隆出帆
門司神戶行
吉野丸　六月十九日午前十時發
大和丸　六月廿四日午前十時發
[illegible]丸　六月廿九日午前十時發
大連仁川行
岐阜丸　七月一日午前十時發

辰馬汽船　出帆
內地行
築紫丸　六月二十[illegible]日基隆發
宮殿丸　六月[illegible]日基隆發

大連汽船　基隆出帆
大連直行　[illegible]
丸一組

無盡會場移轉御披露
當會社三階增築工事中當分の內
「夜間の無盡會場」を
左に移轉致しました
本町一丁目臺灣貯蓄銀行西隣
無盡會場用　電話壹〇九五番
猶ほ晝間の營業は從來通り事務所にて取扱ひます
臺北市本町三丁目
臺灣勸業無盡株式會社
電話　[illegible]

◇齒痛頭痛はガオガンに限る

萬人向のする
廣島銘酒　不二壽　フジコトフキ
飲み心地良い

內地土產好適品
全臺灣物產品揃
[illegible]
臺北市榮町　電話八七壹番
平野商會

夏服高級既製品各種取揃
[illegible]
臺北市榮町三丁目
古川洋服店　電話一七八六番

夏向男女洋裝及服地一式
最新流行型取揃皆樣のお出をお待ち申上げます
臺北市京町一ノ三八・三九・四〇
古川義商店　電話三四四一番

子供帽子と洋服
坊ちやん孃ちやんの可愛い品々が取揃ひました
勉强の專門　Ⓡ　行成商行
臺北市本町一丁目　電話七貳〇番　振替臺北六七番

子供マント、シヤツ、帽子、婦人帽子
ネクタイ、ショール、小間物化粧品
其他和洋雜貨各種品揃ひ
夏物と新柄荷揃
小島屋
臺北市榮町二　電話二四六番　振替臺北七番

今夏の流行品最新和洋雜貨取揃
キツト皆樣のお氣に召す色柄……
臺北市本町
瀧村兄弟商行　電話八六番

藥
治淋內服綜合療法新案
コタキリン
一圓、二圓五十錢、四圓五十錢、六圓
發賣　廣生堂藥舖
臺北市榮町四　[illegible]

銘酒
楓白鹿
[illegible]元　株式會社　辰馬商會

# 突如、旋風起り
# 住家三棟を巻揚ぐ
### 豪雨のために、高雄州下
## 各地に水害續出す

【高雄電話】高雄州下は依然として物凄き豪雨降り續いてゐるが十七日午後九時半頃潮州郡管內に突如旋風起り新東勢派出所管內の林義、[illegible]兩人所有の住家三棟は旋風に巻き上げられ一棟は空中に落下し、二棟は何れへか吹き飛ばされ[illegible]は吹き倒されて重傷を負つた、老埤派出所管內にては住家の倒壞五戶、同半壞七戶、萬巒派出所管內住家の小破二十九戶、非住家小破五戶、亞木倒伏五本の被害ありその他河川增水し數名ひ中激流に押し流されて行方不明となつたもの東港郡管內で新園庄龍吳拜（三）陳水波（一七）何氏（一七）の三名にて同所吳化（一七）陳水能（三）兩名も押し流されたが奇蹟的に琉球籍の漁夫に救助された又旗山郡旗尾[illegible]天賜（三）も行方不明になり高雄市綠町二ノ九吳下春（二）も[illegible]中溺死した、高雄海洋觀測所では十五日以來十八日正午迄の雨量二〇一ミリ、三に達し當分の間降り續くだらうと豫報した、十八日午後一時迄に州保安課に到達した被害第三報は次の通りである

△潮州郡萬巒頭[illegible]堤防（目下工事中）二十二間流失、新子腳[illegible]住家十戶浸水六寸以上・[illegible]柱倒壞六本、道路崩壞四ヶ所十五間、農作物被害四千四百圓

△屏東郡 新園派出所管內道路流失四ヶ所十二間、橋梁流失一ヶ所、里港派出所管內甘蔗流失約三千甲步、加蚋埔派出所管內道路崩壞四ヶ所六十間

△旗山郡 老濃溪增水七尺に達し大津瀧線橋一間流失、損害一萬圓にて旗山旗尾間交通杜絕當方小屋流失五棟、甲仙道路決潰十三ヶ所二百五十坪、埤圳水路流失四ヶ所二百五十五間、埋沒百十一坪、芭蕉倒伏一千七百本、田畑流失二甲步五分

[illegible]に瀕したので郡當局では萬一を慮りかつて嚴重警戒中である

### 日下知事水害狀況視察

【臺中電話】日下臺中州知事は大屯郡下の豪雨により被害狀況視察の爲め十八日午後二時半自動車にて大里庄內新に赴いた尚ほ十九日は霧峰庄を視察の筈

# 交通杜絕のため
# 芭蕉の出荷遲る

【臺中電話】臺中州下各地は豪雨の爲め交通杜絕し芭蕉の輸送不能となり十七日臺中芭蕉檢查所の如きは僅か三千餘籠の出荷あるのみで平常の三分の一を示してゐるが、この爲め州下各檢查所では二十日迄芭蕉檢查を中止する事となつた尚卓蘭線不通の爲め各港より輸出すべく準備を進めてゐる

# 降雨つづきに
# 籾が發芽

【臺中電話】臺中州下に於る豪雨による農作物の被害は目下の所不明であるが南投、彰化、員林、北斗各郡では籾の流失相當あり且つ五分通り發芽してゐるので損害大を豫想されてゐる

## 臺南州下は
## 小降りとなる

【臺南電話】臺南地方十六日以降十八日午前迄の降雨量は平均一八二・六粍で引續く間歇的豪雨も十八日未明より小降りとなり州下各河川も減水を見つつあるので之以上の豪雨なき限り大した被害なき模樣、尚嘉南大圳組合區域內に於ては十五、六、七三日間の降雨量は新化郡三三〇粍を最大とし北港郡一三〇粍を最少、南部各地が多量で北に向ひ少量となつてゐる 烏山頭貯水池は目下の所四十五億立方尺で滿水量五十五億立方尺までにはまだ充分の餘裕がある

## 蔗作と黃麻に
## は影響なし

【臺南電話】臺南地方は去る十一日以來降雨續きの爲め一般農作物の被害程度を氣つかはれてゐるが昨今の所では蔗作と黃麻には影響なく甘蔗作の收穫適期に入つたものは今後の天候次第で被害をまぬかれず既に一期米刈取期で平年ならば昨今は大盛期であるが降雨續きの爲め刈取ても乾燥出來ず又未收穫のものは大部分倒れて籾が發芽する恐れがありこれ以上降雨あらば當然被害をまぬかれぬ豫想である

# 軍旗を奉迎し
# 光榮に輝く宜蘭中隊

### 當日街各戶は國旗を掲揚

【宜蘭電話】宜蘭第六中隊では本隊より遠くはなれ地勢其他の關係から從來の軍旗祭にも軍旗を迎へる事出來ず兵隊の訓練上にも遺憾な點が多いので來る二十四日臺北より軍旗を迎へこの程入營した新入兵三十二名を始め第六中隊全員に對して軍旗を奉拜せしめる事となつた、之れが爲蘭陽東部聯合分會及び管下小公學校、農林學校、街役場では國民精神作興の意味の下に同日第六中隊兵營內で奉拜せしめ度き希望を有し、軍當局と交涉の結果許可されたので十八日午前九時から郡守公室に關係者集合諸般の打合を行つた、同打合で決定した諸行事は大略次の如し即ち軍旗は二十四日午前十一時廿九分着列車で桑名聯隊長、森賀第二大隊長以下將校數名が軍旗護衛兵等に守られ宜蘭驛着驛前には第六中隊將兵二部下在鄉軍人會員、農林學校、郡下小公學校兒童、消防組、街民等に奉迎され直ちに營門に行進營舍前に安置され午後二時からは大宜諸員の奉拜式、軍旗に對する分列式、午後四時半からは公會堂で桑名聯隊長の軍旗に關する講演會あり翌二十五日午前八時四十六分宜蘭發臺北本隊へ移される豫定である、當日宜蘭街內には各戶國旗を掲揚する事勿論であるが關係當局では蘇澳街其他地方でも當日は各戶國旗を掲揚し敬意を表するやう希望してゐる尚宜蘭街に軍旗を迎へる事は昭和八年五月以來の事である

# 街庄聯合の
# 茶、柑橘園品評會
### 二十七、八兩日
### 三芝庄に開催

【臺北州淡水郡では先般より管內の茶業に柑橘の改善を圖る目的を以て豫ねてより淡水郡街庄聯合茶、柑橘品評會を開催すべく着々準備中のところ萬事整つたにつき來る二十六日より三芝庄役場に於て一般出品の受付を開始し、二十七日と二十八日に審査をなし、二十九日同庄にて褒狀授與式を擧行することに決定した、日下茶農らは優勝を目指し出品方に熱心である本品評會は茶、茶園及柑橘園の現地品評の三種にして其の出品點數は茶一五〇點（每點十一斤）茶園五十段（每段二千株以上）柑橘園五〇點（每點六十本以上約一分地）計二五〇點であるが褒狀授與式擧行當日を盛況ならしむべく地元の三芝庄では茶摘み競技會を開催する計畫もあると

# 豪雨による
# 被害が甚大
### "臺中州下各地"

## 猫羅溪の增水

【臺中電話】彰化郡猫羅溪は二三日來增水し十八日午前中には十二尺の增水となり附近一帶は危險の狀もあると

【臺中電話】臺中州下に於ける豪雨は十七日夜來更に降續き州下の各河川は何れも大氾濫し道路の決潰埋沒其の數を知らず橋梁流失により交通杜絕の狀態となつた十八日午後二時迄の被害は左の如し

△東勢郡 軌道埋沒十二ヶ所道路埋沒二ヶ所埤圳埋沒三ヶ所

△能高郡 埔里街軌道流失一ヶ所同橋梁流失一ヶ所道路流失一ヶ所、國姓庄住家全壞一戶道路埋沒一ヶ所埔子頭柑子林間道路埋沒二十六ヶ所軌道埋沒七ヶ所埤圳埋沒三ヶ所

△南投郡 草屯庄新子田[illegible]非住家流失六棟軌道流失四ヶ所道路流失一ヶ所、同埋沒三ヶ所

△竹山郡 橋梁流失三ヶ所同埋沒三ヶ所軌道決潰一ヶ所道路埋沒三ヶ所竹筍倒潰四ヶ所芭蕉倒折百本

△大屯郡 橋梁流失六ヶ所

△員林郡 道路決潰三ヶ所埤圳決潰四ヶ所

### 庄長更迭

【屏東電話】屏東郡長興庄長は任期滿了になつたにつき後任に同庄助役[illegible]氏が任命されたが同氏は二十一日午後六時から屏東市赤木館で官民を招待し披露宴を張ると

### 宣傳協會の評議員會

【臺中電話】中部臺灣宣傳協會の常任評議員會は十九日午前十時半より州廳二階高等官食堂に於て開催するが協議事項は既報の博覽會[illegible]し物の一部變更及び規模縮小に關する件である

## 地方色

**員林** 總工事費十八萬圓を以て新設した臺中州農會員林農業倉庫は既報の通り、去る一月中に於て金四萬圓にて員林郡坡心信用組合に讓渡する事に決定したので臺中州に於ては督府に對し同倉庫の廢止に付認可申請中であつたが去る六月十四日附認可となつたにつき不日中農倉の建物、敷地、機械備品其他一切を坡心信用組合に引渡し坡心信用組合の手に依り經營することになつた

**埔里** 臺中州能高郡埔里街煙草小賣人組合では去る十四日埔里青年會館で定期總會を開催昭和九年度事業報告及び收支決算並に十年度事業計畫等一瀉千里に決定[illegible]陳列、賣上增進等[illegible]購入者の表彰等を[illegible]し引續き親睦會を開き盛會裡に午後二時散會した

**新營** 臺南州新營郡新營街衛生係片山時三氏は悲境の[illegible]に當り香奠返として金一封を新營街方面委員助成會に寄附申出があつた

△臺南州新營郡鹽水街鹽水では第二保正[illegible]米商陳[illegible]（四五）は昨秋[illegible]第一審[illegible]役三ヶ年を不服で控訴中なるため同保正改選の結果此程鹽水保甲事務所に於て保甲民の投票選擧の結果[illegible]氏が最高點で當選した

**斗六** 臺南州斗六街大和會は十五日午後八時斗六公學校講堂に於て齋藤郡守、山田庶務課長、石垣視學、中田、大里、平田三校長臨席の上開會、會員及家族二百餘名出席の上會長の挨拶懇談終つて會員家族の舞踊、唱歌、唱歌劇等の餘興あつて最後に齋藤郡守の講話[illegible]の唱歌を合唱して午後十時極めて盛會裡に散會した

△臺南州斗六郡斗南公學校では十七日午後七時より同校に於て始政四十周年記念祝賀の意味を以て國語普及の夕を催したが學校兒童及國語講習生徒の出演にて最も意義ある催しとして其の成績頗る良かつた

△臺南州斗六街四日刊及雜誌[illegible]者親睦會は[illegible]野氏の世話に依り十六日午後三時小[illegible]に於て開催し各自意見の交換をなし午後五時半一同歡を盡して散會した

△臺南州斗六街商類販賣人[illegible]氏は今回夏季[illegible]用酒[illegible]の生[illegible]荷したので十六日午後八時同商[illegible]所に於て官民多數を招待して試飲會を催したが頗る好評を博した

# 雨にたたられて
# 都市對抗戰は中止
### 適當の時機に又再開

【臺中電話】[illegible]都市對抗野球[illegible]合は豪雨に祟られて十六日第一次戰を終つたのみで中止となり、各選手は旅館にクスブリ無聊を喞つてゐるが、今の所何時霽るとも見當つかず從つて十八日午前九時半より旅館[illegible]に於て會議[illegible]の結果[illegible]入佐野[illegible]部長、[illegible]の委員[illegible]の臺中を引揚げるに至つた

## 納稅功勞者の
## 庄長表彰さる

【屏東電話】屏東郡九塊庄では十一日の始政記念日に當り午前十時から公會堂で官民合同の祝賀會を催したが參會者約二百名に上り盛會であつた、尚同庄は十年度[illegible]完納の好成績を擧げ總督府に知事より表彰を受け庄長[illegible]陳天陸氏、又納稅功勞者として表彰されたので庄民は何れも庄の名譽として喜んでゐる

## 地方制度の講演會

【臺北州基隆郡では[illegible]新地方制度の周知普及徹底の爲め、去る十六日午前八時二十分より金山庄公會堂に於て講演會を開催、安部[illegible]郡守の「自治制度の史的沿革」と日[illegible]の「自治精神」[illegible]庶務課長の「新制度[illegible]實施に就て」の[illegible]

### 大溪郡の
### 產米改善座談會

新竹州大溪郡主催の大溪產米改善座談會は去る十三日午前十時より大溪公會堂に於て[illegible]郡守を始め中田庶務課長、平山勸業課長ら出席の上開會
一、品種別取引の件
二、乾燥調製法の注意
三、等級別取引の件
四、肥料購入の[illegible]
等を協議した後ち[illegible]郡守の訓示あり午後三時閉會した

【臺南電話】[illegible]講演をなし同十一時に盛會裡に閉會した、當日の聽講者は金山、萬里兩庄の各官公署職員、男女青年團員、壯丁團員、家長會役員及び國語を解する者二千餘名もあつた

# 胸間に輝く
# 國語章
### 記念日に授與さる

【嘉義電話】嘉義郡では十八日午前タツバン蕃童教育所に於て星野州理蕃課長、梅澤警察部長代理の下に國語章授與式を擧行、蕃人二十四名に國語章を授與サビキ家長會助成員ミヤウチナ、サビキ、ラウヤの三國語普及會に獎勵金を交附した

雨の臺北（きのふうつす）

# 國語を普及し
# 部落の振興を圖る
### 嘉義共榮支會の活躍

【嘉義電話】嘉義市では來る二十五日から一週間共榮支會主催で市內玉川公學校講堂に國語講習所講師及び部落振興會指導員二十餘名を集め、國語普及部落振興講習會を開催する講師及び講習事項左の如し

一、嘉義市國語普及及び部落振興計畫に就て　河野教育課長
一、產業の狀況と產業指導に就て　川崎市技手
一、國語講習所經營の實際　鈴木白川公學校長
一、部落指導の實際に就て　三島振興會指導員
一、國語教授法並に實習指導　[illegible]訓導
一、男女青年向の唱歌及び遊戲指導　陳行善、中村兩訓導

課外として井上商工專修學校長、中村農林學校教諭、津田嘉義郡庶務課長

# 聯壽丸の乘組員
# 八名とも死亡
### 高雄州から、其旨
### 遺族らに通知

【高雄電話】昨年十一月十八日高雄を出港しルソン方面に出漁した儘行方不明となつた、高雄市旗後町三の一一六黃森再所有發動機漁船聯壽丸（一七噸）が當時海南島近海にて遭難したことは既報した所であるが同船長許清添以下七名の乘組員の生死は不明の儘七ヶ月を經過したが十八日漸く調査方を依頼してあつた同島在住の野間田氏より高雄州へ到達した情報によれば、同船は同島陵水縣新村港附近にて遭難顚覆し機關室內より死體一個を發見したが他の乘組員七名は全部海底の藻屑と消えたこと判明したので高雄州では直にその旨を遺族に傳へた

### 女子青年團の講習會

【臺南電話】安平女子青年團では十八日午後一時から安平公學校に於て講習會を開催したが講師は安平公醫[illegible]公民教育家事裁縫等の科目で來る二十三日まで六日間行ふ筈

# 問題の英船長
# 檢察局送となる
### 妻女が後を追ひ
### 別れを惜しむ

【高雄電話】[illegible]一件書類と共に高雄法院支部檢察局送りとなり船長ヨハンスン（㊂）は同日午前十一時檢察局より差向けられた自動車に乘り同檢察局に出頭し岩切檢察官係にて取調べを受けてゐるこれより先きヨハンスン船長が水上派出所にて自動車を待つてゐる間同人の妻ジョロルヒン（三）も本船より船長の夫の後を追ひすがり夫が「苦ロ入港は法でたたない」とカンくに怒つてゐるのに夫人は夫が此の儘檢察さるるのではなかろうかと大いに憂慮し自動車が夫を乘せて警察官に護られ出發せんとした時は自動車の窓に追ひすがらんと[illegible]共に大丈夫だから安心せよと[illegible]慰められて[illegible]

# ジュノウ號事件で
# 中堂參謀語る

【馬公十八日發電】ジュノウ號事件に關し馬公要港部中堂參謀は左の如く語つた

私としては之を在鄉軍人其の他の策動にありとし云々[illegible]に於ては其の真因は他にあると思惟してゐる[illegible]今回の[illegible]在鄉軍人其の他に[illegible]事が[illegible]になり同慶に堪へない次第である司法權不可侵を高唱してゐる司法當局としてはよし良心に多少の疑念ありとしても平然として裁判を爲し得る事は當然である、而して弁護人側が何が故に在鄉軍人其の他の策動云々を理由としたか在鄉軍人其の他は國體主義を申合せ自他相戒めて事無きを期し、殊に司法當局に於ても之を確認してゐるのに何故之を引合ひに出したか臺南高雄兩州下在鄉軍人會友會員、在鄉軍人の名譽の爲に伺ひたいのである、あれは弁護人の意向で知れぬがそれは形式上の事で寧ろ弁護人は取次いだ丈だと云ふかも知れぬ、道德的に見て誹しも考へ[illegible]にある外國人に斯の如き考へを[illegible]る事は言語道斷であると言はねばならぬ

# 國語普及の
# 徹底を圖る

臺北州文山郡は去る十七日始政四十周年記念日を期して郡下各家庭に於ける國語普及の徹底を計る目的の下に全郡下公學校四學年以上の生徒並に地方有志等計二千八百餘名を國語指導員に囑託し各地公學校を單位に夫々活動を促し是等男女青年の努力と相待つて郡下を擧つて國語を解す成績を擧げんと意氣込んでゐる

## 南投線の無責任
## な運轉手

去る十五日午後二時三十分臺中發南投行き南投線機關車運轉手某は二號車連結の重大任務に在るのを忘れ車輛連結を怠り心地よささうに居眠りを始め乘客一同をびくくさせたので之を見兼ねて南投線務出張所員某が注意した所却つて某は之に喰つて折り返し議論をなすなど其の橫暴な態度と無責任な行爲とは一般の非難の的となり會社當局の一考を望まれて居る

### 敬老會

臺南州新營郡新營街新營街男女青年團主催に係る七十歲以上第三回敬老會は新營街方面委員後援の下に始政記念日を卜し同日午後一時半より郡公會堂に於て開催し記念品の贈呈があつた

## 戶稅生產の權衡
## 調查會

【淡水電話】淡水街の戶稅生產額權衡調查會は來る二十日午前九時より公會堂に於て開催さるると

## 土地の調查
### 花蓮港廳で
### 本格的に

【花蓮港電話】花蓮港廳下に於る土地の分野即ち耕地、原野、不毛地等に就ては從來未だ精確な調査がなかつた爲め各種產業の施設計畫を遂行する上に多大の不便を感じて來たので廳當局では愈々本格的に之が調査に着手する計畫の下に十年度に於て調査費約六千圓を計上し總督府に向つて要求する事になつたがこれと同時に將來廳當局に於て如何なる產業を計畫すべきか等に就ても土地の適否に應じて調査を爲しこれによつて產業開發の大計を樹立せんとする目論みである

## 方委月例會

臺南州新營郡新營街方面委員月例會は十五日午後七時半より十時半迄同會議室に於て長谷街長、楊助役、白尾郵便局長其他各委員出席の下に開催したが付議事項は左記の通り

一、方面委員制度の趣旨普及に關し從來執りたる方法並將來實行せんとする方法如何
二、トラホーム撲滅方の件
三、敬老會に關する件
四、自社建設の件

# 臺東街に
# 自動車協會生る
### 會長は警務課長

【臺東十八日發電】臺東廳下の自動車交通は道路施設の完備と相俟つて最近目覺ましき發達をとげ、廳下の交通上に一大貢獻をなしつつありて現在自動車數は八十臺に及び從業員又九十名を算し今後益々發展の狀勢にあるが今日同業者間の連絡統一並に交通の安全を期し更に今後の大發展に備へるため自動車協會を設立することになり十六日午後七時から臺東郡役所に於てこれが發會式並に創立總會を開催、臺東廳よりは佐々木警務課長以下各關係者の列席を求め、全會員出席して總會議事及び諸規定を審議可決、決議して會長に佐々木警務課長を推戴し會長指名により各役員も夫々決定して臺東自動車協會の成立を見、引續き交通安全座談會を開き意見を交換し九時過ぎに散會した

## 多量の眞珠を
## 證據品に押收

【臺南電話】臺南署では十八日早朝臺南地方法院檢察官指揮の下に折柄の降雨をついて刑事總出動して既報貴金屬の密輸入事件の被害者たる臺南市西門町二丁目、市內入船町一丁目、市內老松町一丁目、內[illegible]町一丁目の四名の眞珠商方へ夫々手分けして一齊に踏込み家宅捜査をなし多數の眞珠を證據品として押收する一方右四名を署に召喚、嚴重取調べを行つてゐるが之等の眞珠は香港方面のものを支那人の手により其筋の眼をさける爲め[illegible]を經て密輸入された疑ひ濃厚で又[illegible]取扱ひ犯人もそれが密輸入品なる事を感知し其儘密輸につけ込んで配達の途中犯行をなしたものらしい

## 鐵橋上で逃遲れ
## 頭部に裂傷

【花蓮港電話】十六日午後三時三十二分公埔驛を南方に距る八百米ピノ溪鐵橋にて公埔四四八畑作[illegible]金石來（三）が友人と二人で鐵橋を渡つてゐる中公埔驛發の午後三時三十一分の下り列車が進行して來つたが一名は咄嗟に飛下りて何の怪我もなかつたが金石來は逃げ遲れて頭部に裂傷腦震盪を起し鳳田公醫方に收容されたが午後六時遂に死亡した

## 清正公の祭典

【嘉義電話】嘉義市日蓮宗布教所では來る六月二十三、四の兩日加藤清正公の三百二十五年祭に當り熊本縣人會後援により盛大な祭典を執行する由二十三日夜八時からは淨瑠璃の餘興も行ふ筈

## 試飲會を開く

【高雄電話】專賣局高雄出張所では來る二十二日午前十時より公會堂に於て新製の瑞光二號入紅茶及び烏龍ビール並に煙草二、三種の試喫試飲會を開催すると

## 花蓮港大隊の强
## 行軍

【花蓮港電話】第三大隊第十一中隊では十八日工藤大尉指揮の下に銅門、磯崎間の强行軍をなした

## 管理局長視察

【花蓮港電話】拓務省[illegible]管理局長一行は十八日臺東よりタロコに入り仙[illegible]橋に引返し六時半花蓮港着十九日午前中は[illegible]野村視察午後零時半發のガソリンカーにて歸東に向ふ豫定

### 會事

△親睦會 臺北州淡水郡語學會月例會は十八日午後六時より淡水公會堂に於て開催した

△披露宴 新任臺灣合同電氣株式會社社長[illegible]氏は十八日來高し同日午後六時半より官民數十名を梅屋敷支店に招待して就任披露宴を催した（高雄電話）

### 人事

△田端幸三郎氏（專賣局長） 豊田村煙草指導所落成式臨席の爲め十八日夕刻來花（花蓮港電話）

嘉なかだち
求職一件一回　壹圓貳拾錢
其他　一回　壹圓七拾錢
匿名　倍額

店員 入用十六、七歲ヨリ二十三歲迄本人來談（履歷書持參）第二高女前 高田吳服店

女店員 入用內地人廿七八歲より卅六七歲まで 臺北市西門市場[illegible]ツルヤ洋物店

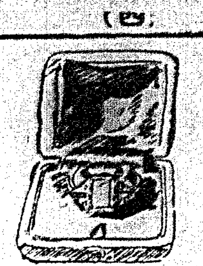
貸家 大和町四ノ二 臺北六九三二 柴田 電壹六八參番

電話 三三六五番 賣物 太平町壹ノ參〇〇六番 太平[illegible]商店

電話賣買に 三成社 電話金融[illegible]

自動車 [illegible]フォード車 臺北[illegible]

日清生命
臺灣支社
臺北市表町二丁目
本社 東京 丸之內



# 天使 (110)

横光利一 作
宮田重雄 畫

## 十の二

幹雄が父の家へ歸つたその夜、京子も兵衞に呼びつけられたと見えて、横濱の家へ戻つて來た。二人は娶の離れでばつたり顏を合すと、どちらも知らなかつたことゝて、思はず顏を見合せて笑つた。

「何んだ。君も來たのか。」

と幹雄は云つた。

「だつて、お父さん、どうしても一度出て來いつて仰言るんですもの。御迷惑ね。」

と、京子も、うす笑ひをもらして、幹雄の傍へ坐つた。

「この間は、あれから東京へ行つてしまつたんだが、困つたね。これや。」

横濱へ歸つて來ても、自分一人であらうと思つてゐたのに、それが京子も一緒だとなると、幹雄もうか〳〵してゐられないと思つた。

そこへ、父が出て來て、床の前へ自分が坐ると、幹雄に向つて云つた。

「今日からはお前は京子さんと、ここで暮しなさい。それから、京子さんも、もう一度よくお考へになつて、こ奴のお世話を頼みます。若いときには、ほんの何んでもないことでも、夫婦の間では大きく響きやすいけれども、そこはどちらも我慢をしないと、いけない。年をとれば、夫婦別れをしたことは、後悔の種にもなるもんだから、少々の氣に入らぬことは、我慢をすれば、後で必ず、良いことをしたと思ふときが來るものだ。良ろしいかね。つまらぬことをくよ〳〵根に持つてゐては、人間萬事うまくゆかぬ。良ろしいか。それでわたしの頼みといふのは、どちらも相手のすることは、大目に見て神經質にはならぬやうにしてもらひたいと思つてね。それで今夜は二人を呼んだんだけれども、もうどちらも、不愉快なことは水に流しなさい。京子さんのお家と、わたしの家とは、切つても切れぬ間柄で、二人が別れるといふことは、どちらの先祖に對しても相すまぬ。それですから、良く親へ合つて、今夜一晩ここでゆつくり話し合ふやうにしてもらひたい。分りましたか。」

「はい。」

と京子は、神妙に疊に手をついて云つた。しかし、幹雄は默つて頭も下げなかつた。

「幹雄、お前は不服か。」

と兵衞は息子を見た。幹雄は京子との別離の理由や、現在の自分の氣持を話さうかと思つた。しかし、そんなことを話したとて、父に分る筈がないと思ふと云つた。

「僕は京子ともう一度一緒に住むのに、お父さんの仰言られるまでもなく、良いことだと思つてゐるんです。けれども、そこには、一寸云ひ難いことがありますので、二人でもう一度、よく話させて下さい。今夜はとにかく、京子とゆつくりと相談をしますから、もうあちらへ、行つてらしてくれませんか。」

「お前は、まだ云ふことを聞かぬのか。」と父は言葉鋭く云つた。

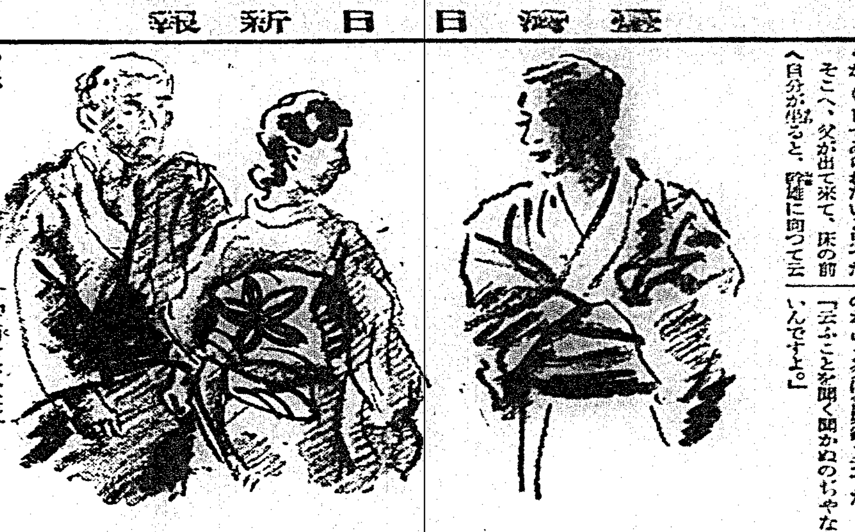
「云ふことを聞く聞かぬのぢやないんですよ。」

「文句を云ふな。」

京子は、幹雄と兵衞の間に立つて、はら〳〵してゐたが、

「いろ〳〵御心配おかけしまして申し譯ございませんが、これには仔細がございますので、どうぞ、今夜はこのまま、あたくしたちにお任せ下さいませんでせうか。よく二人で相談をいたしますから。」

と幹雄と同じことを兵衞に云つた。



---

## ラヂオ

### 午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操 今日のお天氣のお知らせ…臺北測候所發表
【七・二〇】全國氣象通報(東京)
【八・〇〇】家庭メモ(東京)
【九・二〇】家庭大學講座 臺北) 臺灣の果物 第二話(士林園藝試驗支所長)櫻井芳次郎
【一〇・一〇】家庭料理獻立(臺北 [illegible]女學校教員[illegible]子案)△卵の花煎り△胡瓜の清汁
【一一・〇〇】日用品小賣相場(各局) 午後の放送番組の紹介(各局)

### 午後の部

【一一・五五】正午の時報、氣象通報…臺北測候所發表
【〇・二〇】放送局編輯ニュース
【〇・三〇】晝間娛樂時間(レコード演奏) 歌謠曲 一、無情の夢(佐伯孝夫作詞 佐々木俊一作曲)兒玉好雄その他
【二・四〇】氣象通報(東京)
【五・〇〇】子供の時間 東京) 童謠と唱歌 一、横濱市西戶部尋常小學校兒童 イ、齊唱 千草城 ロ、獨唱「朝の歌」ハ、齊唱「飛行機」二、横濱市日本尋常小學校兒童 イ、齊唱「吹雪」ロ、獨唱「JOAK」(橋本加子)ハ、齊唱「山に登りて」
【五・三〇】コドモの新聞 東京 關屋五十二
【五・二五】英語講座初等科 第三十講)上村一仁
【五・五五】カレント・トピックス(東京)

### 夜間の部

【六・〇〇】子供の時間(臺灣)臺南技藝女學校生徒 一、ピアノ獨奏「ハンガリー舞曲第三番」ブラームス作曲…李氏紅香、王氏菜斤 二、童謠(イ)たんぽぽ(佐藤義美作詞、河村直則作曲)ロ、キャラメル 本居長世作詞作曲) 阮氏瑟娥外七名その他
【六・三〇】記念講演(臺北) 臺灣始政四十年を回顧して…臺灣總督府殖產局長中瀨拙夫

**交通文化の夕**

【七・〇〇】ラヂオ・バラエティ(東京) 陸の卷…解說—古川綠波、三遊亭[illegible]、三條[illegible]太郎
【七・三〇】合唱(東京)水の卷 一、ヴオルガの船唄(ロシア民謠、門馬直衞譯詞)外三曲、合唱—東洋音樂學校合唱團、絃樂—東洋音樂學校合奏團、指揮—杉山長谷夫
【八・〇〇】ラヂオ風景(東京)空の卷 伊馬鵜平作)御橋公、伊藤智子、井口靜波、山野一郎、堀越門子、小杉義男、丸山定夫、生方賢一郎 英百合子
【八・三〇】時報(東京)
【八・三二】長唄(臺北)[illegible](稲松安作詞 杵屋勝太郎作曲)唄—竹翁、千代子、小政、竹奴、三味線—杵屋勝伊勢、一雄、小大、市—幸勇、小鼓—富春、政鶴、大鼓—望月仙鼓
【八・五五】琵琶樂(臺北)[illegible]及合奏…臺北[illegible]外一名、臺北[illegible] 一、[illegible]「回想」二、[illegible]

---

# 臺灣の震災に使して
## ─澎湃として漲る感激─

拓務政務次官 櫻井兵五郎

櫻井拓務政務次官は過月の臺灣大震災に際し、拓務大臣の代理として災害現地に赴き、親しく罹災民を慰問し且つ震災の實狀を視て歸京したが、左に記すのは同氏の震災に關する感想である

### 慘禍の實狀

臺灣の震災の記錄は、御承知の如く餘り古い事は判明致して居りませぬが、其記錄の始めである三百年前の明曆元年一月以來、今回を除きまして十九回の大震災に見舞はれて居ります。然るに今回の大震災は、從來最も大きいものとされて居りました明治三十九年三月十七日の臺南州の嘉義市を中心とする大震災に比べますれば、正に七倍の大慘禍であるのであります。拓務大臣は二十二日、陛下に伏して慘害の狀況を奏上致しましたが畏くも 聖上陛下に於かせられましては、痛く宸襟を惱まし給ひ、種々有り難き御下問を賜はりましたるのみならず、直ちに侍從を御差遣遊ばされ、且つ多額の御內帑金を御下賜あらせられましたことは誠に恐懼感激に堪へざる次第で御座います。

私は四日間に亘りまして、罹災各地を視察致しましたが、驚きましたことは震災家屋の壞れ方の慘澹たる有樣でありました。臺中州の內埔庄と云ふ村落の如きは、戶數二千七百九十四戶でありますが、その中二千五百六十八戶、正に九割二分に當りますが、その九割二分の家屋が、恰も物の上から押し潰された如くに、悉く崩れとなり、倒れたその家屋が、街路を塞ぎ、一村落舉げて人間は愚か、猫一匹もはひ出す隙間もない有樣でありました。臺灣の本島人の所謂、土角造りと云ふ建物、土を固めた丈けの煉瓦で積み上げた弱い家屋が今回の死傷者を非常に多からしめたと云ふことは勿論でありますけれども、併し震災地帶、即ち內埔庄の如きでは、單に土で上げた土角造りの家屋ばかりでなく、現に鐵筋コンクリートの小學校までも、全壞したと云ふことを示して居りました。又[illegible]のごときも、[illegible]な近代的の[illegible]建物が、相當ありますが、其建物も全部取壞して之を建て替へなければ用をなさぬと云ふ有樣であります。

災害各地の病院や、急に設けました假病院、その他村々の救護所は負傷者で一杯になつて居りました。其苦しみの呻吟の有樣は、目も當てられず、誠に悲慘の極みでありました。私は之等の負傷者に對しまして、拓務大臣よりの慰問の言葉を述べまして、容態を聞きますと、將に死に瀕した重傷者までが、起き上らんとして苦しい中からそれぞれ御禮の言葉を申しますので思はず胸を打たれました次第であります。

### 本島人の感激

臨時救急措置と致しましては、死體の取片づけ、負傷者に對する手當並に家屋、飯米、飲料水其他の資材についての困窮者に對する救護の措置については、逸早く、全國民から寄せられた多大の同情と、總督府及び現地の當局、青年團、壯丁團等の諸團體の全く不眠不休の努力と、それに陸海軍並に日本赤十字社の手厚き御盡力によつて、比較的早く行き屆いて居りました。從つて、人心の安定も早く、漸く雨露を凌ぐ程度の差掛け小屋ではありますが、兎も角、バラック樣のものが出來、現に災害より九日目の天長節の如き、此バラック樣のものの軒先に、日章旗の翻へるのを見ました。

皇室に感激致して居りますことは申すも畏れ多い事でありますが、非常時に國家に對しまする強き信賴の念、それに同胞の親切に對する感激が、今回の震災を通しまして、內地人は素より本島人も勿論のこと、[illegible]本島人の全五百萬人の間に[illegible]として其の[illegible]に[illegible]

---

づつう

胃腸を強くする 神經衰弱 頭痛 疲勞回復藥

はれやか

獨逸原名ハイテル

待望の錠劑新發賣

藥價低廉 三十錢 五十錢 一圓 二圓 粉末 錠劑

# 『能』藝術の世界的進出!!

ショウ翁(英) アインシュタイン(獨) クローデル(佛)

**世界的知識人を驚倒した日本固有の藝術を確保せよ!**

世界一の皮肉屋で通る英のショウが日本へ來た時たつた一つ感心したのは「能」だつた。又、相對性原理で有名なアインシュタイン博士を驚嘆せしめたものも同じく「能」だつた。數年前日本に駐在の佛大使、詩人ポール・クローデルが、何等の豫備知識なくしてもよく分るとその「象徵的手法の完成味」に舌を卷いたのも「能」だつた。斯く揃ひも揃つて世界的大頭腦を強打したといふ事は「謠能藝術」の眞價を實證すると同時に我國民の絕大の誇であらねばならぬ。人が知らない中に、外國人に認められて、國際的になつたものと言へば殘に浮世繪があるが、今また「能」もそれと同じ道を辿つてゐるのである。今にして此自國の寶物に關心の目を向けなければ「燈臺下暗し」なぞと言つて濟ましてはゐられない。「寶の山に入りながら手を空しうして歸る」の愚を身に浴びよう。今直ぐ我が謠曲全集標準版に就て謠能の眞面目に接しられよ。

國家的快心事 神國日本の誇

**各大學生間に謠能研究會續々生る**

近頃純[illegible]もしくも新しい若に、而も洋々たる青年學生間の謠能熱である。[illegible]もいゝが、藝術的には遙かに劣るし、上品さ、社會的効用の點からも遙かに及ばない。我國二千年の歷史、民族精神のエッセンスを盛つた日本一の[illegible]、[illegible]にかけ、絹漉しにされたその[illegible]のいぶし金のやうなえがさは、他の如何なる樂曲も[illegible]「高雅なる興趣」を獨有してゐるのだ。

# 謠曲全集

中央公論社版

謠・能研究界の第一人者 野上豐一郎著

謠能の流行は今や一日本國內に止まらず、人種國情を越えて地球的ならんとしてゐる。能が本全集の著者野上氏の監督に依つてトーキイ化され海外へ輸出されんとするは既に國家的快心事として特報された。此鬱勃たる機運に際會したる、わが「謠曲全集」は謠能界の大先達を初め國文學界の熱烈なる支持を受け、燎原の火の如き勢を馳つて竟に一擧我が國寶樂劇藝術の核心に迫り醍醐味に味到せんとする知識大衆の一大動員を行ひつゝある。來り、參ぜよ!!

全六卷 豫約募集 申込規定

●配布方法 豫約申込者のみに限つ
●配本期間 昭和十年五月より毎月一冊宛發刊し、同年十月を以つて全六卷完結
●會費及送料 每月拂一圓。(送本料〇・一四)一時拂十圓(送本料〇・八四)
●申込方法 申込ノ切期日までに第一回分の會費一圓に豫約申込金五十錢(是は最終會費に納入)を添へて本社乃至最寄の書店にお申込下さい。
●締切 昭和十年六月廿五日

東京驛前丸ビル 振替東京三四 中央公論社發行

(內容見本呈・賣捌各書店にあり)

月經催進劑

アゴメンシン

月經過少・月經不順・月經困難

子宮發育不全・乳汁分泌障害等に內服的(錠劑)及注射として汎く專門醫家に應用さる副作用なし

日本總代理店 發賣元 株式會社 武田長兵衛商店 特約店 東京 小西新兵衛・鹽野・三共

強力 男性ホルモン(錠劑及注射液)

アンドロスチン

▲精力・體力・活動力の增強と早老防止▼

[illegible]

# 植物ホルモンの秘密を語る

## 植物ホルモンの活用劑 ネオネオギー

全國各藥店にあり
三百六十箇入大瓶金一円五拾錢！但し割引は絶對に禁止品なり

# これだけは見落されぬ！

## 病體、衰體、虛弱體の基本的恢復作用の公開

―一年間に七千名の感謝狀―

これだけ正確な反應を報告される品は世にめづらしい。何人も來訪あれば感謝狀を御覽に入る

NNIP―82B

## 三大作用の解剖

# 體重增加
# 血液增加
# 體力旺溢

### 廣告をはなれて

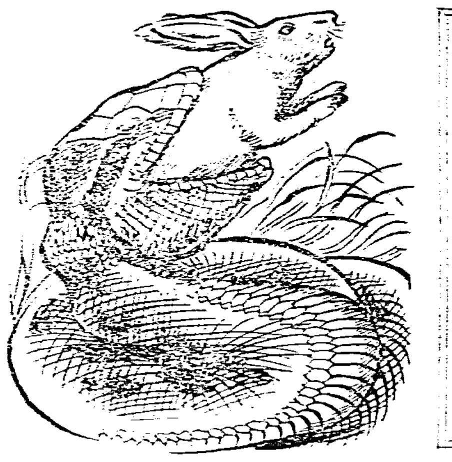
## 一考すべき大事

かうした形式で發表すると、いはゆる廣告としてかるく見られやすいのでありますが。しかし、本文の內容は、きわめて眞面目な記事であります。

どんなにめづらしい發見もつたへる方法がなくては世人の救濟になりません。やむなく、かうして廣告の形式で發表するが、實に眞劍眞摯の報告であります。

**筆者　藥學士　宇知山唯一氏**

本文の筆者、宇知山先生は、帝大卒業後外遊十數年ドクトルオブサイエンスの肩書をもつ篤學者でありまして、廣告や宣傳の目的でなく、治病報國のために本文を執筆になりました。『揭載係紹介』



兎がスグとげた話

## むかしの奇話も、まんざらウソとは言へない

むかしの奇話の一ッに、こんなのがある。――或る旅人が、山中で、大蛇が兎を丸呑みにしてゐるところを目撃した。蛇の喉よりもふとつた兎をのんでは胴衝「はらぼつてあるくこと」ができないだらうと思つてゐると、大蛇は、側のある草をペロペロとなめた。すると、お腹の膨脹が、見る見る凹んでしまひ、兎は、蛇の喉へ溶けこんでしまつたらしく、大蛇は、ふたたびノソリノソリとはつて行つた。

**「フト考へ」**た旅人は蛇の舐めた草の[illegible]を抽いて歸つて、食もたれの[illegible]をつくつた云々……この奇話から、後年に至つて、『藥物を舐めた蛇』などといふ落語もできた。

こんな物語りは、面白可笑しき舊時代のつくりばなしとしか思へないであらう。もちろん作り話であるだらう。

だが、獸肉を見る見るとろかす作用をもつ植物汁は正しく存在する。――それは、彼の熱帶の名產として知られたパパイアである。

**「パパイア」**の實の汁を牛肉でも魚肉にでも振りかけると、固い肉は何分もたたぬうちに次第にやわらかくなる。ウソも誇張もない。諸君でもスグやつてみるがよい。

人間は、科學萬能とさけんでゐるが、また、あらゆる地上の植物を試驗したわけではないので、それこそ、むかしの奇話にあるやうに、名もない草で、獸肉を、たちまちとろかす草の汁もないとは言へない。學術的に言へば、蛋白分解の酵素をもつ植物液汁である。

## 植物ホルモンの時代が來た！

―ちかごろ

ホルモンといふ言葉は[illegible]

「あの女は、まだホルモンが多いから彼女が逝せないだらう」などと、もつぱら、ホルモンは、性ホルモンの意味にばかり素人の間ではヘンに使用されてゐる。

これは大なる間違ひで、ホルモンといふのは、人間でも、ほかの動物でも、その成長も、生活の根原も、ことごとく、それぞれの內分泌に因るのであつて、その內分泌の作用がホルモンである。もちろん生殖機能もホルモンであるが、これだけが、どうして、さう世人の注目を惹いたのであらう。

**「齢が若く」**て、肌膚が張り切つてゐて、病氣一つしたことのない身體、こんな人は、大食をしても[illegible]不足をやつても、または、色々な不攝生をやつても、ちつとも[illegible]ない。それは一口に言へば、身體が強いからだと片附けてしまふが、內面的に解剖すると、あらゆる內分泌が旺盛なためである。すなはちホルモンがいつぱい充實してゐるからである。

**「ホルモン」**の充實してゐる身體には藥品も滋養劑も用はないが、先天的か後天的か原因はドウであつても、現に、病弱、老衰、ブラブラや、ひ、慢性の胃腸病、貧血症、肌肉のやせる結核性疾患――こんな人々は、ホルモンを補給して人爲的にでも、身體を張り切らせなくてはいけない。人爲的でも何でも、ホルモンさへ體內に充つれば急に見違へるほど肉體も精神も強くなるので、前記の效果が見る見る現はれる。

**「植物ホルモン」**と、動物のホルモンといふ[illegible]

同じ記事――殊に後者は、米國アレン教授の大發見として、右の[illegible]ホルモンで、不姙患者を救ふことができると發表されてゐる。

**「世人はそ」**うした記事には注目をするが、なぜ、彼の日本微生物研究所が發表してゐる植物ホルモン活用劑「ネオネオギー」を等閑視にしてゐるであらうか、これこそ人體の賦活ホルモンとも稱すべき性能を有し、おとろへたる細胞を足の先から頭の上までにわたつて能動的に活躍さとるホルモンだから、これをのむと、全身の、あらゆる機能が見る見る活躍を告げて來る、部分的な局限されたホルモン劑よりも、すべての病弱體に應用される嘆重すべき藥物である。

**「ネオネオギー」**は、現大學教授が委囑され、理、醫、工、藥の各博士が、智恵を絞り、工夫をあつめて完成された品で、錠型、粉[illegible]のみよく出來てゐる。

表文の問題となした三大作用の[illegible]は、あらためて說くまでもあるまい。ホルモンさへ充實すれば各機能の活躍は當然である。

植物ホルモンは、わづかで作用する。然し藥を普通の胃腸藥と同様らしむべく、活きた酵母等を添加劑に用ゐてゐる。だから、單なる酵母劑「ヘーフエ劑イースト劑といふ」と考へて買つても、これほど有益な品はない。消化を促進して腹が空くのはてきめんである。今一ツの利益は、各[illegible]に[illegible]の試驗劑が添附してある。

### 購入の注意

**定價**　三百六十個入一月量金一圓五十錢、德用[illegible]の二種。[illegible]他に小兒用としてコドモネオギーあり。全國藥店にて販賣す。[illegible]ホルモン劑はネオネオギー1つのみ故、藥店にて代品を薦められても拒絕あれ（代表は絕對なし）

**直接**　[illegible]はハガキで申込次第[illegible]代金引換便で完全品を急送す。御製元、東京小石川關口大曲[illegible]日本微生物研究所。

讀書
Exlibris Ema Schimpf

# 書物放浪（廿九）
## 百鬼園日記帖
西川満

あるとき中先生曰く「恐らく君は日本一の百鬼園蒐集者であらう」と。わたしはこれを聞いて、その言の當否はしばらく措き、かく賜られたのを非常に光榮に思ひその晩眠られなかつた事がある。繁忙な生活をしてゐる身にとつては、常住不斷に百鬼園先生の文章を味はつてゐる事は出來ぬが、それでも机邊に「冥途」「旅順入城式」「百鬼園隨筆」「王様の背中」「續百鬼園隨筆」「百鬼園俳句帖」「無絃琴」「鶴」を離したことが無い。こんなことを云つたら先生から叱られるかもしれぬが、未だ先生が今日程有名でない時分から、わたしは百鬼園先生と同時代に生れ、親しくその著書を讀み得るのをよろこびとしてゐた。

いつだつたか「續百鬼園隨筆」の感想を書いたら、乙君がわざわざ手紙を寄越して（あんなクセのある東洋的な、古風なものが好きとは、佛文學研究者にも似合はない、僕はむしろ隨筆では、何野誰兵衛の方をとるね）と云つてきた。西歐文學をやるものは、必ず東洋趣味を棄てよと云ふ法律があるのでもあるまいし、大體この勸告はロジツクが合はない。それに百鬼園先生だつて獨文を專攻された筈である。だからわたしは默つてゐた。二ケ月ばかりたつて、ひよつこり乙君と公園の喫茶店の前で會つた。乙君はニヤニヤして近寄つてくると「君、この前僕はああ云つたけどやつぱり百間さんのものはいいね。」と云つた。

わたしは（やつとわかつたか）と云ふやうなエラさうな顏をして鷹揚にうなづき、さてそれから、すまして別れをつげた。歸途（人間には教へるものではない。さとらせるものだ）と云ふ私の信條が裏書されたので、嬉しくつてたまらず、是非買はなくてもよい本まで買つて家に歸つた。何か嬉しいことがあると本を買ふのはわたしの惡癖である。

人間と云ふものは、とかく天邪鬼なもので、いいことをいいと推賞すると、何云つてやんだいとすぐ反感を持つ。その時それがいいものであるとムキになつて主張すると生憎その人は反感のためにそれが嫌ひになつてしまふ。世渡りのうまい人間はこりやいけないと思ふとすぐおべんちやらを云ふから、無事でをさまるが、わたしのやうな[illegible]はとかく衝突して失敗する。一年ばかり前から感ずるところあつて、かかる場合は無言の行をとることにした。一見[illegible]のやうでさにあらず、これ[illegible]手を數ふ善隣道である。だからわたしは[illegible]が好きである。

ところで、またあるとき內先生に「冥途」をお貸し申したところ（實に傑作ですな）と云ふ讀後感と同時に（貴方が百鬼園先生を好きな理由がこれでわかりました）との言葉を賜はつた。

これにはわたしも（ハハア）と參つて、笑ひでごまかしたが。何だかくすぐつたいやうな氣がしたのである。

●

ところが最近詩集「媽祖祭」を開板したので、その一本をおそるおそる百鬼園先生に呈したところ、思ひがけなくも折返し御状と共に「百鬼園日記帖」の恩典を賜はつた。（これより先僕は「百鬼園日記帖」は求めてゐたのであるが、署名本を直接先生からいただいたので、欣天喜地感激を以て一氣に通讀した。そして泣いた。本を讀んで泣くなどとは、最近珍らしいことである。何故泣いたか。この日記帖に現はれた先生があまりにいたましく、またそれだけ一段とわが身に近くなつたからである。そして自分自身、わたしが百鬼園先生のものを好む理由がハツキリとわかつたのである。

嘗つて室生犀星氏曰く「內田百間の面白味といふのは悉く小説的な表はし方でゐるために、興趣があり、哀愁があるのである」と。これには私も同感である。この日記の中には、小説の書けぬ惱みが書いてあるが、日記全體が人に迫つてくる一種の小説を形作つてゐるのは皮肉である。つまり萬事を小説的に書く——と云ふより、もうそれが天性になつて、かへつて先生は所謂小説を書くのに窮屈されるのではあるまいか。

●

わたしは今までわたしが考へ、わたしが思ひこんできたのと同じことが、この日記の方々に書いてあるので あんまり氣味がよくない。それに今後わたしが思つてゐるまま云つても、わたしが百鬼園黨の一人であることを守つてゐる萬人は、（なんだ眞似をしてゐる）と云ふであらうと、ちつとばかりさみしいのである。然しながら、だからこそ一層心が惹かれるのであると云つたら人々は笑ふであらうか。

子供に神秘的な恐怖を教へたら、その爲に子供が臆病になつても構はない。臆病と云ふ事は不徳ではない。のみならず場合によれば野人の蠻勇よりも遙かに尊い美徳である。暗い森を見てその中にゐる怪物を退治しようと思ふ子供よりも、この暗い森の中にどんな恐いものが住んでゐるだらうと懸ずる子供の方が偉い人間になる。狐の話、狸の話、四つ辻のお化、雷様の大鼓は凡て子供の心を深くし廣くする大事な養ひである。子供に科學は彼等をアルトクルークな文明人に又は野蠻な紳士にする點に於いてどちらから云つても最も禁物である。

わたしは子供の時、母親の膝を[illegible]ちながら、狸の話や化猫の話をせがんで何遍も／＼聞いたが、想像力の上にこれがどれだけ好い影響を與へたか測りしれない。今日曲りなりにもわたしが詩を書いてゆけるのは、この化猫のお蔭である。先生の「王様の背中」の中にも、おばあさんの影法師が猫になる所があるが、わたくしはその中機を得て、あの挿繪を描いた谷中安規畫伯に化猫の繪を彫つて戴き、それを示してわが子孫を教育してゆきたいとさへ思つてゐる。

それから

法華の大鼓程ではないが、東京のお祭りも大きらひだ。殊に子供が神輿をかつぎ廻るのは非常に癪がたつ。小さな神輿をかつぎ出して、眞直に行けばいいものを無理に、わざと、あちらこちらを押し廻りながら行く。黄色な鉢卷が一番氣にくはぬ。中にも顏に白粉をつけてる奴がある。さうして、後から黄色なこましやくれた團扇で煽ぎながら行く子供を見ると、ぎゆうと一度に押し潰してしまひ度い。

痛快なこの言葉は全く[illegible]る思ひである。わが云はんとして云ひ得ざりしところを云つて戴つたかたちでまことにありがたい。法華と云へば、元來私は法華經は大好きなのだが、この法華經を讀す團扇太鼓が憎らしくて、十月十二日お會式の夜池上本門寺で「一天てれつく天狗の面」「一貫三百どうでもいい」の連中を、聲の涸れるまで攻撃して「口に題目を唱へて地獄に行く業なり」と罵り、壯漢五名になぐられさうになつたのを辛うじて逃げたことさへある。こんな風に書いていつたら、きりがない。

[illegible]

[illegible]の茶を飲んでゐる夜寒哉
[illegible]茶をのみをる夜寒哉
[illegible]茶をのみをる夜寒哉

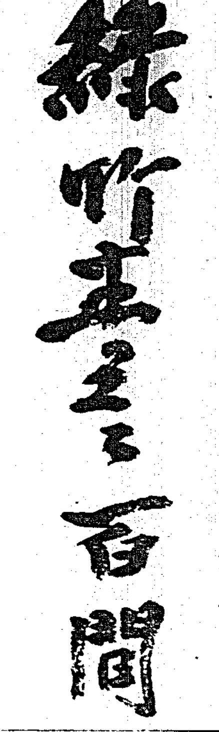
これが書いて居られた時の百鬼園先生を眼前に髣髴としながらわたしは泣いたのである。先生は（拾七歳ニテ避ケラレン事ハ特ニ著者ノ[illegible]スルトコロナリ）と誌された。も早やわたしは拔書をやめよう。ただ[illegible]のことを紹介するために次の一節を引く許しを得ればよい。

それからもう一度下へ降りた。町子に抱かれてゐた出助が私に來たさうにするから抱いてやつた。祖母様が出助はこれが好きだと云つて、去年か一昨年か國際司の[illegible]の油本のくれたキルクの[illegible]を持たした。私は[illegible]見た。海はいつでも初秋の明るい光にきらきら光つてゐた。あの岬を東へ廻つた牛窓に町子が來ると思つた。それからもう十四年過ぎてゐる。

歳月のすぎるのは何とやら。この中に出てゐる可愛らしい出助さんが今は長じて父君の日記帖の[illegible]をしたのである。從來の[illegible] 内田出助と記しあるを見て、わたしは云ふに云はれぬ感慨で胸がいつぱいになつた。

●

眼をとぢると、わが腦裡を去來するものがある。それは狐花だ。（狐花は百間川の土手にあちらこちら、五六本づつかたまつて生えてゐた）と。（四六判上製二七四頁、定價一圓七十錢、東京市神田區神保町三の二八、三笠書房）


内田百間氏の筆蹟

---

田邊茂一氏編

## 純文學のために

紀伊國屋書店版

「我國文學の本道に、純文學をおいて他にあることは信じられぬ。純文學を成長せしめ得らしめることがなかつたならば、われわれは何の文學を持たないあはれた國民になるのである」と主張し、決然「純文學のために」田邊氏が編纂した快著である。改むるところ萩原[illegible]氏の「人間學的文藝論」川端康成氏の「藝について」をはじめとし、純文學に關するあらゆる問題を、豐島與志雄、尾崎士郎、舟橋聖一、中河與一、[illegible]、青山行夫、小松清、岡田三郎、坂田直子、窪川稻子、島木健作、三木清の諸氏が熱情を以て執筆してゐるから一讀深い感銘を受けずには居られない。いやしくも純文學に關心を持つと持たざるとを問はず、現代人の必讀すべき好著として推薦する所以である（四六判上製二一八頁、定價五十錢、東京市淀橋區角筈一ノ八二六　紀伊國屋出版部）

---

## 劃期的な出版
# 日本文學全集
### 五博士の協力になる

劃期的刊行物として各方面から期待されてゐた、東京堂の「日本文學全史」全十二卷が愈々豫約出版のもとに發表された。本全史の第一の特色といふべきは從來の講座的な專門的な斤々たる研究の斷篇を收錄したのに反して一時代を代表すべき一人の碩學者が擔當執筆した統一組織的なものであることだ。即ち上代文學は佐々木博士、平安朝文學は五十嵐博士、鎌倉室町文學は吉澤博士、江戸文學は高野博士、明治文學は本間教授が自ら筆を執つて責任ある態度を示してゐる。從つて今迄のバラ／＼[illegible]た知識は上代文學から明治文學まで一貫整理される。第二の特色は執筆態度があくまで懇切を極め多くの作品を一々要説して具體的に日本文學を鑑賞せしめながら新學説を發表されてゐる。その點は眞に大學講座の解放ともいふべきであらう。第三の特色は圖版挿畫の豐富なることである。專門家と雖も一々原本を所持してゐる人は少い。挿畫 作者の肖像、筆蹟などは、其作品を生んだ時代の空氣色彩を最もよく表してゐるもので文學史を理解する上には最も必要であり、興味も深い。顧問は吉澤義則博士、[illegible]は今度帝國美術院の會員となつた小林古徑畫伯の裝幀、[illegible]を集めたものである。歐米の一流國ではイギリスの「ケムブリツヂ大英文學史」を始め、いづれも[illegible]文學史を持つて自國の文化を誇つてゐる「日本文學全史」は正にこれに匹敵せんとするものである（全十二卷月一回配本一冊拂會費金二圓五十錢、一時拂二十八圓）

---

## 雜誌紹介

▲みづゑ（六月號）この雜誌の美しさは實に見事なものである。見て樂しむと云ふ點では美術雜誌の中でも先づ白眉と云つてよからう。本號には少女（安井曾太郎）花（川島理一郎）の四色版、室內（マチス）花（梅原龍三郎）の原色版、素描（コロー）風景（セザンヌ）薔薇（ルノアール）瓶子（アッスラン）石版 林重義）素描 岡田謙三 等のグラビヤ版をはじめとし、春陽會、國展、アニマ展、トアル展、[illegible]會、モンベル會、その他各個展の主なる作品を別刷寫眞で收めてゐるが其印刷は精巧をきはめ實に感じがよい。中でも多色グラビア版による梅原氏の櫻島は、原畫を彷彿せしめる程の出來榮で、大いに賞めてよい。[illegible]現代フランスの版畫家素描（二）[illegible]ピカソの友達[illegible]等を滿載してゐる（[illegible]定價一圓三十錢東京市小石川區關口駒井町二番春鳥會）

▲幼年倶樂部（七月號）卷頭に美しい寫眞[illegible]、今日は[illegible]大日本雄辯會講談社[illegible]（[illegible]）

---

# 濕氣の多い六月は
# 梅毒感染の激しい時
### 口腔や咽喉は梅毒侵入の門口

梅毒は、下疳横痃の外、大部分は上氣道と云つて、首から上の口腔、咽頭、喉頭、その外氣管や肺に發現するものであります。ですから、上氣道は、下疳横痃と共に梅毒侵入の門口なのであります。それに、上氣道例へば口腔とか咽喉の病は、梅毒が好んで寄生する處でありますから、梅毒患者は云ふ迄もないが、潛伏無症な人でも、油斷がなりません。

### 上氣道に現はれ

た梅毒は、例へ驅梅療法で充分治療したつもりでも、はたから見て直ぐそれと解る樣な場合が、非常に多いのであります。それも[illegible]位ならよいが、上氣道に現れる梅毒は、他の梅毒と違つて、治り難く、[illegible]他の臟器にも、直接惡い影響を及ぼすので、誠に危險なものにされてゐます。

### ロシヤと云ふ國

に、梅毒の多い國ですが、その爲めに、この國では、人體下部の梅毒感染よりも、上氣道梅毒の方が一層患者が非常に多いと云ふ事を、或る世界的の醫學者は發表されてゐます。ですから、自分は潛伏だの無症だのと云つてゐても、何時どんな場合に發病してゐるかも限りません。前に話す接吻の外、乳房から子供へ、又は子供から乳母へ、それから間接には食器とか煙草の口付と云ふ樣な物から、傳染する事になります。斯うした

### 人の氣が附かぬ

間接な事から、梅毒は自由に甲から乙へ、乙から丙へ傳染して、しかも多くの場合、潛伏期間が長いので、人はそれと氣付かずに、治療もせずに、二年も三年も過ぎる中に、頭痛がする、目が霞む、頭痛や頭重が酷く、仕事の能率があがらぬ、物覺えが惡くなる、不[illegible]けて見て、初めてそれが梅毒の症狀で、第二期、第三期だと宣告されて驚くので、專門家の治療を受けて[illegible]とする——と云ふ樣な實例が、ざらにあるのであります。

### 第二期梅毒から

[illegible]た樣な症狀の外に、後頭部から首筋、顏面、背、手足に、發疹と云つて、比較的美しいニキビ樣の吹出物が現はれ、それが進むと、斯うした毒素は咽頭だけでなく、喉頭から口腔へと喰ひ込み、[illegible]をも犯して來る[illegible]。勿論こんな症狀の時の[illegible]は、[illegible]がたれるとか、[illegible]が破壞されて[illegible]になるとか、見るに堪へぬ相を現はして來ると云ふ状態です。

### 更に恐しいのは

[illegible]脊髓癆とか腦梅毒の類で、梅毒が脊髓や腦の中樞に入ると、腦[illegible]、腦ゴム腫、麻痺性痴呆と云ふ樣な重體な病症が現はれて來ます。斯うした[illegible]上氣道の梅毒感染から來るのが一番多いのですから、自分は梅毒の氣は微塵もないなどと、思案してゐると、一生取りかへしのつかぬ事にもなります。それが、[illegible]梅毒の[illegible]を知つて、まづ

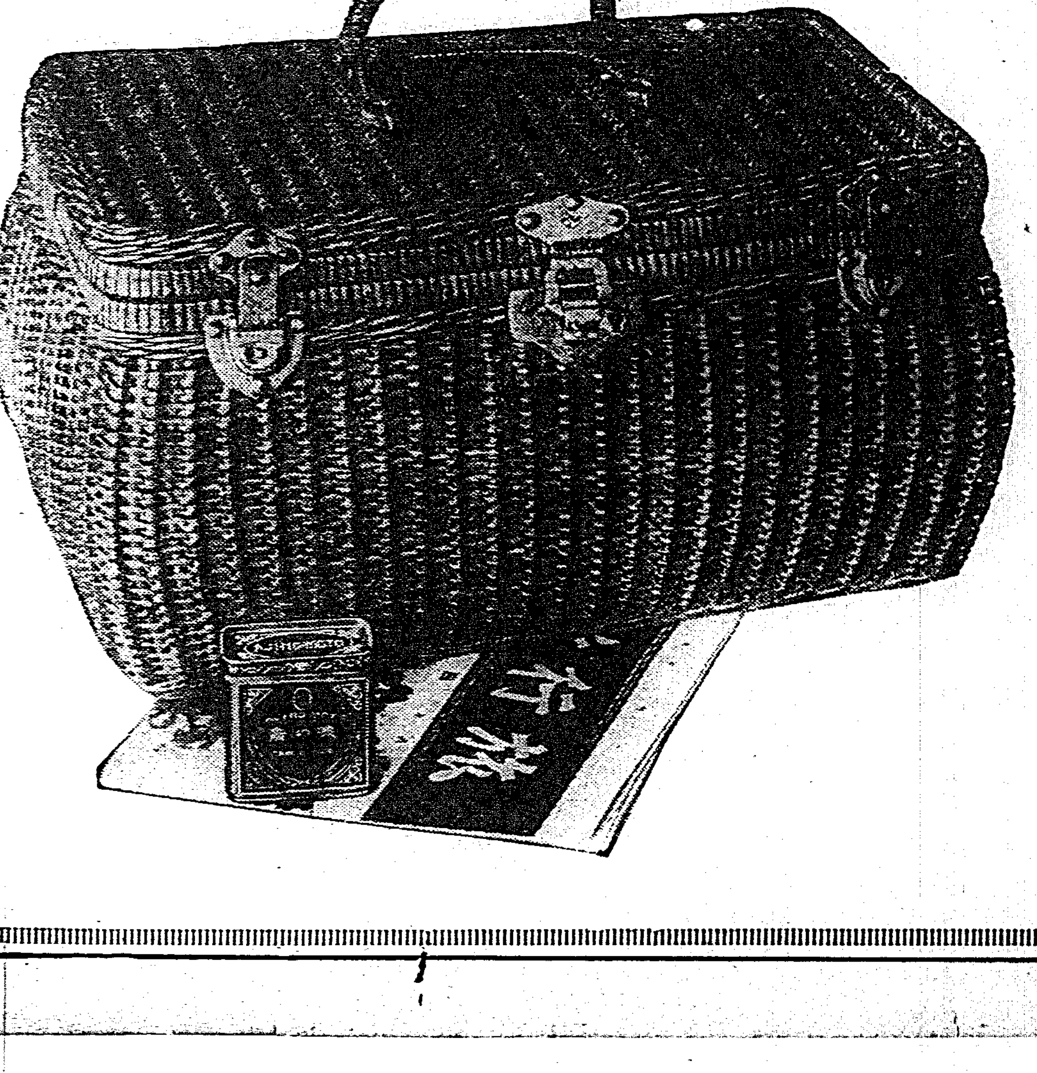
### 專門家の診療を

受ける事も必要ですが、同時に家庭療法として最も好適あるベルツ丸內服療法を試みるのがよい。ベルツ丸內服療法なら、二週間內[illegible]容については、多種多樣の梅毒驅除に有效な藥品が配伍されてゐるから[illegible]になるからです。二ケ月と服用を續けるうちに、[illegible]の毒素が自然に大小便と一緒に排泄され、氣分が極めて爽快となり、[illegible]の變化は云ふ迄もなく、顏や手足のニキビ樣吹出物も日增に消滅して、梅毒患者特有の[illegible]な顏色も、次第に健康色となり

### 胃腸の工合など

も非常によく、[illegible]神經痛、骨節痛、頭[illegible]、リウマチス等、凡て梅毒性の症に對しては、はつきりと[illegible]作用が顯はれるので好評です。殊に四十歳からになると、肩こりとか、動悸や目眩がするとか云ふ人がありますが、それが[illegible]梅毒性の動脈硬化症に罹つてゐます。だから、斯うした人にもベルツ丸の服用は[illegible]效果を現はす[illegible]です。御覽の通り、上氣道梅毒の[illegible]と同時に、先づその[illegible]ある人、また第一期第二期の人、然う云ふ人は、是非ベルツ丸の服用を實行して頂きます。

梅毒（ばいどく）と體毒（からだのどく）
梅毒性（ばいどくせい）吹出物（ふきでもの）に
ベルツ丸
獨逸ベルツ博士
SUZUKI NIPPON-SEIYAKUSIA
梅毒、[illegible]、しつ疹、ひえ疹、[illegible]、リウマチス、[illegible]、梅毒性吹出物ニキビ、[illegible]等に顯著なる效果あり。
定價　六日分一圓・十二日分[illegible]・[illegible]
東京市日本橋區本町三丁目四十番地
發賣元　鈴木日本製藥社　社主　鈴木吉二
振替東京一〇三番　電話本局八〇番九〇番
臺北市・[illegible]



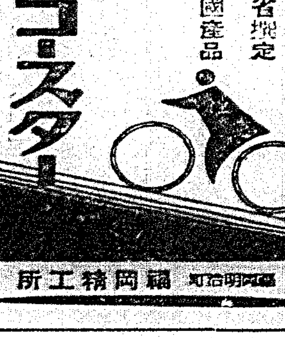
旅行の季節
味の素活躍

味（あぢ）の素（もと）
登録商標

旅（たび）に忘（わす）れて
ならぬもの
旅先（たびさき）での喰（た）べ物（もの）の
不自由（ふじゆう）はこの一罐（かん）
の携帶（けいたい）で忽（たちま）ち解消（かいしよう）

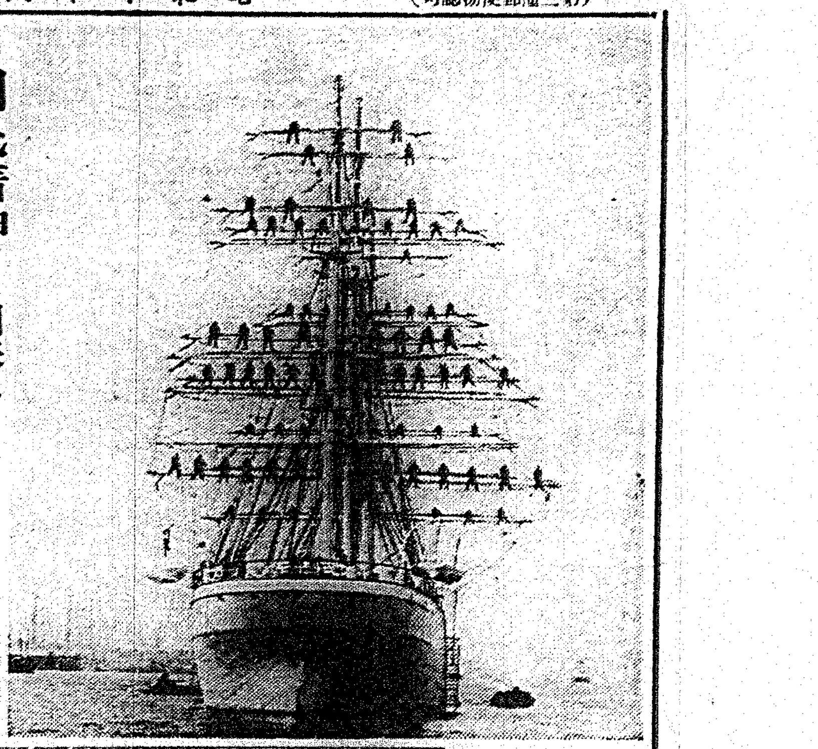
宮內省御用達　味の素本舖　株式會社　鈴木商店

巡査
內地及滿洲の巡査志願者は本會發行の巡査[illegible]にて及第必勝せられよ
ハガキで申込次第會則と受驗案內及全國試驗日割表無代進呈す
東京市[illegible]
日本警務學會



TOP
商工省推定
優良國產品
トップコースター
福岡精工所　福岡市明治町

仁丹
單衣の輕裝うれしき頃、あなたの
健康を、より朗らかに、より力強く
進める高雅な仁丹の効果



# 國民精神の涵養で面目を施した臺灣代表

## 全國女教員大會の土產話

先き頃東京一ッ橋教育會館にて開催された全國女教員大會は全國からの各代表者六百名が出席して虹の如き氣焔をあげ、火の出る樣な熱をもつて各問題を討議した、臺灣からは新竹市住吉公學校訓導[illegible]島フヂ子、臺南南門小學校柘木みさをの兩氏が臺灣代表として出席したが此六百名の出席者は何れも我が初等教育に直接たづさはる者のみでこの經驗を通して叫かれる意見は實に空論にはしらず實地を目とし理想の實現に努力し我が初等教育の力強さを感ぜしめるものがあつたが、臺灣代表の兩氏は歸臺後次の樣な感想を述べてゐた

× ×

文部省から提出された諮問案が、大體八つほどあつたが會員の最も氣をそそり熱心に討議されたのは何と云つても

### 小學校女教員の職能上の地位如何

と云ふことである、之は全國女教員聯合會から提出されたもので、この內には、現在の女教員の待遇は男子に比して非常な開きがあり現在女教員は惠まれない現在にある初等教育と云ふ大きな立場から視て女子も男子と平等の待遇をされたきこと次に女子にも視學になれないことは無い、視學は非常に緻密な而も繁雜な仕事であるが、之は却つて女子本來の性質に良く合つて居り、之を外國に視る時、女の視學、女の校長、何れも良い成績をあげてゐる、女であるからとて視學になれない事は無い筈であると、今後の進出を希望して結局文部省に建議する事を決議

× ×

次に數年前からその良否を論議されてゐた服裝問題（岡山縣女教員提出）である

之は現在實行してゐる所は臺灣では臺南臺北の一部があるが、服裝を統一する事はなか〳〵難かしい事で、結局意見まち〳〵で否決の形となつた「教育家である以上あまり突飛な服裝はさけたが良い」位の命令は當然な事であらうが、教育家にも趣味もあり、嗜好もあり、年齡の相違もあり無理に型の上で揃つても大した良い結果も得られないわけである

× ×

臺灣代表が特にこの會に於て面目を施し臺灣の爲に氣を吐くした事は臺灣教育會から提出された

### 小學校に於ける日本精神涵養の具體的方案如何

である、全會員、供に具體案と云ふほどの確たるものがなく、何れも苦しんだ樣であるが、この時臺灣代表は「國民精神涵養徹底に關する件」と云ふ小冊子を提出して全會員をしてアッと云はせた、之は昭和九年臺灣教育會に於て初等教育研究會を開催し先きの件について百二名の出席者の提出した答申書の內から具體的事項を抽出してそれをまとめて「國民精神涵養徹底に關する件」のパンフレットを刊行したのである、之によつて臺灣が如何に涵養初等教育に努力してゐるかを全國に知らしめ大いに面目を施した、結局この小冊子が大いに重寶がられ、參考資料としてこの問題は滿場可決となつたのである

× ×

この會で臺灣大震災の質問が多かつたので、持行した震災寫眞を回覽に供し、復興狀態その他について說明したが、出席者は之によつて現在の臺灣を良く知つた樣子であつた

---

# 大喝采を受けた佐塚孃の初登場

## 樂壇近來の好話題

今春東洋音樂學校を卒業した佐塚佐和子孃は、霧社蕃匪事件の當時名譽の殉職を遂げた佐塚愛祐警部の愛孃であり、故鄕にあつて眠りを待ち佗る母ヤイさんを夢見ながら音樂に精進してゐるので、その清純眞摯な態度は全社會の賞讚の的となり、諸雜誌の如きも佐塚孃の記事を掲載せざるものなき有樣であつた

かく喝采を以てジャーナリズムに迎へられながらも、佐塚孃は存溝な人氣には少しも動かされず好餌を以て勸誘される興行的音樂會の出演交渉には一切承諾しなかつたが、全樂壇の支持を受け近衞秀麿子等を委員に一回七千人の大衆を集めつつある森永製菓會社主催のプロムナードコンサートに出演方を懇望され折から臺灣を襲つた大震禍に小さき胸を痛めつつあつた佐塚孃は音樂による臺灣救濟の好運動を決意して、いよ〳〵去る十五日の同公演により樂壇にデビウした

當日、佐塚孃は[illegible]といふ清楚な身なりでステージに立ち、[illegible]回を獨唱し、アンコールにアンコールを重ね一躍「出演謝禮のすべてを被害地救濟義金に當てると申出られました」とアナウンスされるや萬雷の如き七千人の拍手が滿場を搖がした、その後佐塚孃は當日の謝禮全額を孃自身關係當局に出頭して正式に義捐した、目下都では近來の美談として語り傳へられてゐる（寫眞は佐塚孃）

---

## 御存知ですか

### 海苔の保存と夜具類

▲海苔は乾いたブリキ罐の底に茶がらをほうろくで十分に炒つて水氣をすつかり除つたものを敷きその上に海苔を紙に包んでぎつしりと詰めます茶がらの代りに乾燥藥（藥店にあり）を敷くのもよいことです

▲夜具類は乾燥してのなければなりません[illegible]

---

(カット) なんとまあ旗がたくさんとまつてゐるんだらう一等と勘違ひなさつては困ります。セーラーたちの朗かな曲技です。もう夏ですね。

のカバーをすると見もずつとこのまま過されます。布團の直しは梅雨中は避しますし、それに綿の打直しを頼んでも乾燥の目方で重量だけが重く工賃が高くつきますから

---

## 雜誌紹介

▲をどり（六月創刊號） 舞踊隨筆（水田龍雄）舞踊時評（川端柳造）舞踊る女優（岡田嘉子）舞踊寸評（江口博）舞踊行脚（久保田金僊）平田久結構（坂本[illegible]者）等の記事の他、藤間勘十郎、花柳壽二郎、[illegible]川井勢、西崎綠、若柳吉佐、坂東三津之介等の「おどりの形」寫眞、新作舞踊に關する寫眞等を多く數收めた氣持のよい「をどり」の雜誌である（定價十錢東京市牛込區細工町五ノ九二六舞踊社）

▲落語研究（六月號） アンデルセン翁のデッサン四題を卷頭に、二つの角度から落語を見る（小川未明）話方の研究に就いて（久留島武彥）坪內博士と落語及兒童劇（[illegible]）[illegible]理科落語古時計の役割（[illegible]）は時計の構造を巧みに說明したものではあるがそれのみに終始して幾分無味乾燥に陷つた嫌ひがある、佛教落語[illegible]の行方（[illegible]）は[illegible]に出て來る佛倍によく化けて[illegible]が、寶珠の行方を題の材にしたのは多少難い遣方である（[illegible]、東京市四谷區[illegible]谷町九の六九六日本落語協會）

▲短歌鑑賞（六月號）本號は創刊一周年記念號で歌話歌論（野本二郎）[illegible]其他川口正一郎、[illegible]外數十名の和歌が網羅されて居る（定價二十錢、東京市麴町區下二番町三三南人社）

▲ちまき（六月號） 俳句に關する評論、隨筆、講座及び雜詠句、地方雜信等を豐富に集めてゐる（定價三十錢、東京市澁谷區代々木西原町九二ちまき發行所）

▲詩と歌謠と（六月號） 詩、小曲短歌、民謠、小唄、童謠を集む（定價三十錢、東京市[illegible]町三ノ一三七七[illegible]社）

▲朝鮮（六月號） 朝鮮に於ける水稻代用作物の研究に就て（山澤和三郎）財政困難に陷れる水利組合の整理計畫に就て（[illegible]）砂防事業と[illegible]田擴張に就て（山本義一郎）簡易學校の增設方針（大野謙一）其他（定價三十錢、京城府[illegible]町三ノ六二、六三朝鮮印刷株式會社）

▲臺灣教育（六月號） 中等學校教育の理論的考察（林三[illegible]）日本人に於ける個人[illegible]（鈴木[illegible]）新算術の理解（臺北一師附屬公學校研究部）運動節目[illegible]に就て（小田俊郎）水泳指導[illegible]考（三村政治）其他震災特輯、特殊會報等（定價二十錢、臺北市[illegible]口町一ノ一臺灣教育會）

▲臺灣水產雜誌（五月號） [illegible]としての臺灣漁業近況の[illegible]（[illegible]）馬公漁港建設の急務を論ず（三田[illegible]）漁村青年の[illegible]に就いて（[illegible]）水產の歌（[illegible]）其他[illegible]、會報、市況、[illegible]、文藝趣味欄等（定價一ヶ年三圓、臺灣總督府殖產局內[illegible]會）

▲反響（六月號） 次に來るノア（[illegible]）[illegible]イベリット、[illegible]文學に就いて（田中貢[illegible]）[illegible]小雜誌（定價十錢、東京市世田ヶ谷區[illegible]一〇一八[illegible]其他）

### 最近著の雜誌

▲講演の友（第七十三號）▲若草（六月號）▲日本講演通信（第二百八十一號）▲ドライヴの三角 ▲入間[illegible]▲[illegible]（六月號）▲[illegible]本の敎育▲[illegible]▲現代[illegible]▲[illegible]

創業卅周年記念大特賣

抽籤發表。

三十年來の信用と東洋一の定評ある岩谷冷藏器を御愛用願ひます

岩谷冷藏器

御家庭用・御營業用
百餘種類・型錄送呈

十大特長

斷熱が最も完全
氷の用量が僅少
冷却力早く強い
冷氣乾燥衞生的
絕對に移香せず
內部の濕氣を防ぐ
脚は錆害を防ぐ
冬は保溫器代用
堅牢にして優美
良品にして廉價

製造元
東京・銀座
岩谷冷藏株式會社
特約代理店
臺北市京町二丁目
橫山商店臺北支店
電話四七二番

―下記番號が當籤しました―

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一等 | 384 | いろはにほへとちりぬるを各組共通 | 十二名樣 |
| 二等 | 196 | いろはにほへとちりぬるを各組共通 | 十二名樣 |
| 三等 | 下記番號 | いろはにほへとちりぬるを各組共通 | 六百名樣 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 003 | 013 | 040 | 059 | 061 | 062 | 065 | 139 | 140 | 161 |
| 165 | 178 | 200 | 248 | 280 | 284 | 287 | 302 | 343 | 351 |
| 365 | 382 | 406 | 443 | 525 | 549 | 574 | 599 | 628 | 640 |
| 664 | 670 | 674 | 691 | 694 | 712 | 739 | 743 | 746 | 762 |
| 806 | 815 | 816 | 863 | 884 | 904 | 914 | 945 | 948 | 972 |

專賣特許
婦人チューブ入
（醫學博士證明）
花柳病豫防藥
レーロー
滲みず痛まず
安全に豫防
定價[illegible]拾錢 二個入
藥店にあり・品切の節は本舗へ・郵券代用[illegible]
製造元 合資會社・東京醫理社
發賣元 東京・兩國 ◎ミツワ石鹸本舗 丸見屋商店・藥品部

虫氣なき子は
虫下しマクニン藥
錠劑 ・三〇 ・七五 一・三五
ゼリー ・二〇 ・五〇 一・〇〇 二・〇〇
糖衣錠十錠（大人一回分）

クラブ陽級化粧品

ほのかに通ふ
キャラの香り

オオ何といふ素敵さでせう
クラブキャラ香水の
魅惑的な薫香は
完全に汗ばんだ体臭を
ノツク・アウトします

アナタの床しさを更に一層助長する
クラブキャラ香水（小瓶正價金七十錢）
アナタの人格に一段の冴えを加へる
クラブルブラン香水（小瓶正價金七十錢）

主要品種別
クラブ固煉白粉
クラブ煉白粉
クラブ水白粉
クラブはき白粉
クラブ紅白粉
クラブ白粉錠
クラブ洗粉
カテイ洗粉
クラブビシン
カテイフード
クラブ特殊クリーム
クラブ淡白クリーム
クラブコールドクリーム
クラブつばみ
クラブ化粧水
クラブ美身液
クラブ乳液
クラブ口紅クリーム
クラブほほ紅
クラブ眉墨
クラブ香油
クラブ特性ポマード
クラブキニーネ香水
クラブベーラム
カテイ石鹸
クラブ石鹸
クラブ美身石鹸
クラブルブラン香水
クラブキャラ香水
クラブ煉歯磨

子供さんの歯刷子
ライオン歯磨本舖
特製の理想的歯ブラシ
小學生向 四號形（十九錢）・幼稚園兒向 五號形（十八錢）・幼兒向（二・三才以下）六號形（十六錢）
子供さんにもライオン歯磨 ねる前にも
123—10.5

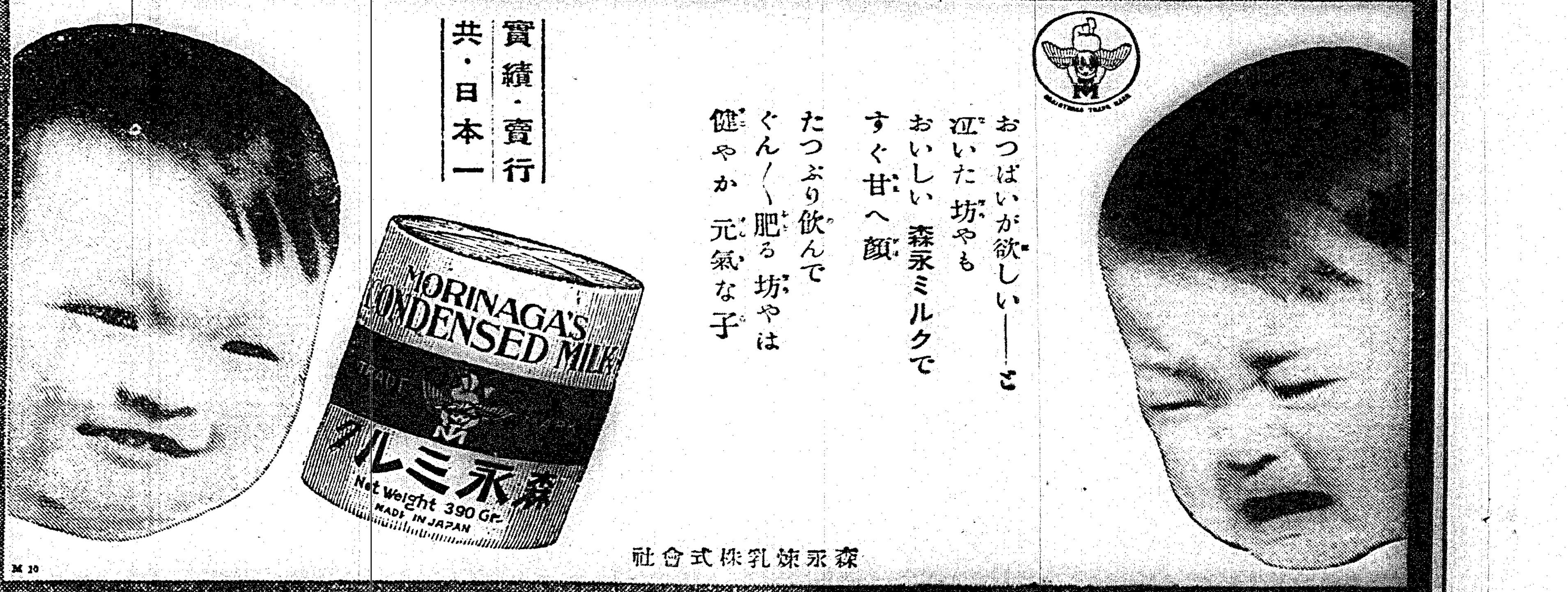
●ノーシン●
胃腸をこわさぬ頭痛藥

日本一の
森永ミルク

實績・賣行共・日本一

おつぱいが欲しい――と
泣いた坊やも
おいしい森永ミルクで
すぐ甘へ顏
たつぷり飲んで
ぐん〳〵肥る坊やは
健やか元氣な子

森永煉乳株式會社
M10



# 始政四十祝周年記念

---

株式會社

# 富士洋紙店

大阪市東區備後町參丁目

電話本町（二四）代表一・一三〇番

出張所

神戸・大連・新京

紙……一般

建築工業用板窒去：テツクス

---

株式會社

# 大同洋紙店

本店　大阪市東區安土町二丁目卅七番地
京都支店　京都市下京區綾小路通東洞院西入
名古屋支店　名古屋市西區下園町三丁目
東京支店　東京市京橋區銀座三丁目四番地
九州支店　福岡市上西町十八番地
出張所　〔門司、熊本、大連、新京、天津、青島
上海、香港〕

---

臺灣總督府專賣局
大藏省專賣局
朝鮮總督府專賣局
御用達

# 共榮板紙株式會社

マニラボール
ラインドボール
專門製造

大津市馬場一七
電話大津長　五五一番
一、一〇九番

---

本邦唯一のグラビアインキ製造工場

平版・凸版インキ製造

合資會社

# 日本グラビアインキ工業所

本社工場　兵庫縣尼崎市外小田村西長洲
電話尼崎九七四番
東京工場　東京市外池上町十二天一番地
電話大森一七二一番

# 臺灣に起し得る熱帶産業の數々

## 督府の熱帶産業調査會を前に

## 期待される新興工業

熱帶産業調査會の眼目とするところは要するに臺灣産業を出來得る限り工業化し以つて工業生産品を諸外國及び內地へ移輸出し又は島內需要に當てんとするもので、之がためには先づその原料を獲得せねばならぬのであるが、若し臺灣自體に原料を得ることが出來れば之に越したことなく、又若し南洋方面でなければ之を得ることが困難であるといふならばそれでも結構だといふので、此の點本調査會が南洋を重視する譯である、斯る意味からすれば日頃殖産局にそれ相當の豫算を計上し調査研究を遂げて置けば今度の樣な産業調査會にはより以上立派な工業政策を纏め上げ得るのにとの意見もなされてゐる、然らば（臺灣に於ける既成工業の改善さることと伴ら）將來新に興し得る工業には如何なる種類のものがあるであらうか、之は枚擧に遑ないが、そのうち數種の新興工業を拾つて見ると

**ゴム工業**…內地のゴム工業は南洋産のゴム液を輸入し之を凝固加工してゐる、そこで臺灣は內地よりも地理的に南洋に接近してゐるため、現在內地でやつてゐる仕事を臺灣で引受け樣といふ譯、併しそれでは內地が不服をいふかも知れぬ、それならば島內需要額だけを目標としても充分工業として成立し得る

**マニラ麻**…年六、七百萬圓の輸入を見てゐる現狀からして、之を近き比律賓から輸入し臺灣で製綱事業を興すことも有望

**香料工業**…本島にはシトロネラグラスといふ香料植物があり之を邦人が栽培し香料工業を起したとするも土地そのものが外國であればどうしても不利なること勿論で、出來るなら之を臺灣で栽培した方がいい、現に大湖方面では少量試作してゐる、それよりも臺灣には香料植物はフンダンにあるから敢て外國に求める要はあるまい、而して臺灣の嗜好と南洋方面のそれとは比較的類似してゐるから臺灣産香料は南洋方面に向くこと必定である

**キヤツサバ**…之を栽培し人絹や製紙の原料として高級澱粉工業を興し得べきこと周知の如くである

**製油工業**…香蕉、薄荷、魚類を原料とする製油工業はその原料は臺灣自體に栽培又は捕獲し得べく、椰子油、コプラ油に至つては馬來半島や比島から輸入すればいい

**製紙**…バガス製紙、竹紙、芭蕉製紙は今やその緒に就かんとしてゐること世人の周ねく知るところ

**工藝**…之は世人の比較的輕視するところであるが、蒔寄、烏心石、青桐木、楠、黑檀等は臺灣で得られ、紫檀、黑檀、チーク等は南洋に求め得る、之等の良材を用ひて高級家具類を製作する工藝を盛んにすれば內地も及ばぬ工藝地になるであらう

**天然ガス**…之が利用工業は近く新設される研究所の研究に待つところが多い、ベンゾール、無水アルコール、ドライアイス、硫安その他の諸工業の勃興を見るに至るであらう

その他植栽培による加工業…南洋や松脂による塗工業や製油工業、樟腦又はその副産物からセルロイドや香料を製造する工業、鱶の皮を利用する皮革工業など擧げ來れば際限ない程である

---

△有限責任竹東信用購買販賣利用組合書記補永坤△有限責任[illegible]毛信用購買販賣利用組合[illegible]受初△保證責任[illegible]信用購買販賣利用組合[illegible]任新化信用利用組合[illegible]丙戊△臺灣產業組合協會[illegible]支會主事補小西勝次

---

# 海岸線不通の影響

# 中部米の北送不能に賣方米商は大手違ひ

## 南送による運賃加重分は移出商と半分づつ負擔に決す

豪雨による大甲溪鐵橋の故障で貨物列車の運轉不能は出廻り期の中部一期米の北送を中斷し米界に大影響を及ぼすに至つた、即ち中部の蓬萊米は十四、五日頃から出廻り增加したが雨天續きの爲め籾の乾燥が出來ず又刈取りの遲れてゐるところもあつて本格的出廻りは先づ下旬以後とみられてゐたのであるが、今度の鐵道故障で北送は全然不能となり一時全部を南送して高雄より移出する外なき狀態となりその高雄も降雨續きの爲め荷役が捗らず移出の遲延を免れない模樣で本月中、中部米の移出少く北部米も雨續きの爲め例年より十日程遲延し七月十日頃でないと出廻らないといふので正米市場は期近四十錢、中先二十錢以上暴騰し中部蓬萊の現物は賣渡し十圓〇五錢と去る十五日より卅五錢高を告げ〔ハタ〕賣肪は不可抗力とは云へ意外の天災に多大の手違ひを來すに至つた又移出商と中部の籾摺業者との間には六月二十日乃至二十八日渡しの契約米が相當にありその一部は高雄渡しの條件となつてゐるが北送不能の爲め南送に變更すると共にそれによる運賃の加重は籾摺業者のみに負擔させることは氣の毒であるといふので移出商と籾摺業者とが半分づつ負擔することに申し合せが出來たやうである

---

# バナナにも大打擊

## 十九日の吉野丸積は皆無

## 一部は南送、或は擔送連絡か

豪雨の爲め大甲溪鐵橋の橋脚傾斜し線路彎曲して列車の通過不可能となり旅客だけは漸く徒步連絡によることとなつたが一般貨物は受付けないので中部と北部間の貨物輸送は全く斷絕し中部のバナナは勿論、出廻期に入つた一期蓬萊米の北送出來ず關係業者に多大の打擊を與へるに至つた、就中バナナは去十七日基隆出帆の高千穗丸には約六千籠積取つたが十九日出帆吉野丸はバナナの積取り皆無で中部產蓬萊米の積荷も殆んどないといふことである、之が爲め差當り急を要するものは南送して高雄より積出すこととなり十七日高雄出帆豫定の宮殿丸を延期して之にバナナを積込むことにしたやうであるが、南送すれば運賃を多く要し且つ內地へ遲着するので大甲溪鐵橋の故障地點の復舊が遲れるやうだと此の間を擔送に依り連絡し北送することにしたいと寄々協議を進めてゐるやうである

---

# 米バナナの南送と配船

## 船會社は尚自重

大甲溪鐵橋の故障は中部のバナナ米等の北送を不可能ならしめ十九日出帆の吉野丸にはバナナ、米共に積取り皆無となつてゐるが二十二日出帆の蓬萊丸にバナナなりとも多少積荷があるか何うか疑問となつてゐる、基隆にはまだ中部米が出廻めたのみで北部米は七月上旬でないと出廻らないので今のところ高雄、基隆共まだ米の爲めに臨時船を高雄へ呼ぶまでに至つてゐないが中部の一期米とバナナを全部高雄として南送から積出すことになれば船會社は高雄へ臨時船を增船する必要がある、[illegible]ナナ籠）の外、十六日高雄入港、二十日出帆の盛岡丸（主に米穀）十九日基隆入港二十一日高雄着二十五日頃出帆の福丸、二十五日出帆の大阪丸（主にバナナ）及三十日高雄出帆のアサカ丸等あるも南送が增加するとそれだけで不足するかも知れない、又移出米商側では高雄よりの門司、阪神行臨時船の配給を希望してゐるやうだが、若しも大甲溪鐵橋の復舊が早く出來、中部のバナナや一期米が北送出來るやうだと臨時配船もムダになるので船會社では姑らく經過の狀況を觀望し自重してゐるやうである

---

# 內地產組講習會へ五名を派遣

## 臺灣產組協會が選拔して

臺灣產業組合協會では本年度事業の一端として本島產業組合の役職員中より選拔したる者に對し補助金を交付して內地に於ける產業組合講習會へ派遣すべく計畫中の所、今回福岡縣主催產業組合講習會へ多數應募者中より左記五名を選拔し派遣することに決定した講習期間は一ヶ月で一行は來る十九日基隆出帆吉野丸にて出發致し講習終了後福岡山口兩縣下其の他の產業組合並農業倉庫經營の視察をも遂げて歸臺するので、其の本島に於ける產業組合並に農業倉庫の發展に裨益する所の多大なるものがあると見られてゐる

---

# 滿洲向茶の鑑定會

## 廿日茶商公會

臺北州農會では過般大稻埕[illegible]滿洲國向茶研究班に農產物檢查[illegible]のため滿洲國出張中蒐集したる茶十五種を中心に來る二十日午後一時から臺北茶商公會樓上に於て茶業關係者四十餘名出席の下に滿洲向茶の鑑定會並に懇談會を開催することとなつた今回は臺北州農會としては第三回目の催しで鑑定茶は全部滿洲市場で販賣されてゐる

---

# 蓬萊米の買氣を刺戟

## 產地水害の報に

【神戸十八日發本社特電】保合の蓬萊米も產地の天候を踏めて何となく底堅く思はせてゐたが大甲溪の鐵橋流下の報は買氣を刺戟し期九圓七十五錢と昨日より十錢高中部米九十五錢弱へなるも賣手は十圓を云ひ後場寄後は十圓十錢を唱へ期近二十二日限中部米十圓四十五錢は朝の中なるも午後更に暴騰し、[illegible]井、三菱その他もばらばらは買つてゐる新規商內も可成り出來蓬萊は愈々天候を織込んで一波瀾模樣に見受けらる

---

# 影響甚大に氣を揉む

# 貨物輸送の連絡策

## 日糖社線の利用も攻究中

大甲溪增水のための縱貫鐵道不通は旅客のみを辛うじて徒步連絡に依つて運んでゐるが、未だ減水の見込み立たずして橋脚破損の程度が判明せぬため貨物係では、ああだかうだと、對策を練るばかりで一向に手がつけられず十七日以來大甲溪をはさむ區間の貨物は各取扱を拒絕してゐる、その結果は臺北驛に於ては一日約百五十噸平均を積込む小口貨物が全々中南部地方に行かなくなつた上に大稻埕驛着[illegible]五十噸の一期米が十八日は一噸も來なかつたと云ふ重大なる結果を招いた鐵道本部貨物係では小口貨物の迂迴連絡を計る一方后里から月眉を經て大甲に通ずる大日本製糖會社の社線に託して山線を經由する貨物の南北送を計畫中であるがこれとて輸送能力に乏しく時間を要する上運賃への不便運賃の高率などのため未だに手を拱いて氣ばかり焦つてゐる處であるが貨物列車不通が臺灣經濟界に影響するところ極めて甚大なるに因み一刻も早く鐵道當局の善後策實施が各方面に待たれてゐる

---

# 鐵道不通のため米業者恐慌

## 輸送の圓滑を期するため船會社の協力要望さる

中部產一期蓬萊米の出廻期を前にして海岸線が大甲、甲南間の中斷で不通となり、米穀業者に一大恐慌を來たしてゐる、善後策攻究のため米穀移出商同業組合理事林濟川氏は十八日の朝から鐵道本部に押しかけて種々對策を練つて見たが、鐵道部としては水が引けないことには技術的方面の調査さへ不可能であるから何事も言明し得ない全く見當がつかぬとのことで同組合で調べた所によれば大甲、甲南間の不通で[illegible]中部產米の大部分は苗栗、田中間で、臺中州下の[illegible]米の大部分は基隆港への移送が不可能となつたわけで、これらの區間から移出する移出米數量を前年の實績に依れば六月中旬から五千四百頓のものが最出盛期の七月中では[illegible]頓に達し、六月から十月に至るまで五ヶ月間に移出した移出米は二十萬八千噸に達し、この大部分が基隆[illegible]一小部分が高雄といてゐたのだが、今では唯一つの方法として高雄港からのみ移出するまでは基隆への移送に全く不可能となつたから、高雄港經由を餘儀なくされる模樣であるが、高雄港の配船に名古屋、東京、橫濱方面行きが多く、然かもそのスペースの大半はバナナに占められてゐるため船會社の方で特別の配船を增加しない限りは[illegible]方面への積出には到底、關東方面への移出にも一大支障を來す譯で、[illegible]の圓滑を希望する[illegible]船會社の協力を要望する向が多い

---

ものばかりであり臺灣茶が滿洲國に盛んに販路の擴張をやつてゐる折柄其の製茶販賣上に多大の效果をもたらすものと期待されてゐる

---

# 中南部からの供給杜絕で豚も跳上る

## 百斤廿五六圓より四十四圓に奔騰す

臺北市で消費されてゐる豚は其の大部分中南部から供給を受けてゐるものであるが過日の豪雨に依る汽車不通で南北の連絡が杜絕したる結果豚はこの數日來全く姿を見せず、これがため臺北市場に出廻る豚は品薄となり從來百キロ二十五六圓のものが十八日には四十四圓に跳上つた、そこで臺北州畜產聯合會ではこの品不足を補ふためと今後市場に出せば農村も利益を收めることが出來るといふ見地から十八日には全州下に對し一日も早く豚を臺北市場に出すやう有ゆる機關を總動員して販賣斡旋をなしてゐるから豚肉の飢饉に遭ふやうなことはあるまいがこれに伴ひ小賣値も幾分騰貴することは止むを得ないであらうし又中壢あたりから基隆を經由して香港に輸出してゐた豚も香港輸出よりも臺北で賣つた方が有利であるから輸出も幾分は見合せとなるのではないかと見られてゐる何れにしても豚肉を盛んに需要する本島人側の消費者階級に取つては相當打擊であらう

---

# 霖雨續きの爲中北部米減收か

## 北部は二割減の說もあり

## 一般に刈取遲延

五月下旬以來全島一般に雨多く殊に近頃は中南部に豪雨あり北部地方も雨量案外に多く收穫期にある中部の一期米は浸水して刈取り出來ず、中には穗から芽を吹出してゐるものさへあり農家は憔悴を極めつつ天候の回復を待つてゐる模樣である、最近中部及斗六地方の米作を視察して歸北した人の話によると中部の一期米は收穫大いに遲延し臺中市より員林に至るまで一割乃至一割五分、彰化附近は一割、花壇附近は二割位より刈取りが濟んでゐない、員林の[illegible]すら六、七割濟んだ程度で全く刈取りを終つたのは田中附近の北斗郡下のみである、又臺南州下の斗六郡西螺地方は一割乃至一割九分收穫濟んだ程度である、斯樣に刈入が遲れてゐるのと降雨續きで乾燥が出來ないので籾摺業者の手に買るべき[illegible]米が意外に少い模樣であると、一方北部の一期作も雨續きの爲め結實を阻害され收穫は例年より十日ほど遲延する模樣で降雨より減收を免れざるべく或は二割減との說も行はれてゐる兎に角霖雨の爲出廻り遲延し且つ米質を損する等は產地農家の打擊として米商からも大に同情されてゐる

---

## 高雄在庫米（十八日朝現在）

| | |
|---|---|
| 一期蓬萊米 | 六〇、五六三袋 |
| 一期在來米 | 四四九 |
| 一期在來米 | 三三六 |

## 正米市況後場

▲一期蓬萊米

| | 安 | 中 | 高 |
|---|---|---|---|
| 一期蓬萊米 | 九、九二 | 九、四四 | 九、二六 |
| | 九三 | 一車 | 二七 |
| | 一三車 | | 二六 |
| | | | 二七 |

▲一期在來米　不申

## 島內肥料相場（現物差額打歩）

| | | |
|---|---|---|
| 大豆油粕 | 一圓八八錢 | 一圓八八錢 |
| 安 | 一圓八五錢 | [illegible] |
| 英安 | 一圓四五錢 | [illegible] |
| 過燐酸（七貫五六一五％） | 一圓〇〇錢 | [illegible] |
| 同（七貫五八一九％） | 一圓一〇錢 | [illegible] |
| 硫酸加里四八％ | 三圓五〇錢 | [illegible] |

## 期米

### 大阪期米後場

| 限 | 寄 | 中 | 引 |
|---|---|---|---|
| 一 | 三〇三八 | 三〇二九 | 二九九五 |
| 二 | 三〇三九 | 三〇三〇 | 二九九九 |
| 三 | 三〇四〇 | 三〇三四 | 二九九九 |
| 四 | 三〇四一 | 三〇三五 | 二九九八 |
| 五 | 三〇三九 | 三〇三四 | 二九九八 |
| 六 | 三〇二二 | 三〇二七 | 二九九六 |

### 東京期米後場

| 寄 | 引 | 高 | 安 |
|---|---|---|---|
| 二九八四 | 三〇〇〇 | 二九九八 | 二九九六 |
| 二九八二 | 二九九八 | 二九九八 | [illegible] |
| 二九七八 | 二九九八 | 二九七七 | 二九七三 |

### 神戸期米後場

| 寄 | 引 | 高 | 安 |
|---|---|---|---|
| 二八九〇 | 二八九八 | 二八八四 | [illegible] |
| 二八八九 | 二九〇〇 | 二八八六 | [illegible] |
| 二八九四 | 二九一五 | 二八八八 | [illegible] |
| 二八八九 | 二八九八 | 二八六六 | [illegible] |

### 堂島兩建控除俵合

| | | |
|---|---|---|
| 當限 | 一〇一、六〇〇石 | 賣方　島崎以下十五店<br>買方　岩井以下十店 |
| 中限 | 一六一、六〇〇石 | 賣方　岡崎以下十六店<br>買方　小河以下十二店 |
| 先限 | 七四、五〇〇石 | 賣方　島崎以下十一店<br>買方　岩井以下十七店 |
| 本日出來高 | 一〇八、三〇〇石 | |

### 堂島前場先限主なる手筋

賣方　三木乘吉（田中前）　[illegible]

買方　島崎三、二〇〇　上田二、〇〇〇小河一、五〇〇　岩崎一、〇〇〇　香川八〇〇　田中宣五〇〇

### 堂島前場先限兩建控除主なる手振

賣方　岡崎三、二〇〇　上田二、二〇〇　小河一、五〇〇　岩崎一、〇〇〇　香川八〇〇　田中宣五〇〇

買方　岡崎三、四〇〇　水野二、六〇〇　岩米一、四〇〇　木村八〇〇　水野六〇〇　岩崎五〇〇

筋　藤（小河、岩崎）東京筋（香川）山東（水野）地場筋（北川）　田中眞求筋（藤田、岩崎）地場（湯久、上村）地場頭（工藤、前田）

### 堂島米況前場

【大阪十八日發】天候回復に幾分人氣となり買氣動き田中眞、爲政の買ひ二十九圓八十五錢と九十錢高に始めアト擾値買と同時に九十錢と新値を切り九十四錢と突飛り買物一巡りに九十錢と進め九十八錢と大阪門に肉薄して止めた

### 堂島米況後場

【大阪十八日發】前場の手仕舞りに二十九圓九十五錢と三十錢安に寄り押目買に九十九錢と新高値に躍り更に三十圓丁度と大臺に乘せアト一服の九十六錢と大引

### 堂島雜觀

【大阪十八日發】昨夕より今朝にかけ天候回復し相場來氣回復し殊に降雨も少量であつた所より低狀買人氣となり騰き足場を示し先値に殺到しほり期近高勞々新高値も三千圓臺門突破を演じた然し一面第二天拂下げ期待に買方も積極的に手を出さず利喰急ぎ後場引一服となり市場人氣は拂下有無を警戒し大した上値望まれぬと解く向あるも押さば買はんの人氣は旺盛である流石限の受米調達難を說かれるも既に二萬五六千石を買ひつつ受渡日までにはまた買附ける可能性ありと云はれ買方も中先限の買玉整理の受米をするものと見られてゐるも積極的受米強行はすまいと解かれ買方玉方田中眞も當先限乘換延長を爲して困りその態度は頗ぶる注目されてゐる

---

## 紐育株況

【ニユーヨーク十七日發本社特電】本日ニユーヨーク株式市場は區々であつたが銀及び同株は商品市場での銀及び同相場の不味の爲め引締んだ、特殊株は惜しみて上向き公益事業株はレイバーン（?）に對するポイーラーの修正案に期待を掛けられてゐるため强調であつた證券市場も好調を見せた又公益事業株も强調を示した

## 商況（十八日）

### 島內米肥

### 臺米現物相場

| | 前日 | [illegible] |
|---|---|---|
| 蓬萊種蓬萊米 | 一〇、〇二 | 二二六 |
| 中等種蓬萊米 | 九、八〇 | 二八六 |

### 基隆在庫米（十八日朝現在）

| | | |
|---|---|---|
| 一期蓬萊米 | 八、七二一 | [illegible] |
| 一期在來米 | 一、四一一 | [illegible] |
| 合　計 | 一〇、一三五 | [illegible] |

---

元の[illegible]組合、今の[illegible]北[illegible]月組合が[illegible]五月[illegible]館[illegible]十周年記念[illegible]

[illegible]賣會を開催した▲士屋組合長の式辭、[illegible]知事の祝辭（[illegible]代讀）[illegible]などがあつて如何にも[illegible]があつた▲[illegible]組合員は[illegible]十年前を回顧し[illegible]京町の[illegible]を主張に[illegible]の[illegible]十八の[illegible]に[illegible]

て[illegible]を突破したことを[illegible]とする……と云つたやうな[illegible]をなし[illegible]の祝辭[illegible]には[illegible]と云つたやうな[illegible]もあつたがよくその使命を[illegible]し京町の改築を完成して臺北市の[illegible]に貢獻したことを[illegible]する一節があつた▲[illegible]はお[illegible]、京町改築に[illegible]した[illegible]、若しも京町が[illegible]のままであつて[illegible]を[illegible]たらどうであらうか……[illegible]

[illegible]までは[illegible]のとするならば[illegible]上意を用ふることは[illegible]に必要で、本組合の[illegible]も[illegible]してはならぬと云つた▲京町と云へば今より四十年前の明治廿八年六月十四日、北白川宮能久親王殿下が北門より御入城、當時[illegible]北門通りと云つた今の京町通りを[illegible]になり[illegible]に[illegible]れたのださうだ、[illegible]の[illegible]を[illegible]なく[illegible]する。

---

## 株式

### 大阪短期後場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 新鐘 | 四七、〇〇 | 四六、九〇 |
| 日糖 | 六三、六〇 | 六三、七〇 |
| 日産 | 八八、七〇 | 八八、五〇 |
| 日立 | 九〇、六〇 | 九〇、四〇 |
| 日産 | 七四、六〇 | 七三、〇〇 |
| 鐘紡 | 八三、五〇 | 八三、七〇 |
| 日東 | 一〇、三〇 | 一〇、〇〇 |
| 倉紡 | 七〇、〇〇 | 七〇、三〇 |
| 帝人 | 一八、〇〇 | 一七、九〇 |
| 東新 | 一三四、四〇 | 一三四、八〇 |
| 東京新 | 三六、八〇 | 三六、八〇 |

### 東京長期後場

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 鐘紡 | 二二二、〇 | 同新 | 一一五、六〇 |
| 片倉 | 一八、五〇 | 同新 | 七〇、一〇 |
| 帝人 | 一一七、九〇 | 同新 | 八五、九〇 |
| 倉紡 | 一一〇、八〇 | 東電 | 四六、一〇 |
| 帝麻 | 四五、〇〇 | 同新 | 三七、五〇 |
| 日麥 | 七七、一〇 | 同新 | 四五、六〇 |
| 帝麻 | 五七、八〇 | 同新 | 六八、四〇 |
| 日石 | 一〇二、九〇 | 日產 | [illegible] |
| 日石新 | 一一三、七〇 | | |

### 東京短期後場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 東新 | 一三四、七〇 | 一三四、八〇 |
| 大新 | 八四、八〇 | 八五、〇〇 |
| 鐘紡 | [illegible] | [illegible] |
| 同新 | 一一八、二〇 | 一一八、一〇 |
| 日清紡 | 一〇、五〇 | 一三〇、五〇 |
| 帝人新 | 七〇、五〇 | [illegible] |
| 東レ新 | 六四、七〇 | 六四、八〇 |
| 日魯 | 六三、六〇 | 六四、二〇 |
| 日產新 | 三九、八〇 | 三九、八〇 |
| 三菱 | 一〇八、二〇 | 一〇八、九〇 |
| 日產 | 七四、九〇 | 七四、七〇 |
| 鋼管 | 九一、三〇 | 九〇、五〇 |
| 人絹 | 四三、一〇 | 四三、〇〇 |
| 東電 | [illegible] | [illegible] |
| 日電 | 一五、〇〇 | 一五、一〇 |
| 郵船新 | [illegible] | [illegible] |
| 商船 | [illegible] | [illegible] |
| 明糖 | 三七、八〇 | 三七、八〇 |
| 東洋新 | [illegible] | [illegible] |
| 淺野新 | 二〇、七〇 | [illegible] |

### 大阪長期後場

| | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 大株 | 九〇、八〇 | 九〇、八〇 |
| 同新 | 八五、二〇 | 八五、三〇 |
| 東新 | 一三五、三〇 | 一三五、三〇 |
| 鐘紡 | 二二二、四〇 | 二二二、八〇 |
| 同新 | 一一五、六〇 | 一一五、八〇 |
| 日紡 | 七六、九〇 | 七六、九〇 |
| 同新 | 五七、三〇 | 五七、二〇 |
| 東洋紡 | 七、一〇 | 七、一〇 |
| 鐘淵新 | [illegible] | [illegible] |
| 同新 | 四五、九〇 | 四五、九〇 |
| 日糖 | 一二、三〇 | 一二、三〇 |
| 明糖 | 一五、一〇 | 一五、一〇 |
| 同新 | 六四、一〇 | 六四、〇〇 |
| 日魯 | 六八、六〇 | 六八、六〇 |
| 同新 | 二八、六〇 | 二八、六〇 |
| 日產 | 一〇二、二〇 | 一〇三、一〇 |
| 帝人 | 一一八、四〇 | 一一八、二〇 |
| 日レ | 一一七、〇〇 | 一一七、〇〇 |
| 倉紡 | 六五、六〇 | 六五、一〇 |
| 日石 | [illegible] | [illegible] |
| 北炭新 | 一一、〇〇 | 一一、〇〇 |
| 宇治電 | 四三、二〇 | 四二、〇〇 |

### 大株雜觀

【大阪十八日發】取引所株の無氣力は自然他株の買氣を阻喪し今朝は取引所株には迎へせの役物現はれ安寄したが東京が案外堅調に下げ渋つたので後場は投一巡に漸く買人氣一段落の觀あり大引際は諸株强調を見せた、然し地合は未だ鈍重を脫し切らず利喰急ぎに崩れ遲延は免かれぬから玉整理には可成の時間を要するものと見られてゐるが過般の大下げ後との值の居所が低いだけこの邊の突込はあるまいとされ目り相場の立直りには玉整理完了と新强力材料が必要と解かれてゐる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 東株 | 一二八、七〇 | 同新 | 一一五、七〇 |
| 郵船 | 五一、一〇 | 同新 | 一一五、一〇 |
| 國際 | 四二、一〇 | 商船新 | 二六、五〇 |
| 石川島 | 七九、一〇 | 新鐘 | 七八、〇〇 |
| 日立 | 二九、八〇 | 北炭 | 五九、九〇 |
| 北炭新 | 五八、三〇 | 九北 | 一〇〇、七〇 |
| 入山 | 六一、八〇 | 三菱鋼 | 八七、〇〇 |
| 鐘紡 | 七六、〇〇 | 鋼管 | 八七、〇〇 |
| 製鋼新 | 六四、一〇 | 同新 | 二二、五〇 |
| 戸畑 | 三九、〇〇 | 同新 | 二〇、五〇 |
| 淺野 | 四二、二〇 | 同新 | 二〇、五〇 |
| 人絹 | 四二、二〇 | 昭和肥 | 六三、五〇 |
| 電化 | 六二、〇〇 | 東拓 | 二、〇〇 |
| 電鐵 | 一〇、〇〇 | 地下鐵 | 一五、九〇 |
| 地下新 | 五五、〇〇 | 同新 | 一一、〇〇 |
| 秋木 | 五五、〇〇 | 同新 | 一一、〇〇 |
| 東京川 | 四〇、七〇 | 東邦 | 五六、七〇 |
| 大同 | 三九、二〇 | 王子新 | 八四、一〇 |
| 大阪染 | 一三、五〇 | 合油 | 五八、一〇 |
| 火災 | 三〇、六〇 | 同新 | 二八、〇〇 |
| 野本新 | 六四、〇〇 | 同新 | 二八、九〇 |
| 日曹 | 三八、〇〇 | 同新 | 二二、五〇 |
| 松竹 | [illegible] | | |

## 絲況

### 大阪綿綿

▲後場

| 限 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 六月限 | 二〇七、〇〇 | 二〇七、一〇 |
| 十二月限 | 二〇一、九〇 | 二〇二、三〇 |

### 大阪棉花

▲後場

| 限 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 六月限 | 六一、八〇 | 六一、八五 |

### 大阪人絹

▲後場

| 限 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 六月限 | 六〇、三〇 | 六〇、五〇 |

### 橫濱生絲

▲後場

| 限 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 十一月限 | 五六〇、〇〇 | 五六二、〇〇 |

## 砂糖

### 大阪清算

▲後場

| 限 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 九限 | 一一、八二 | 一一、八二 |
| 八限 | 一一、七二 | 一一、七三 |
| 十限 | 一一、九一 | 一一、九二 |
| 十一限 | 一一、九一 | 一一、九三 |
| 十限 | 一一、九一 | 一二、〇 |

## 穀肥

### 大連特產前場

| 限 | 寄 | 引 |
|---|---|---|
| 大豆現物 | 三、八九 | 三、八三 |
| 六月限 | 三、八六 | 三、八一 |
| 七月限 | 三、九四 | 三、八七 |
| 八月限 | 三、九三 | 三、八六 |
| 九月限 | 三、九三 | 三、九一 |
| 十月限 | 四〇一 | 三、九二 |
| 豆粕現物 | 一、二三〇 | 一、二三〇 |
| 七月限 | 一、三六〇 | 一、三七〇 |
| 八月限 | 一、二六〇 | 一、二六〇 |
| 九月限 | 一、二五〇 | 一、二五〇 |
| 十月限 | 一、二四五 | 一、二四〇 |
| 十一月限 | 一、二三五 | 一、二三〇 |
| 豆油現物 | 一、二三三 | 一、二三〇 |
| 七月限 | 一、二四〇 | 一、二四〇 |
| 八月限 | 一、二四〇 | 一、二三〇 |
| 九月限 | 一、二四〇 | 一、二四〇 |
| 十月限 | 一、二四〇 | 一、二四〇 |
| 十一月限 | 一、二四〇 | 一、二四〇 |

---

## 靑物魚類卸相場

十八日（百瓩建値）臺北市中央卸市場

▲蔬菜（地物）

| | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| 大根 | 一〇、〇〇 | 三、〇〇 |
| 人參 | 一〇、〇〇 | 四、〇〇 |
| 牛蒡 | 七、〇〇 | 三、〇〇 |
| 小芋 | 一〇、〇〇 | 三、〇〇 |
| 長茄子 | 八、〇〇 | 四、〇〇 |
| 甘藷 | 一一、〇〇 | 七、〇〇 |
| 蓮根 | 一四、〇〇 | 二、〇〇 |
| 麻竹筍 | 二五、〇〇 | 八、〇〇 |
| 綠竹筍 | 二〇、〇〇 | 八、〇〇 |
| 越瓜 | 八、〇〇 | 二、〇〇 |
| 胡瓜 | 二五、〇〇 | 六、〇〇 |
| 花椰菜 | 七、〇〇 | 五、〇〇 |
| 冬瓜 | 一〇、〇〇 | 四、〇〇 |
| 若莢豌 | 四、〇〇 | 一〇、〇〇 |
| 新茄 | 一〇、〇〇 | 五、〇〇 |
| 蕃茄子 | 七、〇〇 | 四、〇〇 |
| 絲瓜 | 一〇、〇〇 | [illegible] |
| 南瓜 | 八、〇〇 | 四、〇〇 |
| 冬瓜 | 四、〇〇 | [illegible] |
| 大西瓜 | [illegible] | [illegible] |
| 甘薯 | [illegible] | [illegible] |
| 刈菜 | 三、〇〇 | 一〇、〇〇 |

| | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| 里芋 | 一〇、〇〇 | 四、〇〇 |
| 落花生 | 一三、〇〇 | 一〇、〇〇 |
| 蓮根（內地） | 一〇、〇〇 | 一〇、〇〇 |
| 馬鈴薯 | 一〇、〇〇 | 五、〇〇 |
| 玉葱 | 一三、〇〇 | 三、〇〇 |
| 山芋 | 五、〇〇 | [illegible] |
| 南瓜 | 八、〇〇 | 六、〇〇 |

▲果物（地物）

| | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| 木瓜 | 八、〇〇 | 六、〇〇 |
| 桃 | 一〇、〇〇 | 六、〇〇 |
| 柿 | 二五、〇〇 | 二〇、〇〇 |
| 西瓜（島內） | 一三、〇〇 | 一、〇〇 |
| 李 | 一〇、〇〇 | [illegible] |
| 在來鳳梨 | 八、〇〇 | 五、〇〇 |
| 南國梨 | 八、〇〇 | 七、〇〇 |
| 檬果 | 一〇、〇〇 | 一〇、〇〇 |
| 蓮霧 | 一六、〇〇 | 八、〇〇 |
| メロン（內地） | 三〇、〇〇 | 三〇、〇〇 |
| 枇杷 | 二五、〇〇 | [illegible] |
| 三吉梨 | 二〇、〇〇 | 一二、〇〇 |
| 國光林子 | 三五、〇〇 | 四〇、〇〇 |

▲市況　全島的降雨の爲め汽車不通となり南部地方よりの入荷殆んど杜絕狀態であつたが新竹州下の西瓜里芋官園の胡瓜下關の三吉梨馬鈴薯玉葱等可成り入荷あり好市況を呈した

▲魚類（地方物）

| | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| 基隆 | | |
| 名 | | |
| タヒ | 三〇、〇〇 | 一三、〇〇 |
| 生アラ（同） | 四五、〇〇 | 一五、〇〇 |
| 上アラ | 七〇、〇〇 | 四〇、〇〇 |
| 生エビ | 三〇、〇〇 | 一〇、〇〇 |
| イセエビ | 七〇、〇〇 | 二〇、〇〇 |
| アワビ | 五〇、〇〇 | [illegible] |
| イカ | 四〇、〇〇 | 四〇、〇〇 |
| 甲イカ | 三〇、〇〇 | 二五、〇〇 |
| タコ | 八、〇〇 | 五〇、〇〇 |
| 子 | [illegible] | [illegible] |
| フカ | [illegible] | [illegible] |
| 速 | | |
| 大東港 | | |
| 東エビ | 一六〇、〇〇 | 一六〇、〇〇 |
| 小エビ（同） | 一四〇、〇〇 | 一〇〇、〇〇 |
| 下關 | | |
| 甲イカ | 五八、〇〇 | 四五、〇〇 |
| タコ | 五一、〇〇 | 四〇、〇〇 |

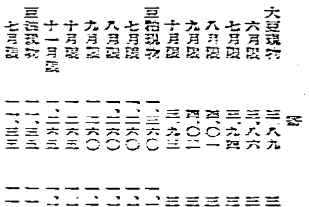
▲箱物（竹東丸）

| | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| 大マナ | 八〇、〇〇 | 七〇、〇〇 |
| 小マナ（同） | 八〇、〇〇 | 一〇、〇〇 |
| 血ダイ | 四〇、〇〇 | 四〇、〇〇 |
| キグチ | 五〇、〇〇 | 五〇、〇〇 |
| 大ベニ | 四〇、〇〇 | 四〇、〇〇 |
| 小血子 | 七〇、〇〇 | 一三、〇〇 |
| 黑マナ | 六〇、〇〇 | [illegible] |
| 切フカ | 二〇、〇〇 | 二〇、〇〇 |
| 田村丸 | | |
| モチ | 六〇、〇〇 | 四〇、〇〇 |

| | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| 生芝 | 四〇、〇〇 | 二〇、〇〇 |
| 八モ | 二〇、〇〇 | 一〇、〇〇 |
| 牛舌 | 一〇、〇〇 | [illegible] |
| 大白口 | [illegible] | [illegible] |
| 白口 | [illegible] | [illegible] |
| 大黑口 | [illegible] | [illegible] |
| 中タチ | [illegible] | [illegible] |
| 小（同） | [illegible] | [illegible] |
| 中タヒ | 二〇、〇〇 | 一〇、〇〇 |
| 小血子 | 二〇、〇〇 | [illegible] |
| 小（同） | [illegible] | [illegible] |
| グチ | 二〇、〇〇 | [illegible] |
| エソ | [illegible] | [illegible] |
| 赤目 | [illegible] | [illegible] |
| フカ | [illegible] | [illegible] |
| モチ | [illegible] | [illegible] |
| ハモ | [illegible] | [illegible] |
| グチ | [illegible] | [illegible] |
| 小エソ | [illegible] | [illegible] |
| 血芝 | [illegible] | [illegible] |
| 切フカ | [illegible] | [illegible] |

▲商況　地方物、連日の降雨の爲め大甲溪橋梁被害有り、南部方面よりの入荷無く僅少にして箱物、血迎主として血ダ、グチ、タチ多く、通して賣良き相場を見たり

---

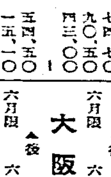


早〇男子へ急告！
明朗の春に氣付かぬ人は一生の損失

既婚未婚を問はず多くの男子が其の煩悶を有する早〇〇は其名を文明病と言はれる程現代人には多數ある色的（早〇）は男子自身の惱みに止まらず夫婦間を脫む家庭上の重大事である、人生の一番不幸な此の早〇〇で日夜人知れず不滿な日を送る在的不幸な方へ自宅で治療出來る專門の良藥を御紹介致します。

[illegible]りの御方に（[illegible]入れ）藥の說明書無代で送る
大阪市東[illegible]
城東園藥品部

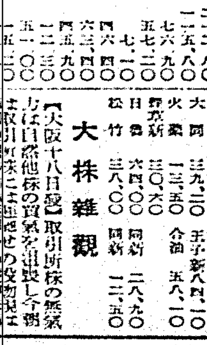
理想的屋根材
日本洋瓦
カタログ進呈
日本洋瓦株式會社大阪支店

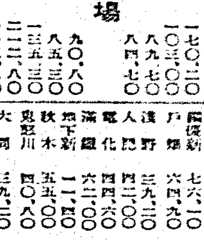


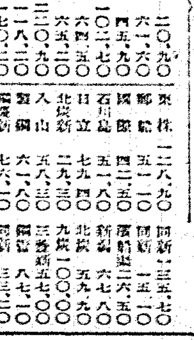
病人の食物　乳ノ食物　テルー

○失敗は技術家になし男女年齡を不問隨時入學許可
公認　東京寫眞學校
○三月で卒業、就職紹介、規則送る○東京品川區[illegible]

帳簿コンド
特許帳簿・超多綴式・角背表紙
用紙差替自在・綴穴の切れない
各地文具店・デパートに在り
元賣捌　大阪市東區平野町貳丁目
株式會社　福井商店







アース
夜のギヤング
南京虫
アース

メリヤス
オーミヤ本店
現金問屋
[illegible]

ゴム製品修理の大革命
專賣特許世界的發明品
ユニオンパッチゴム
在來のゴム製品修理法を完全にノックアウトした經濟手軽品なり
ゴム靴自轉車チユーブ其他ゴム製品一切婦人子供にても修理出來て實用的に數厘
各家庭一個必需品
（朝鮮靴又は靴修理用パッチ有）
見本郵送廿九錢
營業用徳用品一・二〇
全國特約店募集
東京芝區金杉三ノ三四
東京パッチゴム
發賣所　橫田商店
電話三田（45）四四番
振替東京八四四〇〇番

頭のくしやくしや　はれやかで　スーと
¥0.30 ¥0.50 ¥1.00

効め速き　りん病藥
ルーベリ
うみ去り　痛み消散す

文藝

文藝時評◇上

# 新現象の萌芽

## 文藝復興の動き

窪川鶴次郎

最近ぼつ〳〵、どこからともなく純文學の窮乏が唱へられ出した。この窮乏の意識はまだそんなに強く人々の心を捉へてゐない、その捉へてゐる範圍もまだ極めて狹いやうである。でこの現象はまだ萌芽的だ。が、この現象には、それの温床になつてゐると見られる幾つかの問題がある。それらの問題を取り上げて一つ一つを調べてみるならば、萌芽的ではあるがこの現象には、興味ある重要な、そして痛切な問題が横たはつてゐるのではないか、私はさう考へてゐるのである。所謂文藝復興がどこからともなく唱へられ出したのは、一昨年の後半期からであつた。それが僅か一ヶ年半ばかり後の今日はやくも窮乏が唱へられ始めた

×　×

この事實を思ひ起す時、一體その間にどんな關係があるのか、と考へざるを得ないのである

文藝復興の要望には、それを起さしめるに至つた社會上の、文學上の根據はあつた、全く強力なものであつた、然しこの根據なるものが、文藝復興の要望を滿たすべき何等の必然性も持つてはゐなかつたのである、その點に就いて豫め觸れておきたい、昨年の始め頃、林房雄は文藝復興に關して次のやうな言葉を述べてゐる

「作家が、過去一年の、または過去十年の、自分の仕事をもふくめた日本の文學業績をふりかへつてみて、たへがたい俗化と劣化とを感じ、これに對して、猛然と反撥する闘志と力量を心中に發見しえたならば、それがすなはち文學再建の意思である」

そこで「文學を天職と感じなほすこと」によつて「新しい自覺に到達した」作家たちのこの自覺と決意と覺悟とによつて文藝復興の新氣運が起りつつある、今はただ作家、批評家の努力と精神を俟つのみである、と林は信じてゐるのである

×　×

林房雄は人も知る、文藝復興の中心的な主唱者であつた、他に彼と見解を異にするほどの文藝復興論もなかつた、だから林の文藝復興論を代表的なものと看做して差支へないだらう、だが、彼の說に就いて觀ても明かなやうに、文藝復興論者の主張ほど安直な、たわいの無いものはないのである

自分たちの仕事の俗化と劣化とに對して猛然と反撥する闘志と力量を中心に發見せよ、文學を天職と感じなほせ、ただそれだけである、そんなことなら、何人もあらためて聞くほどのことではなかつた、彼にあつては、文學の再建はひたすら、個々の作家の、反省の如何によつて、即ち個々人の心がけ次第によつて可能なのである、例へば心がけ一つではどんな貧乏人でも金持になれると說くのと一緒である、一國の經濟的窮狀や、科學的な戰術や、現地における戰略條件等の、一切を無視して、兵士大衆に向つて心がけ一つで戰爭に勝てると說くのと一緒である

×　×

然しそれにも拘らず、林の說は部分的には烈しい否定に會ひながらも、多くの人たちの支持を受けたやうである、一昨年の中央公論六月號に谷崎潤一郎氏の「春琴抄」が發表されるや、同誌七月號の文藝時評で正宗白鳥氏はこれを絶讃して次のやうに言つた

この「春琴抄」はどの新聞の月評によつても褒められてゐたが、それは當然であるとともに意外であつた。批評家が筆を揃へて禮讃する逸品が、文壇に現はれたとすると、現代を文學衰頽時代と極める譯には行かないではないか。本當に傑れたる作家、傑れたる作品はいつの時代にもさう澤山有る筈のものではない

事實この頃を境として、文藝復興の意識は文壇に濃厚になつて行つた。復興現象は眼に見えて著しくなつてきたのであつた、それは何故であらうか

×　×

文藝復興の現象は、諸雜誌の創作欄に、既成作家の復活となつて現はれて來た、新進作家が輩出した、人々は新進に對して嚴しい批判を加へるといふよりも、殆ど無條件に彼等を迎へた、文藝雜誌の増加、新しい同人雜誌の出現、飜譯、紹介的批評等の形における同人雜誌の優遇、これらの事實は確かに文藝復興の證左に相違なかつた

私は今ここに、眞の文藝復興とは如何なるものであらねばならぬかに就いて留まることは出來ない、が歐洲文學史における文藝復興時代に例をとるまでもなく、眞の文藝復興は要するに、一と口に言へば、時代社會の生活の眞實の姿が傑れた藝術作品となつて出現した時にのみ言はれる、時代社會の生活の眞實の姿と言ふ時それは現實の正確な認識を俟たざるを得ない

從つてそこには今日の現實を如何に認識するかといふ基本的な問題が前提されてゐるのである、プロレタリア文學においては、實にこの問題が常に運動及び文學理論の中心的な關心事であつた、文藝復興は漠然と文藝を復興させることではない、個人の心構へなどによるそれは絶對に不可能でもある、即ち如何なる文藝を復興させるかといふことが先づ考察されねば、文藝復興の要望も結局、自慰的なものに終らざるを得ない、そして事實そのやうに終つたのである、だからはやくも今日、どこからともなく今度は純文學の窮乏が唱へられるに至つたのである（つづく）

---

### 文藝消息

▲横光利一氏　隨筆評論集「覺書」を東京市澁谷區神宮通り二ノ一五五沙羅書店より刊行

▲「媽祖祭」記念會　最近の出版界に一紀元を劃した詩集「媽祖祭」（西川滿著）の好評を祝して、矢野、世良、島田、西田、小山、石本、山地諸教授發起の下に近日記念會を開催

▲野田二郎氏　短篇集「雨花」を紀伊國屋パンフレット第四輯として東京市新宿角筈同書店より刊行

▲水島健二氏　牧水系歌人十五日來臺

▲「時代服飾選」　五代將軍綱吉公裝着、五代目半四郎似顏人形等染織衣裳の逸品を三色版として東京市京橋區銀座五ノ四綜藝研究院より刊行

▲「文化建設」　横濱市中區本郷町三ノ二八九共社より七月創刊原稿募集中

▲「原生林」　短歌雜誌を市內大安十二甲四二七共社より創刊

---

### 毒鼓

▲松波治郎氏が今度「人生街道」と云ふリーフレットを創刊した

▲その卷頭言「文藝十八般提唱」の冒頭で、氏は言つてゐる

▲「おしやべりをし合つて居る間に、何故本當のものを書かないのだ。通俗小說の議論など世にも役に立たないものはない。小說家は默つて作品に精進すればいい、何とか、かんとか、ほざく奴は、つまり精進しない徒輩と見て差支へがない文學は理窟ぢやないんだから」と

▲大分そんじよそこいらに耳のいたい人がある筈。理論に當てはめて書いた小說に古來ろくなものがあつたためしはない

▲默つて思考せよ、そして作品を書け。ヴエルレエヌも云つたぢやないか「先づ雄辯の首をしめよ」と

---

### 青龍刀

▲流行小唄界の寵兒西條八十氏は人も知る早稻田大學佛文科の教授だ、大學教授と小唄作家とはどうもぴつたりしないもののやうだが、この二役を一人で兼ねるわけには相當苦勞し時たま自己矛盾を感ずることはあるらしい

▲先日早大講師室で西條氏、同僚の某君にポケツトから「本日午後×時の吹込み立會ひに御來社ありたし」のレコード會社からの通知の葉書を取出してみせていふに、「今日午後から大學の入學式があるが、大學教授としてそれに出席すべきか、それともまた專屬作家としてレコード會社の命に從ふべきかに迷つてゐるが、君どうしたものだらう」と訊いたものだ

▲早速某君斷案を下していふに、「そりや君大學の入學式に出たところで一文にもならないが、レコード會社に行けば金になるんだから、會社に行くべきだ」と

▲そこで西條氏「實は僕もさう思つてゐたところだ」といつて、翻然大學教授からレコード會社專屬作家に立ち返つて出掛けたさうだ

▲さて大學教授も時代の風の吹き廻しで昨今まで國家によつて確認され、信奉されて怪しまれなかつた學說のために追はれ、身邊の危險を感ずるやうなことにいやどうもの時代とはいふものの

▲まさか「小唄作者が大學教授であつてはなりませぬぞー」と威丈高に怒號する貴族院議員もなからうから西條氏安心してせつせと稼ぐべし

---

### 最近著の雜誌

▲臺灣水產雜誌（六月號）▲法政公論（六月號）▲探偵文學（七月號）▲短歌研究（六月號）▲大タイムス（六月號）▲日本歌謠の眞義と問題（第五十七回講演集）▲言語研究（六月號）▲文藝（七月號）▲國語（第九卷第五號）▲少女俱樂部（七月號）▲少年俱樂部（七月號）▲財界之日本（六月號）▲台灣教育（六月號）▲青年時報（第二百十八號）

---

外交時報

六月中旬號　每月二回發行・一冊五十錢

日本外交協會の建議……半澤玉城
東歐ロカルノ條約の展望…東大教授 横田喜三郎
佛露相互援助條約に接して…法學博士 米田實
獨逸軍擴とヴエルサイユ條約…法學士 水谷吉藏
獨逸再軍備と其經濟的基礎……小島精一
空襲の國際法的研究…東北大教授 田岡良一
米國產業復興法の後障…法學博士 北澤新次郎
日蘇漁業條約改訂の意義……馬場秀夫
對日轉向の檢討……大西齋
對支認識の再檢討……楠本實隆
樺太買收論に就いて……田村幸策
新京政府の大旋風……中保與作
ソ聯に於ける婚姻……森吉義旭
西遷共產軍を中心に……松本鎗吉
海外通信統制計畫・其他……外交考査部
北支那時局の重大性……本誌時報

外交時報社　東京丸ノ內・振替東京一五八八六

特許八六八七二
カタログ呈送
各種 水力原動機 オイルガバナー 專門製造
富士タービン水車
古き經驗と最新の技術
運轉成績日本一
株式會社 富士水力機械製作所
東京神田區神保町一ノ一 六五 電話神田五五六

頭痛に はれやか
¥ .30　¥ .50　¥ 1.00　¥ 2.00

マツダランプ
東京電氣株式會社二大製品
マツダ眞空管
東京電氣辦理店　臺北市榮町二ノ二八

◉齒痛に頭痛はガオガンに限る◉

三菱電氣扇
三菱商事株式會社

尿病の　正しき漢方藥　黄沁尿煎

二百五十年の歷史ある腎臟・膀胱・尿道の漢方藥！
◆小便…近く、放尿後まだ殘る樣で氣持惡く排尿時痛み、尿の色濃く、ニゴリ、血ウミも……◆尿道が狹くなりて尿が出兼ね、しも◆尿量が少く、色濃く、尿中に蛋白質や血球を混じ、腰痛、ウキハレ其他尿の異常に……尿路の荒れ爛れを治し、排尿の回數を整へ、尿の痛に氣持よく適應す。
併用差支なし
價 十日分二圓　卅日分五圓　四日分一圓（小包料十四錢）
本舖 大阪市東區日本橋筋五丁目 長倉製藥所
代理店 臺北市京町三丁目

腹痛・下痢にダイモール
（說明書贈呈）
台北市日本橋町 株式會社 [illegible]商店

懸賞 締切迫る！

此の賞品！
東京特製 明麗ゆかた 五千反
——五千名樣に一反宛贈呈——
特賞 明麗ゆかた（ジョーゼット）五百名樣
籤外賞 ウテナ脂取紙 十萬名樣

課題？
一、水谷八重子さんのクリームは？（〇〇クリーム）
二、着てゐる浴衣は？（この懸賞の賞品〇〇ゆかた）
三、御住所、氏名とこの新聞名

右の解答を——
サラッと颯爽、色白くなるウテナ雪印クリーム
陽ヤケを止めて、お肌の美を護るウテナ花印クリーム
この夏の流行ウテナ水白粉、粉白粉、ウテナ化粧水、ウテナポマード、ウテナほゝ紅等、ウテナ化粧品の空函（其他）に記し必ず封書で、左記へ郵送してください。

東京本郷區本郷一丁目
ウテナ本舖懸賞部

▲郵税不足はお斷りします。
▲空函の蓋と底は切りすてゝ、目方を輕くして下さい。
▲お一人で、何通出しても差支へございません。

締切 六月三十日
七月初旬、東京日日新聞、大阪朝日新聞に主なる當籤者發表、直ちに賞品を差上げます。解答はお早くお送り下さい。

ウテナ バニシングクリーム 雪印

10.6―7.5

# ソ聯の極東航空網 漸次整備し來る
## ハバロフスクからオハまで
## 定期空輸を開始

【東京十八日發】在ハバロフスク昌田總領事より十八日外務省に達したる公電によればソ聯政府は十六日より極東ソ聯領の要地たるハバロフスクより北樺太のアレクサンドロフスクを經てオハに至る貨客輸送の定期飛行を開始したが極東方面に對するソ聯航空網が漸次整備されつゝある折柄右航空路の開設は注目される

# 妙齡の本島人少女 同性の抱合心中
## 增水の淡水河に 死體を發見

雨續きで增水した淡水河淡水[illegible]に妙齡の本島人少女の抱合心中死體が浮かび上つた。十八日午後三時過ぎ臺北市[illegible]附近に互で固く縛つた少女の心中死體が浮かんでゐるのを通行人が發見南署に屆け出でたので山下警部補が出張取調べた所右の死體の主は市內[illegible]町七二三王[illegible]氏娘（一八）と同町六八七張氏[illegible]（一八）と判明原因等一切不明なので目下家人について取調べ中である

# 帝糖の採取區域 獲得に伴ふ紛爭
## 臺中州三郡下の舊式糖廍業者
## 知事に裁定を申出づ

從來は兎角紛爭を惹起し勝ちであつた製糖會社對農民間の紛爭も近來は漸く兩者の關係が漸次合理化されて行くにつれその數を減少しつゝあるがここに又一つの新しき問題として帝國製糖が臺中州豐原、大屯、東勢三郡下に於て新に採取區域を獲得したことから

◇…同地の 舊式糖廍六業者との間に補償金を繞り問題を惹起し爾來一ヶ年を經過した今日未だ解決を見ず、六糖廍は遂に臺中州に對して裁定方を申出るに至つたが、本問題は臺灣產業界にかける新問題であるだけその成行は頗る注目されてゐる、抑も本問題の經緯及び業者の主張は右地域の業者が永きは三十年短きものも四年に亙り苦心慘憺して山地の開拓を行ひ今日では畑開墾地三千甲步に及び一千戶の農民を養ひ、年產二萬俵の

◇…赤糖を 出し製造、製品販賣、消費稅等の納入額年八萬圓に達するに至つたのであるが右を帝國製糖會社は新式製糖工場たるの利器に依り昭和九年六月總督府の許可で同社の原料採取區域に編入し之に依り年額四十八萬圓の純利を豫想されるに至つたものである、然るに生業を奪はれた右業者は納稅額八萬圓に達する生業を帝糖の申出と傳へらるる僅か二萬八千圓の包み金で奪り去られる事は甚だしき苦痛であるといふので[illegible]たる議論を惹起するに至つたものである、更に聞くところによれば臺中州當局は生業を奪はれた當業者の苦衷を察してか、當業者と會社との折衝を

◇…裁定す べく昨夏當業者に補償要求金額明細書の提出を命じたので業者は直ちに昭和八年度乃至昭和十年度の製糖利益金の一ヶ年平均額を標準として將來六ヶ年分の利益額相當額を算出、之に創業以來の投資金額を加算して金四十七萬餘圓を計上、裁定を仰いだところ既に一ヶ年の星霜を經過した今日何等の音沙汰なく、一方勸銀、臺銀等より借入の負債（約二十萬圓の殘存）に苦しみ居る業者は生業を失ふのみならずこの儘では破產するの外なき窮狀に立至つたので州當局の迅速且つ公正なる裁定を仰ぐため日本興業銀行の常務法律顧問辯護士立花定氏を代理人として

◇…連名を 以て月下知事に歎願書を提出したものである

右は問題が社會的、產業的延いては臺灣統治上重大なる影響を及ぼすものである丈けに新知事が如何なる裁定を下すか注視されてゐる

# 始政記念 四十年間の臺灣

# 兒玉總督時代に 統治の基礎確立
## 時の政府は常に臺灣を 非常に重視した（三好氏談）

―（17）―

本社主催座談會

### 初代總督樺山さんは京都で任命さる

**三好** 臺灣の初代總督樺山さんが京都にて任命され臺灣へ赴任される當時の模樣を內地で小生が記憶する所によれば、明治二十八年四月二十七日大本營を廣島より京都に移された、明治二十八年五月十日樺山大將は臺灣總督に任命された、何でも其當時京都の東本願寺附近に臺灣總督府の辦事所の看板をかけ其處で事務を執られてゐたやうに思ふ、樺山總督は明治二十八年五月二十四日宇品出帆の橫濱丸にて赴任の途につかれた、當時臺灣については時の政府は非常に力を注ぎ、總督として赴任する人物も堂々たる大人物を選んだやうに思はれるが、第二代總督は桂さんで明治二十九年六月任命された、桂總督の赴任した際には時の內閣總理大臣伊藤博文、海軍大臣西鄕從道の兩大臣が一緒に來臺し、明治二十九年六月十七日の第一回始政記念日に兩相が列席した、第三代總督は第二師團長を自ら率ゐ臺灣平定の偉業を[illegible]した乃木將軍が明治二十九年十月任命された、更に政府は明治二十八年六月に臺灣事務局なるものを設置し時の總理大臣伊藤さんが其の總裁を命ぜられた、又明治二十八年八月に[illegible]高島さんが臺灣副總督に任命され九月に赴任し、十一月末上京された、副總督は高島さんだけで其後にはなかつたが、此の高島さんは明治二十九年四月に拓務省が中央政府內に設けられると同時に其省の大臣に拔かれた、之なども臺灣の實情を知る人を拔いたわけである、兎に角臺灣統治といふ事に對し政府は非常に重視し力を入れたもののやうに想像される、かくして兒玉總督時代となり臺灣統治に相當立派な花が咲くやうになり、今日の臺灣の基礎を築きあげられた次第であると思ひます

### 紳章を貰つて肩身の廣かつた本島人

**大澤** 兒玉總督の時、三十四年十一月五日に地方長官室に內地本島人紳士を官邸に招いて饗宴を催したのですが、この年に總督政策が定つたのでせうね

**尾崎** 當時は後藤長官さんが臺灣の事を專らやつてゐました

**三好** 兒玉さんとしては臺灣事業の大綱を示したのだが、あの時の總督の意見を日記したものがある筈だ

**大澤** 臺灣に[illegible]ふものを作つたのですか

**邨松** それもあつた

**小宮** 風俗改良の一つになるかも知れませんが、兒玉總督時代に揚文會と云ふものを組織して色色全島の學者を集めて優待された、それからもう一つは饗老典を設けて全島の老人を集めて慰勞されたので非常に兒玉總督の人道主義の意思を本島人の頭に徹底せしめた

**三好** 本島人に紳章をやつたと云ふ事があつたね

**小宮** これは市に[illegible]をして勳章の心算で大事にしたものです

**尾崎** 本島人は紳章の[illegible]ですね

**邨松** 紳士の證明だよ

**小宮** それが非常に尊重されてこれがないと肩身が狹い樣な感じを彼等に與へたのです

**堀內** 揚文會ですが後藤さんが揚文會員を集めて演說した事があるが、其の內に舊慣調査と云ふことも必要であるが、先づ衞生の改善を第一にしなければならぬと說いて衞生の知識を普及する事、それから醫學教育を早くからやらねばならぬと云ふ事を度々演說して話しましたが、こんな事を云ふと「後藤は醫者の出身だから醫者の考へが醫學に偏してゐる」と思ふかも知れぬが、それは決してさうでなく、總督府始まつて以來歷代の總督の考へは皆さうでこれが一番根柢となつたものです

### 兒玉總督が滿洲軍 總參謀長を兼任

**大澤** 明治三十七年六月に兒玉さんが滿洲軍總參謀長になつて總督兼任となつたのですがこの時直ぐ行つたのですか

**尾崎** 行かなかつたのです、七月に行きましたが臺灣總督の印綬は帶びてゐた

**大澤** 其の時の民情はどうでしたか

**尾崎** 兒玉さんは日清戰爭の時から殆ど中心になつて働いてゐましたが、三國干涉の結果遼東還附と云ふ事が非常な不平だつたのです、これは兒玉さん一人でなく日本國民全體の考へであつた。臺灣に於ける事物として頭が[illegible]り込んだもので、其の時の日本國民の意向と云ふものはどうしても[illegible]してロシアと戰はねばならぬと云ふ目標を立ててゐたので、日本人として臺灣の開發の仕事は[illegible]ばならぬが最後の目標は[illegible]にある事は兒玉さん等の日清戰爭以來の氣分であつた 其[illegible]で臺灣には成るべく早く片付けて置いて[illegible]十年の間には[illegible]出さなければならぬと云ふ意氣込みであつたものです

―寫眞は來臺當時の[illegible]―

## 並木の引ッ越し（記念博の準備忙し）

三線道路の第一會場に當てた[illegible]舊廳舍ではあちこちに板圍ひをして區劃を定め並木の植換へを始めた名物の並木も一本づつ引き拔かれて運び去られた跡は見違へる程廣々とした敷地になつてしまつた（寫眞は大椰子を運び出すところ）

# 漸く決定した 無鑑査の顏ぶれ
## 新帝國美術院の第一部

【東京十七日發】十六日上野美術學校で開かれた新帝國美術院第一部（日本畫）會において決定した參與、指定（何れも無鑑査）の顏ぶれは左の如くである

△參與

福田平八郎、山口蓬春、上村松園（以上審查員一致十八點）

小川芋錢、野田九甫、宇田荻邨

堂本印象、中村岳陵、木村武山

川崎小虎

△指定

廣島晃甫、兒玉希望、中村大三郎、矢澤弦月、伊東深水、木島櫻谷、北野恒富、金島桂華、島田墨仙、矢野橋村、吉村忠夫、服部有恒、榊原紫峰、大智勝觀、飛田周山、山口華楊、水田竹圃、[illegible]本一洋、村上華岳、池上秀畝、石崎光瑤、[illegible]神泉、德岡[illegible]、荒井寬方、小野竹喬

新帝展の規定に依れば第一部だけで參與は會員數と同數（二十名）指定は會員數の倍（四十名）まで選ぶことが出來るのであるが會員は何れも職選を辭退した爲右の如く參與十名指定二十五名となつたのである、又今後二回だけ鑑查なしに出品し得るものは左の參與指定にあらざる舊無鑑查組全部と日本美術院同人中參與指定に漏れた人々である

# 刀劍の出品資格につき攻究

【東京十八日發】十七日の新帝展總會にて刀劍は美術工藝的外裝なきものは之を受付けざることとしたが文部省では右問題に對し更に攻究することとなつた

# 藍衣社の一味が 屑買ひに變裝
## 既に十四名逮捕さる

【大連十八日發】大連憲兵分隊では支那駐屯軍司令部より最近反滿抗日分子多數が大連方面に潛入せる形跡あり取押方通牒に接したるに依り、關東州一圓の藍衣社につき虱潰しに搜査した結果、十六日午後四時半大連市能登町六二一商店[illegible]以下十四名を逮捕するとともに家宅搜索を行ひ、支那製手榴彈三百個、ダイナマイト八本、其他數人の現金を押收し目下取調中である、主は中國藍衣社の有力者と見られ一味を屑買ひに變裝させて大連に潛入せしめ日滿大官の暗殺を企ててゐたもの如くである

# 水のひき次第 假橋脚を作る
## 大甲溪上の徒步の連絡も
## ここ暫くの辛抱

大甲溪橋梁流失のため不通となつた[illegible]間は目下旅客手小荷物の徒步連絡を行つてゐるが北部及び南部各驛の發着時刻に影響を及ぼさぬやう連絡をはかるため彰化甲南間に特別のダイヤを編成して二十八日より部分的實施することになつた、なほ貨物の連絡については目下研究中である、而して目下のところ大甲溪が未だに減水せず復舊については全く見込が立てられぬが、水の減り次第取敢ず假橋脚を設けて列車の通過を可能ならしめることになる筈であるから徒步連絡の不便もここ數分のことと思はれる

# 一列車遲れて 連絡を取る
## 大甲溪の通過不能で

大甲溪橋梁通過不能の爲め鐵道部では彰化、甲南間のダイヤを變更して上り下り共それぞれ一列車遲れる連絡方法を講じて十八日より實施、旅客の便を計つてゐるが列車の時刻に就ては最寄の驛に於て問合せられたしと

# 建造中の機關車 臺灣に讓り受く
## 鐵道省と交涉して

【神戶十七日發本社特電】渡水交通局長は早坂一郎、中辻京務課長等と共に大和丸に乘船した、渡水氏は神戶で大安寧に詰め込められた機關車と客車、之れがなければ博覽會には輸送上困るので急に註文したがオイソレとは出來ない、止むなく鐵道省に交涉して目下川崎で建造してゐるのを讓り受ける事になつた、それと本省から交通土木局を博覽會に設けるべく交涉、堀江技手が近くそれが爲め來臺する事になつた

# 新竹復興委員會で いろいろの打合

【新竹電話】新竹州では十八日午後一時より州會議室に於て內海知事、藤村、富原兩部長以下復興委員會幹部集合し復興委員會を開き本月迄の復興の經過狀況報告を爲すと共に義捐金の使途狀況其の他新たに必要と認むべき計畫等に就き打合せを行つた

# 電化工場の地鎭祭

【基隆電話】臺灣電化會社にては十六日午後二時から外木山の工場敷地豫定地にて日比專務、中山支配人、桑原市尹、近江[illegible]五郎氏等參列の下に嚴かな地鎭祭を擧行した

# 中等校教員の 夏期講習會

臺北帝大では例年島內中等學校教員並に同教員免許狀所有者にして希望者に限り夏期講習會を開いてゐたが、本年も來る七月十五日より二十五日まで（但し日曜日を除く）十日間開催することとなつたが、講習科目及び講師は左の通り[illegible]び早坂教授の特別講演がある筈

一、歷史に關するもの

日本國民南洋發展の事蹟　教授　村上直次郎

足利時代日本と南支南洋との關係　助教授　小葉田淳

支那人の南方發展　教授　桑田六郎

有史以前と有史以後の文化　教授　移川子之藏

有史以前の遺蹟及遺物（目錄見學）　助手　宮本延人

一、物理に關するもの

原子人工變轉第一部　教授　荒勝文策

同第二部　助手　木村毅一

一、特別講演

臺灣史の諸問題及其の解決　總長　幣原坦

臺灣地震の地質學的考察（幻燈使用）　教授　早坂一郎

# 新竹商工聯合會 會長は清水氏か
## 知事の指名で決定せん

【新竹電話】新竹商工聯合會では十八日午前十一時より州會議室に於て役員會を開催

一、昭和九年度歲入出決算及び事業報告

二、昭和十年度歲入出豫算（四千百圓）及び事業計畫

の二件を可決、藤村會長以下役員の改選期に當るので規約により會長は州知事の指名を仰ぐこととし役員一同內海知事に面會陳情した追つて知事より指名される筈であるが、從來の藤村會長は州內務部長といふ地位にあり昨年の全島實業大會の際の如き議長となり問題ともなつたので會長の辭意固く今回は新竹商工會議所會頭清水[illegible]次郎氏が指名されるだらうと豫想されてゐる、同副會長以下の役員は會長決定の上會長より指名の筈

夏のワイシャツ特賣 [illegible] 特別サービス [illegible]

# 新兵器・釣道具
## 帝國海軍に採用されて
## 艦船飛行機に備へ付く

閑人の道樂にしか使はれない魚釣道具が立派な新兵器として正式に帝國海軍に採用されるに至つたといふハナシの樣な話、佐世保鎭守府では東京、大阪にも次ぐ軍需工業ブロックたる北九州を中心に長崎、佐賀、福岡の三縣下に於る軍需工業關係各工場の生產能力を實際の註文によつてテストし、一朝有事の際に間誤付かぬやう訓練して置くと云ふ見地から所謂「軍需工業動員演習」を五月中頃から開始し、既に兵器、被服、糧食等あらゆる軍需資材に亙つて約四十萬圓を發註し、指定を受けた三縣下軍需各工場では目下夜を日に繼いで製作に努めてゐるが、之等軍需品中に多數の釣道具が見本的に註文されてゐる、釣道具が兵器の中に入つてゐるのは可笑いと云ふのでよくよく調べて見ると、海軍では艦船及び飛行機が遭難し漂流した際、乘組員の生命を脅かすものは糧食の缺乏である、此の場合釣道具があれば一時的にでもこの難を免れる事が出來ると云ふので最近釣道具が正式に帝國海軍の兵器の一つに加へられ、各艦船及び飛行機に備へられる事になり愈々今回の註文を見るに至つた次第であると云ふ（六・一一日發　福岡通信）

# 廓を根城とする 與太者一齊檢擧
## 一味は多數の見込

【基隆電話】基隆署高等係では[illegible]日朝から警官總出になつて[illegible]與太者の一齊檢擧を開始し[illegible]、[illegible]を幹部として[illegible]を作り、[illegible]或は[illegible]るもので、その一味は[illegible]多數に上る見込みで[illegible]、今年は[illegible]を行つてゐる

# 泥棒もやる 密航の天才少年
## 兵庫署の手に捕はる

【神戶十八日發本社特電】嘉義生れの田代[illegible]が去る二月蓬萊丸にて基隆から密航して來た事は當時報道したが其後同少年は更に基隆へ一往復、澎湖島行きの汽車の只乘りをやる等天才密航者と騷がれた、同少年は蓬萊丸倉庫で密航し[illegible]してゐる所を水上署に發見され基隆警察署へ收容されたが、[illegible]ずに[illegible]に今度は[illegible]に忍び込み[illegible]、基隆警察署に突出されたが、[illegible]はどうしても治まらず、[illegible]を出るや其まま[illegible]丸に[illegible]デッキボートに潛入、まんまと[illegible]に着いたが[illegible]された、[illegible]徒步で名古屋へ、そこから特急富士の一二等連絡カバーの上にかくれ神戶へ舞戾り、[illegible]ルンペンにまぎれて生活する內小盜二件を働きこの程兵庫署に檢擧されたものであるが、シャーシャーと密航の味を語つてゐる

# 謎の白骨事件 五里霧中
## 久保博士鑑定の 結果は判つたが

[illegible]に就き久保博士の鑑定に依ると、[illegible]既に[illegible]年の白骨が亡父[illegible]一郎の白骨で無い事實は究明されたが、各地に手配した[illegible]田[illegible]の所在、生死は判明せず、果してこれが[illegible]の白骨であるか否か、又[illegible]の白骨と假定してもこれが他殺であるか否かは容易に判明するものとも見られず、當局も其の搜查の核心をつかみ得ず全く五里霧中の模樣である

# 二十九、三十の兩日再開
## 都市對抗野球の豫選

全國都市對抗野球臺灣地方第一次豫選會は花蓮港對臺北市の一次戰が終つたのみで雨に祟られ延期を重ねてゐたが十八日午前八時から參加各隊代表者、關係者等參集協議の結果このまま日を延ばしては滯在費も嵩んで到底堪へられないので二十九、三十の兩日再開のことに大體決定した、尙花蓮港隊は臺北市を破つて第二次戰出場の資格を得たが棄權し二十九日高雄對新竹の第二次戰、三十日は決勝戰たる臺南對高雄新竹の勝者の試合が行はれる由

# 始政記念日に 京都臺灣會

【京都十八日發本社特電】京都臺灣會は慣例により十七日始政記念日當日河原町[illegible]に於て開催した出席者は始政四十周年記念とあつて京都府知事[illegible]太郎氏も特に列席、最近ハルビンを引揚げた元臺北州知事[illegible]氏、元基隆中學校長吉川[illegible]太郎氏も新顏として其他三村三平、[illegible]治、服部仁藏氏其の他四十餘名列席、何時もの如く午後四時よりの宴會、當日は先づ午後四時より各自臺灣時代の記念物を持寄り思出に花を咲かせ、殊に本社發行明治三十年代の職員錄、日露海戰當時の本社號外等興味の中心となり、七時迄圍碁に將棋に興談を交へ、七時より宴に移り、[illegible]は特に始政四十周年の佳き日を讃へて開會の挨拶を爲し、宴に移つたが興盡きる所を知らず一同九時過ぎ迄和氣藹々裡に歡談、折柄五月雨の中を盛會裡に散會した、尙當日は特に山口臺灣神社宮司の記念[illegible]を一同に配つた

# 全島在鄉軍人 から義捐金

今次の震災に際し帝國在鄉軍人會臺灣聯合支部にては罹災民の救助、炊出等に奔走救護事務に多大の援助を與へたが今回更に全島在鄉軍人より義捐金募集をなし十五日一千四百三十八圓を震災救護事務所へ持參した由

# 兩州强震罹災者 救援義金愈よ締切
## （第四十四回） 最後の領收報告

| | |
|---|---|
| 金百貳拾圓也 | 金光教有志團體殿 |
| 金五拾圓也 | 安部信行殿 |
| 金四拾圓也 | 陳氏[illegible]殿 |
| 金參圓八拾貳錢也 | 將校婦人會臺[illegible]南文部殿 |
| 金拾圓也 | 東京 橋[illegible]三郎殿 |
| 金貳拾圓也 | ニユーヨークガーソン殿 |
| 金五拾圓也（[illegible]モレ） | [illegible]殿 |
| 金壹圓也（[illegible]モレ） | 陳[illegible]殿 |
| 同 | 陳戊金殿 |
| 金五拾錢也（[illegible]モレ） | 黃[illegible]殿 |
| 同 | 李[illegible]定殿 |
| 同 | 洪[illegible]日殿 |
| 同 | [illegible]石[illegible]殿 |
| 同 | 黃[illegible]殿 |

小計貳百九拾八圓參拾貳錢也

累計拾五萬貳千五百拾參圓參拾參錢也

訂正　四月二十四日桑田商店五拾圓也ハ拾五圓也ノ誤リ、四月二十六日金壹圓也[illegible]四月二十五日ト重複、四月二十九日金貳圓也[illegible]ト重複[illegible]百四拾壹圓七拾六錢也ヲ累計額ヨリ差引キタル累計額ヲ以テ正確トス

臺灣日日新報社

# けふの天氣

△臺北地方　南東の和風曇一時驟雨

△北部地方　東の和風曇一時驟雨

△昨日の最高溫度　八十四度二（午後二時）

（臺北測候所發表）

# 吉田畫伯、烏來 から基隆へ

【基隆電話】臺灣博覽會に招聘された洋畫家吉田初三郎氏は本社の依囑に應じ臺灣八景（別格二景を含む）插畫の爲全島を行脚すべく十六日臺北を出發折柄の雨天にも拘らずウライ溫泉並に[illegible]を視察し十八日基隆着、桑原市尹の案內にて旭ケ丘、八尺門、社寮島、仙洞、[illegible]等視察したが十九日附近の景勝地觀察からタロコへ這入る豫定であり、從つて歸途蘭陽を視察の上西部へ出る筈であるから角板山以南は日程が順遲れになる筈であると、尙基隆市にては同氏の來基を機會に同畫伯の筆に依る基隆鳥瞰圖を製作すると

# 基隆の未教育補 充兵に軍事教育

【基隆電話】在鄉軍人基隆聯合分會にては本年も十八日から八月中旬まで每週二回、一日二時間乃至三時間宛公會堂樓上にて未教育補充兵に對する軍事教育を實施することとしたが希望者四十名あり十八日午後八時から公會堂にて市尹其他の關係者出席の上開所式を擧行した、因みに指導者は基隆中學校補野大尉であると

# 一日の中に 二度も地震

本日午前一時頃及び午後三時十分頃本島北部に微震及弱震程度を感ず當所地震計に依る觀測結果次の如し

第一回　發震時十八日午前零時五十九分十二秒一

初期微動繼續時間　八秒七

最大振幅　約二〇〇ミクロン

週期　零秒六

總震動時間　二分三十秒

震度　微震

震央　臺北を距る南東約六〇粁宜蘭東方沖

第二回　發震時午後三時九分五十二秒八

初期微動繼續時間　六秒六

初動方向　北北西上

最大振幅　約一〇〇〇ミクロン

週期　一秒五

總震動時間　六分

震度　弱震弱き方

震央　臺北を距る南南東約四〇粁宜蘭濁水溪中流域

尙宜蘭にては弱震弱き方、花蓮港、新竹にて微震を感じ被害なし（十八日午後三時四十分臺北測候所發表）

# 臺灣公立公學校規則

## 希望臺北州當局善守

### 學級收容人員正解但書精神

### 教員配置與小學校亦要均衡

本島地方制度。首爾自治體。既訂本年十月間。實行改正。歷如所報。當此之時。本島人有識人士。無不熱望初等教育。更加徹底普及之。文部省囑託代議士山下谷次氏。最近來臺視察教育。據其所評如左。

三週間視察。內地人教育。因無可間言。本島人方面。則未十分。況由今秋十月一日。施行自治制言之。本島人教育程度。尙未能副。則此施行可謂尙早。歸後且進言於首相拓相云々

由此觀之。同氏所評、實爲不誣。況此次督府評議會開。本島人一邊議員。尤於此大聲疾呼。可見內臺有心人。所見皆同。夫督府當此四十年始政紀念旣爲此諮問。而多數議員復將此答申。是二者意志完全一致。信能一改從前姑息苟且之方針。而自來年度。著手改善無疑。雖然。凡事改善施設。動以財政爲辭。義務教育。固所希望。顧以督府財政。及地方產業、況。均要限一定期間。相當準備。唯就目前觀之。確有缺陷處督府文教。及地方廳各當局。仰體一視同仁之宸衷更俾內臺人學童。以教育均等之機會。比較的、善用財源。而審緩急。爲之施行。不患不改善矣。

一、臺灣學事法規臺灣公立公學校規則第六十一條一學級兒童數。六十人爲標準。但有特別事情得增十人。

同六十二條。公學校第五學年以上。女兒有四十人以上。男女宜分學級。但有特別事情。則可不依前項規定。

統觀全島公學校學級配置現狀。地方廳克守以上兩規則之正條者。果有幾處而不曲解但書之精神。不以變則爲常經者。又有幾處。臺北州管內。自野口知事赴任以來。不少因革損益。對州教育界。多所努力。爲識者所共知。然學級收容七十餘人。又男女各有四十人以上。似仍漫然置之不顧者。良不可解。又教員配置現狀。雖或各地方廳財政。有所不同。然如臺北州。必每役所々在。幾許十三學級公學校。多置一教員。其他如新竹州（如石光）。則七學級。臺中州（如大竹）。則五學級。臺南州（如媽祖宮）。則七學級。高雄州（如楠梓）。則六學級。皆得多置一人。叩其故。則臺北州當局。必曰。爲赤字故耳。然臺北州。于小學校方面。卻大反是。自一學級以上。無不多置一人。厚此薄彼待遇差別。設使有人批評。何以解之。矧公學校方面

又有社會教育之擔當者乎臺北州。爲督府所在。亦有此不合理之事。尙未盡改善。此後公民教育。從何措手乎。今也。來年度豫算。方爲編成。苟悟過去之有失。飄然改絃易轍。則所謂來者猶可追究。

## 演藝映畫館興工

### 協贊會各部實行豫算

### 廿日理事會決定

臺灣博協贊會。每週火曜自午後一時半起。開于表町同會事務所。十八日之定例理事會。因便宜上。延于二十日。同日午後一時開會。又同會各部實行豫算。旣各編成。提出於總務部。現正在福元總務部長之手查定。按二十日理事會決定。而第二會場之演藝館。映畫館等建築亦擬急速興工云。

## 民間存米

### 不滿理想額

### 拂下必實行

去十七日驟雨來。人氣暴踏不買。然六月一日在米調查。有米少之概。買氣熾烈。出現新高值。後因降雨。買派食利。價稍停頓。市場重視第二次問題之在米。乃三千二百餘萬石。比五月減五百四十三萬石。一月消費額。假定爲五百二十萬石。朝鮮米之移入。早場供給。對端境期尙存千五百萬石。扣除政府持米。則民間持米額、不滿理想的殘存額。政府之拂下實行。誠不可避。十八日以民間米少數爲材料。買派策動。大阪先限。前場十節已迫近三十圓臺。米界波瀾期。誠難逆睹也。

## 地方制度、

### 開講演會

基隆郡。爲改正地方制度趣旨。普及徹底。去十六日午前八時二十分。在金山庄公會堂。開講演會。安許院基隆郡守。就自治制度史的沿革及日本固有自治精神、岡本庶務課長就街庄協議會員選舉。各熱心講演。十一時閉會。聽講者爲金山。萬里兩庄官公署員。男女青年團員。壯丁團員。家長聯盟役員及國語理解者等。有二百餘名云。

### 蓬萊米當限

## 米少暴昂

### 硬材料輻湊

期米因六月一日現在內地殘存米。僅三千二百萬石當用意外孔多。民間殘存米。端境期不滿理想殘存額。且當限米蒐集困難。內地米價漸騰。大阪前場先限已迫近三十圓臺。正米當限正值納會之前日。各地降雨出水。據測候所觀測。此惡天候眼前或暫繼續。非至七月。不能快復云々。當限場內發騰。價九圓九十二錢。視十數日前低價。已起九十二錢。中限九圓五十錢。先限九圓三十三五錢。買派苦戰薄資者多不能維持。値此南部米盛出期。中部亦漸出。北部來月初亦將出米似此天候。不獨發場阻礙則稻熱病亦有惡影響。米價或再昇騰也云。

### 新竹法院設置

## 陳情督府

關于新竹地方法院設置。及頭前溪改修。就舊港築港之陳情。委員清水源次郎。桑原佐一郎。吉田竹東街長。張式穀。何六家庄長五氏。去十八日午前十時半。偕青木市尹。訪問內海知事。關于右之實現。努力陳情。更於二十日出府。向總督長官陳情。內海知事。激勵如左。

在州極力實現。諸氏當陳情運動。亦期以熱與力奮鬪。

又一行。對內海知事。就中等學校之增級問題。亦爲陳情。知事答欲期其實現云。

## 載牡蠣發動機船

### 曳航至新竹郡舊港

### 遇暴風雨再漂流而去

去十七日午前十一時。新竹郡舊港派出所。接基隆電報。謂貴地一浬海面。有機關故障之全春丸碇泊中。乞爲救助。爲是郡警察課。急爲搜查。次不見船影。似爲十六日暴風雨再被漂流。現託沿岸各港搜查、船長何齊碑外二名同船係馬公街市場全和商行所有。發動機船二十馬力。去七日載牡蠣殼。約一萬斤。發馬公赴梧棲。在梧棲近海。機關故障。不能航行。漂流中。至十六朝。被珊瑚船救助。曳航至舊港附近。與珊瑚船離開。乘組員一名。移乘珊瑚船到基隆。拍電于舊港託爲救助云。

### 內湖信組員

## 關建農倉

### 陳情各當局

七星郡內湖信用購買利用組合。丞山邪組合長。計畫建築農業倉庫于楔頭。提出手續中。組合員中。二百八十餘名連署。去十八日午前十時二十分。由代出云。

### 淡水築港問題

## 七代表者

### 陳情知事

淡水街盧阿山氏外六名。去十八日午前九時。訪問臺北州知事。陳情淡水街之衰微。乃因港漸淺。船舶難于出入所致。希爲改修。尤其基隆補助港。並圖淡水街發展。野口知事。答欲考究對策。一行乃退

## 來博覽會開會式

## 決定祝賀飛行

### 有內臺連絡機飛來

依遞信部佐倉光一氏等盡力。自博覽會起。舉內臺飛行。全島民輿論得以實現。經如前報。然將時之間。欲先辦理郵便物。若有旅客。希望便乘。亦欲圖便宜。又第一回。十月八日。夫與加機飛來。於博覽會開會式。舉祝賀飛行。且欲舉臺北飛行場落成式。內臺定期飛行開通式等。以祝始政四十年之文化。十月中。島都上空應呈壯觀光景云。

### 拉克斯機

## 操縱練習

內臺飛行使用機拉克斯機早則一月。遲或來年度始機體結合其他完了。將於內臺航空路上。現其雄姿日本空輸。對于內臺飛行關係操縱士。爲訓練新銳拉克斯機操縱法。獲陸軍當局援助。依當局所有之拉克斯機。近日將舉操縱練習云。

## 大連特產

### 買氣漸振

大連十八日電。歐洲反騰銀票鈍市。大連特產。因油房方面整理買賣。一般亦賣面崩落。邦商定期相當買回。豆粕邦商期近物多買。然大豆低廉。隨而反落。豆油因華商及問屋買賣活潑。全般的廉買人氣稍動。

## 豚價暴昂

### 因高雄中壢豚

### 多輸出香港

五月中百斤二十圓內外之臺北市家畜市場生豚卸賣行情。自六月以來。因端午節及遭海城隍祭。屠殺量增加。一面高雄州下產豚。自今夏來以輸出香港爲有利。每期船皆配出。而中壢豚亦多配出高雄。遂來北部豚價。百斤三十八九圓。百斤二十三四圓豚肉大起。近因飼料高貴養豚業不振。肉食之本島人。誠大打擊也。

## 亭仔腳土角建築

## 若加制限必得安全

### 今村博士喚起官民注意

地震學權威者。今村明恆博士。前月中旬。受督府招聘。偕東京工業大學教授谷口忠博士來臺。踏查震災各地。應督府諮問臺灣地震。及建築上應注意之事。然後歸京。更加研究。去十八日在東京帝大地震研究所例會。就臺灣地震豫防。發表其研究並指示將來有效豫防對策喚起臺灣官民注意。據今村博士所談如左。

前番臺灣震災被害。村落農家。多于市街。此係農家。用臺灣特有之土角。然爲豫防災害。第一對市街地亭仔腳。要加以一定制限。亭仔腳柱。大部分用磚。其強于垂力。對振動殆無抵抗力。故對亭仔腳柱。採用鐵骨或準此之材料建築之。依此制限。市街地被害。大部分可以除去。第二爲現在農家土角建物。對水平動。全無抵抗力。若有微動。立見崩潰。爲此土角及瓦。損失生命者甚多。依統計、內地倒一軒。死者平均一名。臺灣一軒乃至二軒。死者多至十名。且倒壞率多于內地約三倍。然用土角、爲防熱上爲無二建物故不必全廢。惟於屋蓋後面。用鐵線或其他工材。使屋蓋堅牢。使不崩落于屋內。且壁之內側上部。亦置之柱。使土角倒于外面。如斯改良。不論如何大地震。亦得安全無害。故督府建築法制度。取內地爲基本。若有考慮上記諸點。前番之地震程度。當得較內地更安全也。十七日東京來電云。

## 行商自治組合

### 記念日行事

臺北行商自治組合。去年六月十七日始政記念日。在大稻埕圓環公園內。建設國旗揭揚臺。至去十七日恰一週年。爲此祝賀。是早六時。組合員一同。參集于公園。向東方皇宮遙拜。旋往臺灣神社參拜畢再歸來。舉國旗臺建設週年記念祝賀式。及四十週年臺灣始政記念日祝賀式。終開祝宴。至十二時盡歡而散。

### 南方澳祝始政

## 龍舟競渡

蘇澳郡。去十七日午前十時、假公會堂。舉始政四十周年紀念式。並開祝賀會。午後二時起。南方澳漁港。又競渡龍舟。兒童角力。其他自動車會社。特增發臨時乘合車。遠近觀客。頗形雜沓。入夜又映活動寫眞。爲餘興。是日以北方及南方南澳龍舟競渡。對優勝者。各有贈呈賞品。兩團極見勇壯獻技爭先奪錦。盡歡至五時始散

## 搶犯々人

### 十八日判決

## 殆如求刑

關于本島無賴漢爭鬪。襲擊押犯巡查。被途搶犯之基隆郡九分范炎盛以下十名公務執行妨害。銃砲火藥取締規則違反事件。去十八日午前十時。在臺北地方法院刑事單獨部。由山本判官。判決如左。

▲范葉盛。王萬。簡阿生懲役二年（照求刑）。▲何水龍。懲役一年（求刑一年六箇月）。▲林文川。懲役一年（求刑同）。▲黃加善。楊媽金。懲役十箇月（求刑同）。▲吳阿文。游金土。懲役六箇月（求刑八箇月）。▲黃天賜。懲役六箇月（求刑同）

## 定例閣議

東京十八日電。十八日定例閣議。午前十時十五分開於首相官邸。岡田首相以下各閣僚（廣田外相缺）出席。先由松田文相。報告如左。

以豫算一萬圓。爲實業教育制度實施五十周年事業網羅文部省以外民間學識經驗者。設實業教育振興委員會。諮詢實業教育。

次將帝國美術院改組所關其後經過。詳細報告說明又次內田鐵相。有運賃改正後。經過順調。與國際通運關係。亦不甚滋事。午前十一時半散會云。

## 牧野內大臣

## 會見園公

興津十八日電。牧野內府十八日午前九時三十分。到坐漁莊、訪西園寺公。就最近政界情勢。對滿對華問題。其他事項。交換意見。而後辭去云。

## 林陸相暗殺團

### 大連憲兵分隊活動

## 逮捕滿人一名

大連十七日發電。大連憲兵分隊。自林陸相渡滿。接到陸相暗殺團橫行情報。乃于暗中活動。至二十六日深更。逮捕大連小崗子露天市場一丁目蔡泉年五十二。及該市內能登町六十一番地王陰木年五十二。滿洲人二名。搜查家宅結果。發見有英國製炸彈六十餘箇。視爲重大犯人。嚴重查究云。

### 南京政府對日滿根本

## 指導精神不正

## 禍端再發已明

新京十八日電。十七日關東軍。並華北駐屯軍共同會議。首腦華北及察哈爾問題。協議今後對華方策如何之根本方針。而以日華滿間之滋事。悉由華方反日行動。今次華北察哈爾兩問題。縱得解決。將來禍根不除。勢必醸滋大事相約如左。

關東軍。華北屯軍。互相協力。以正南京政府對日嚴根本指導精神又華北政府之歸意。又發對何應欽。或其代表王克敏。以謀善後解決云。

### 謀殺日滿大官

### 藍衣社十四名

## 憲兵逮捕

大連十八日電。大連憲兵分隊。接駐華軍司令部。報最近反滿抗日分子。多由大連方面。潛入形跡。乃搜查關東州一圓華滿人十六日午後四時半。捕大連市能登町六二番宗王蔭和（四四）以下十四名。搜查家宅。沒收英國製雷管二百個。火藥八本。其他導火線等。目下嚴究中。王爲中國藍衣社有力者。一黨皆是變裝。潛入大連、意在謀刺日滿大官云。

## 大城戶中佐

### 太原訪閻氏

## 聽取意向

北平十八日急電。陸軍省滿蒙班長大城戶中佐。十七日夜。到山西太原。會閻錫山氏。聽其華北進出所關意向云。

### 天津日軍各隊

### 歡呼送行中

## 東指凱旋

天津十八日電。一年任期告終之天津駐屯軍各隊。十八日午前六時半發駐屯軍兵營。沿道僑民歡呼送之。在塘沽船中。十九日午後三時出帆。一路凱旋、又第一第七兩兩團。十九日亦集塘沽。二十日出帆凱旋云。

## 上海海關

### 徵關稅附加稅

## 布告延期

上海十八日電。本月三十日滿期之關稅附加稅、五分徵收。延期一年之件。上海海關、十七日、布告如左。

國民政府命令、現在徵收關稅附加稅五分。延之千九百三十六年六月三十日。

## 自殺未遂

臺北市榮町一丁目山本美光女徒弟李世勤。年十八因忘還商品之金戒指一箇去十八早。被店主之妻發見、疑爲竊取叱責。遂入憤惑。欲明其冤白無它。午前九時。密以昇汞多量企圖自殺。幸因中。被家人發見。收容于小林醫院治療云。

## 嘉義豪雨

## 各溪漲水

嘉義地方。去十六夜豪雨八掌溪及牛稠溪。皆漲水丈餘。致嘉義盧厝間牛稠溪。嘉義軌道株式會社橋梁。流失四十間。林子尾嘉義間牛稠溪渡船頭。漲水不能渡。大日本製糖社線獅子頭溪鐵橋。破損長四十間。公田鰲口間八掌溪漲水。徒涉不能。

### 士林

## 寄附旗臺

七星郡士林街社子庄丁團長李萬金氏。此回欲喚起庄民愛國國旗。並祝始政四十週年紀念投私財六十圓。建設旗臺於社子派出所構內。月十六日完工十七日下午二時。舉國旗揭揚式。來賓七星郡野田警務主任田中士林分室主任。宮本部長加村街助役兼公校長等臨席。先由張保正述式辭。次李氏報告設置經過。唱君代歌之間。揭揚國旗。遙拜宮城。加村街助役。野田警務主任兼公校長祝辭。三唱萬歲後三時閉會。是日參會者。庄中有力者。保甲役員。壯團青年團員。生徒等。三百餘名云。

## 國旗揭揚

士林街蒲雅派出所構內。得岩崎勇一氏。寄附國旗揭揚臺。月十六日完工。十七日上午十一時。舉國旗揭揚式。來賓島田傳習所長。石原芝山岩神社宮司。田中分室主任。由校長等臨席。先由賴友士氏。述開式辭。唱君代歌之間。揭揚國旗。島田傳習所長。田中分室主任祝辭。十二時閉會。參會者百五十餘名。

### 羅東

## 記念行事

羅東街官民。十七日始政記念日。午前八時。羅東郡役所。舉行區委員功勞者表彰式。午前九時。在羅東公會堂。盛舉祝賀會。參加人員二百四十餘名。定刻合唱國歌。鶴若街助役敍禮。次開宴。山田營林所羅東出張所長。發聲三唱萬歲而散。午前九時半。假羅東街役場樓上。舉納稅組合表彰式

## 詩壇

過瀨戶內海二首　岡彬　周文俊

不盡風光接水光。分從山海認扶桑。煙霞飽給遊人賞。佳景由來獨擅長。

山外青山樓外樓。此間風景似杭州。泛舟領略江湖趣。竟句何妨一紀遊。

嚴島二首

如斯勝地異塵寰。無限風光水與山。千疊閣高紅葉外。五重塔聳白雲間。許多杓子堆神社。不盡潮流打綠灣。到此詩情同浪湧。留題詞客孰請閒。

扶桑重見又三中。探勝人來興未窮。曲岸千重渦漾綠。公園一色葉留紅。鳥居在水宜遙望。鹿徑如溝見近通。別有乾坤正如此。天然點綴畫圖同。

客中端午　花蓮港　許柱珠

一事無成髮似霜。客中容易又端陽。盤登角黍門懸艾。獨酌村醪思故鄉。

北州同聲聯吟

蓮塘　林述三　杜仰山選

左七右七　張一孤

半畝田田翠蓋新。淤泥不染自無塵。居然止水觀君子。漫爲淩波賦洛神。香到如來爭上座。愛同茂叔又何人。劇憐葉底鴛鴦睡。惱煞吳娃蕩槳頻。

左八右十六　楊靜淵

水面清光絕點塵。東西葉底見遊鱗。盪舟頻感誇周愛。得句曾傳憶謝新。十里荷來香撲鼻。四時澄澈爽吟身。草廬甚欲池中結。何必登臨富春有。

右八左十三　陳根泉

激灔清光月色新。紅衣妬殺採菱人。波心艷映吳姬面。葉上輕浮越女身。翡翠穿花情可羨。鴛鴦戲水意相親。薄香我愛江鄉味。甚欲移家作比隣。

左九右十七　楊一清

鶯聲嬌伴採蓮人。景色看來兩出神。風過一泓搖翠蓋。舟行四處燦金鱗。夜來落月田田淺。雨後含珠點々新。寄語可憐諸釣叟。芳心已蜜漫垂綸。

右九　林述三

香風十里浮嬌塵。閒步斜陽晚景新。綠水泛時聞玉佩。青荷動處認佳人。迷離香波如鏡。睡穩鴛鴦草似茵。欲探芳蹤難覓彼。美西施當日艷名眞。

強腦・強精に リキシン（イマツ）

高血壓 中風

今津力神。乃含有食率細胞活動素。與效力豐富之榮養素之優秀強腦強精劑。爲高血壓、中風適藥。

治腦病・性慾減退

對腦神經及精細胞。與以榮養活力。排除毒從大小便出。降下腦之充血。除頭痛、頭重、眩暈、逆上、鼻血、耳鳴、不眠、憂鬱、便祕諸症狀。治神經衰弱。恢復性慾減退。豫防早老、老衰。使身心常如青年活潑。

治高血壓・中風

保護腎臟機能。淨化混濁血液、除動脈硬化原因。降血壓、豫防腦溢血、治中風、高血壓卒中體質之人。宜常服本劑。

治療商量

大阪東淀川區三國本町今津研究所 [illegible] 書信照會。

▼全國藥店販賣▲

二百錠・一円五〇
五百錠・三円五〇
千錠・六円五〇

大阪市・大仁本町三
今津化學研究所

濕布に ⇨ エキホス

感冒、扁桃腺炎
肺炎、咽喉痛
氣管枝炎

神經痛、中風疼痛、打撲痛、肩凝、筋肉痛、乃消炎鎭痛劑、勝於從來液狀濕布

請注意

希賜購製造元之責任原封品
若受大罐之分賣時、往々買入效力減弱之舊品
必指定「原封品」

EXIHOS

【包裝】
一〇〇瓦
二五〇瓦
五〇〇瓦
二〇〇〇瓦

發賣元
株式會社 武田長兵衛商店
株式會社 塩野義商店
製造元
二巳合名會社
（大阪市東區道修町）

35—587(O)